

戸田市市民意識調査報告書

令和 5 年度実施（第 14 回）

令和 6 年 3 月

戸 田 市

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の背景.....	1
2. 調査設計.....	1
3. 回収状況.....	1
4. 調査の内容.....	1
5. 地区区分.....	2
6. 集計・分析に当たって.....	2
7. 標本誤差.....	3
8. 回答者の属性.....	4
II. 調査結果の分析	19
1. 定住意向について.....	19
2. 子育てについて.....	25
3. 健康づくりについて.....	29
4. 高齢化について.....	37
5. 生活環境について.....	42
6. 地域コミュニティについて.....	69
7. 生涯学習やスポーツについて.....	79
8. 市政への参加について.....	88
9. SDG s の取り組みについて.....	90
10. 戸田市の取り組みについて.....	95
11. 新型コロナウイルス感染症について.....	106
III. 自由意見	108
参考資料（調査票）	129

I. 調査の概要

1. 調査の背景

この調査は、市民生活及び市政に関する市民の意見や要望を把握し、戸田市のより良いまちづくりを推進していくための基礎資料とすることを目的に、昭和 50 年より 4 年ごとに実施してきましたが、総合振興計画の進捗管理と合わせるため、今回調査から 2 年ごとに改めます。

これまで、定点調査として継続的に調査を実施することにより、市民意識の経年変化を捉えその時代に合った市政運営に活かしてきました。

厳しさを増す財政状況や変化の激しい社会情勢の中で、より一層多様化する市民ニーズを適確に把握し、効率的かつ効果的な市政運営を展開するためには、基礎調査としての本調査の位置づけはより重要なものとなります。

2. 調査設計

- (1) 調査地域：戸田市全域
- (2) 調査対象：令和 5 年 8 月 1 日現在、市内に在住する満 18 歳以上の市民
- (3) 標 本 数：3,000 人
- (4) 抽出方法：無作為抽出
- (5) 調査方法：郵送による配布・回収及びインターネットによる回答
- (6) 調査期間：令和 5 年 10 月 1 日～10 月 31 日（返送期日・入力期日）

3. 回収状況

- (1) 有効標本数：3,000 人
- (2) 有効回答数：1,243 人（郵送回答：810 人 Web 回答：433 人）
- (3) 回 収 率：41.4%

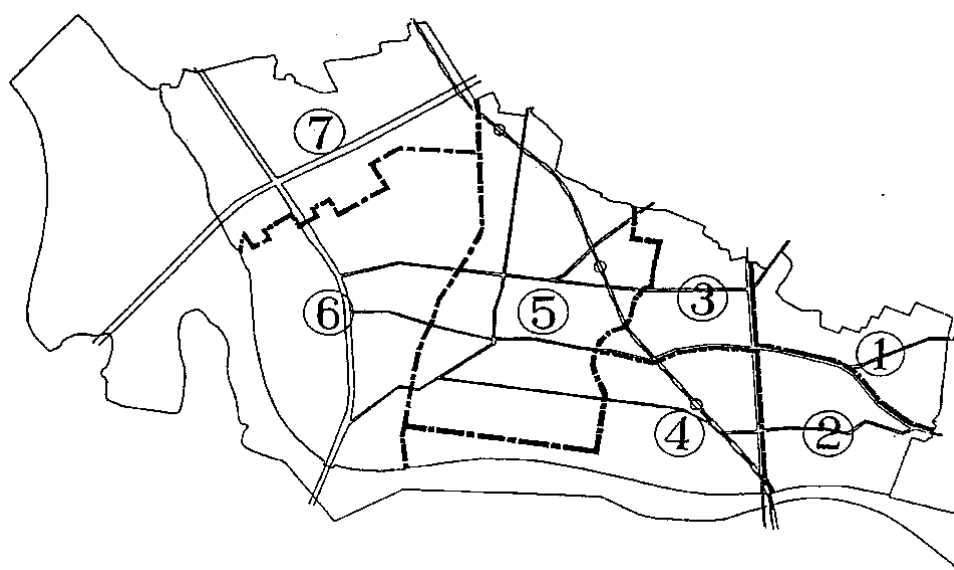
4. 調査の内容

- | | | |
|----------------|------------|---------------|
| ①フェースシート（標本属性） | ②定住意向 | ③子育て |
| ④健康づくり | ⑤高齢化 | ⑥生活環境 |
| ⑦地域コミュニティ | ⑧生涯学習やスポーツ | ⑨市政への参加 |
| ⑩SDG s の取り組み | ⑪戸田市の取り組み | ⑫新型コロナウイルス感染症 |

5. 地区区分

市内を次の7つの地区に区分して調査、集計、分析を行いました。

1. 下戸田1地区（喜沢1・2丁目、中町1丁目、下戸田1・2丁目）
2. 下戸田2地区（喜沢南1・2丁目、中町2丁目、下前1・2丁目、川岸1・2丁目）
3. 上戸田1地区（上戸田1～5丁目、大字上戸田）
4. 上戸田2地区（川岸3丁目、本町1～5丁目、南町、戸田公園）
5. 新曽地区（大字新曽、新曽南1～4丁目、氷川町1～3丁目、大字下笹目）
6. 笹目地区（笹目南町、笹目北町、早瀬1・2丁目、笹目1～8丁目）
7. 美女木地区（美女木1～8丁目、美女木東1・2丁目、美女木北1～3丁目）



6. 集計・分析に当たって

- ・図表中の（n＝＊（＊は自然数））と年度や属性の後の（ ）内は、集計母数を表しています。
- ・原則として、図表の単位は％としています。
- ・回答割合（％）は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、属性ごとの回答割合の合計が100.0％にならない場合があります。
- ・回答割合（％）は、その設問の回答者数を母数として算出しています。そのため、複数回答の場合、選択肢ごとの回答割合を合計すると100.0％を超えることがあります。
- ・過去の調査と選択肢等が異なる設問の経年比較については、類似の選択肢を用いている場合があります。

7. 標本誤差

この調査は無作為抽出法により行ったものであるため、標本抽出にともなう標本誤差を数学的に計算することが可能です。以下に、信頼水準 95% の場合の誤差算出式と早見表を掲載します。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \sqrt{(N-n) / (N-1) \times P(1-P) / n}$$

N = 母集団の数（戸田市の 18 歳以上人口 118,857 人、令和 5 年 8 月 1 日現在の住民基本台帳人口）

n = 各設問の回答数 P = 各回答の回答比率

回答比率 (%) 回答数 (人)	10 (または 90)	20 (または 80)	30 (または 70)	40 (または 60)	50
1,243	±1.66	±2.21	±2.54	±2.71	±2.77
1,000	±1.85	±2.47	±2.83	±3.02	±3.09
900	±1.95	±2.60	±2.98	±3.19	±3.26
800	±2.07	±2.76	±3.17	±3.38	±3.45
700	±2.22	±2.96	±3.39	±3.62	±3.69
600	±2.40	±3.19	±3.66	±3.91	±3.99
500	±2.63	±3.50	±4.01	±4.29	±4.38
400	±2.94	±3.92	±4.49	±4.79	±4.89
300	±3.39	±4.52	±5.18	±5.54	±5.65
200	±4.16	±5.54	±6.35	±6.79	±6.93
100	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

〈この表の見方〉

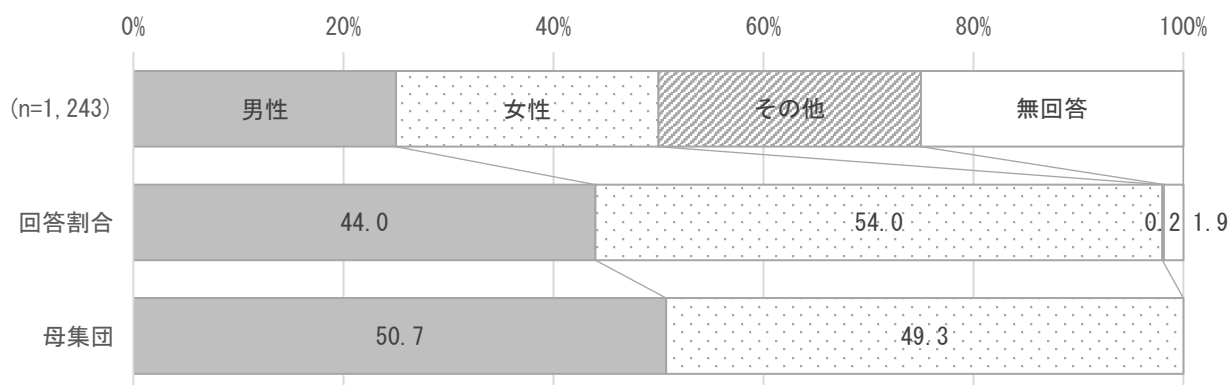
- 例えば、問 14 で「戸田市に住んでいる理由」について、「ここで育ったから」と回答した方が 20.2%（n=1,243）の場合、上表で値に近い「20（または 80）」の欄の「1,243」の行をみると、標本誤差は ±2.21% となります。したがって、本市の 18 歳以上の全市民に同じ質問をした場合、標本誤差を考慮すると、20.2% ± 2.21%（17.99%～22.41%）の人が「戸田市内」と回答する確率（信頼水準）が 95% である、と見ることができます。

8. 回答者の属性

問1 性別

調査対象母集団（令和5年8月1日現在の18歳以上の人口）の性別構成比は、男性50.7%、女性49.3%と、女性の割合が低くなっていますが、本調査回答者1,243人の性別構成比では、男性44.0%、女性54.0%、その他0.2%となり、女性の回答割合が高くなっています。

図表1 性別（全体）

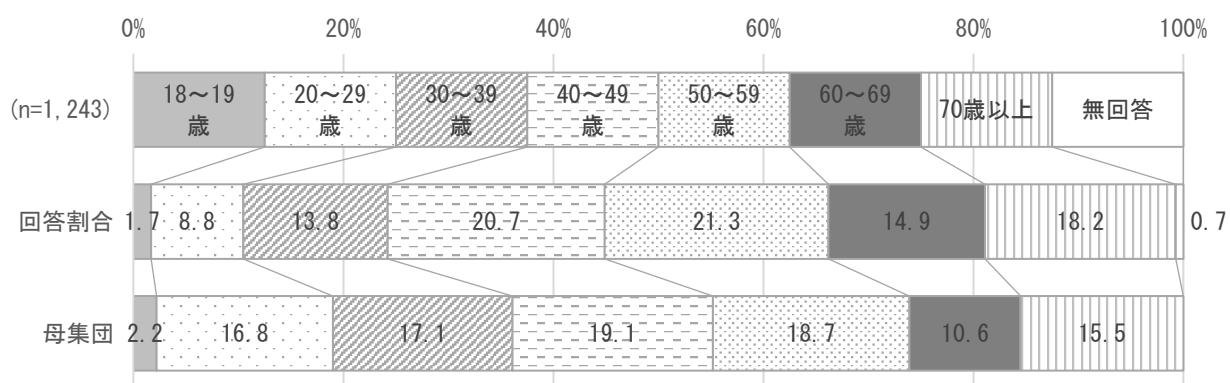


問2 年齢

回答者の年齢構成は、50歳代の割合が21.3%で最も高く、次いで40歳代が20.7%、70歳以上18.2%、60歳代14.9%となっています。

調査対象母集団の年齢別構成比は、18～19歳2.2%、20歳代16.8%、30歳代17.1%、40歳代19.1%、50歳代18.7%、60歳代10.6%、70歳以上15.5%となっています。

図表2 年齢（全体）

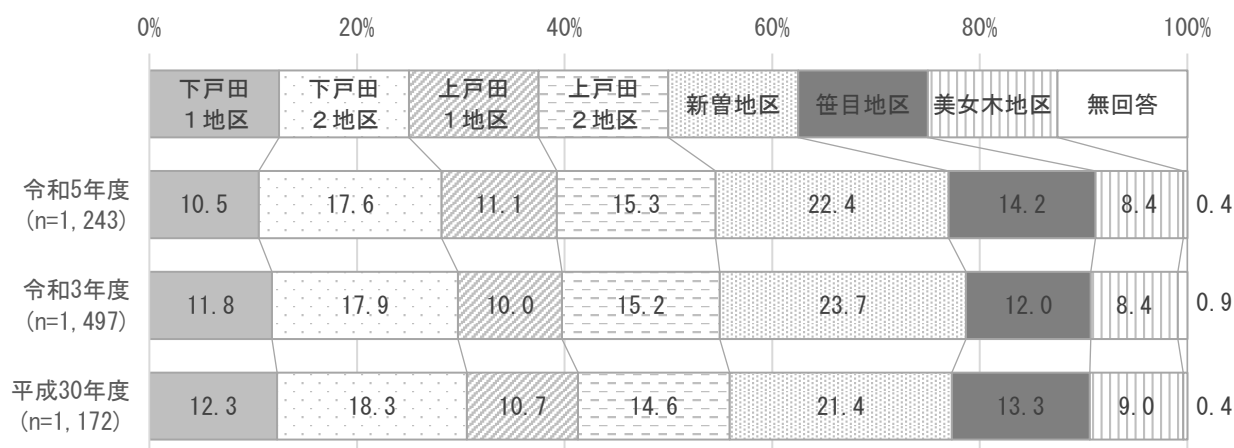


問3 居住地区

居住地区別にみると、新曽地区の割合が22.4%と最も多く、次いで下戸田2地区が17.6%、上戸田2地区が15.3%となっています。最も少ないのは美女木地区の8.4%で、令和3年度調査と比較して、大きな相違はありません。

年齢構成でみると、下戸田1地区(24.4%)、笹目地区(23.9%)では70歳以上が最も多く、上戸田1地区(26.8%)、上戸田2地区(20.5%)、新曽地区(25.4%)では「50～59歳」が最も多くなっています。また、下戸田2地区(23.3%)は「40～49歳」、美女木地区(いずれも22.9%)では「40～49歳」、「50～59歳」が最も多くなっています。

図表3 居住地区（全体）



図表4 居住地区別年齢構成表

		18 ～ 19 歳	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 歳 以上	無 回 答
全体 (1,243)		1.7	8.8	13.8	20.7	21.3	14.9	18.2	0.7
居住地区別	下戸田1地区 (131)	2.3	6.9	13.0	17.6	17.6	18.3	24.4	0.0
	下戸田2地区 (219)	0.5	8.7	10.5	23.3	19.2	16.4	21.5	0.0
	上戸田1地区 (138)	1.4	8.7	11.6	20.3	26.8	13.8	16.7	0.7
	上戸田2地区 (190)	3.2	11.1	14.2	18.4	20.5	15.8	15.3	1.6
	新曽地区 (279)	1.4	9.3	17.6	19.7	25.4	13.6	11.8	1.1
	笹目地区 (176)	1.7	7.4	11.9	23.3	16.5	14.8	23.9	0.6
	美女木地区 (105)	1.9	6.7	17.1	22.9	22.9	10.5	18.1	0.0

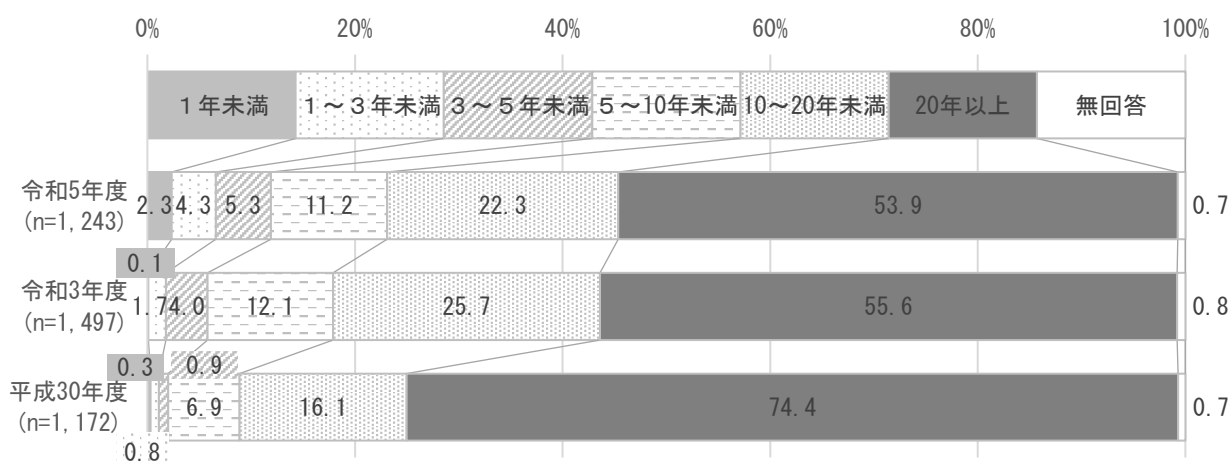
問4 居住期間

居住期間は、「20年以上」が53.9%と最も多く、次いで「10年以上～20年未満」が22.3%となっています。

これまでの推移をみると、「20年以上」は平成30年度調査から大幅に減少している傾向にあり、平成30年度調査から20.5ポイント（令和3年度からは1.7ポイント）減少しています。一方、「10年以上20年未満」は、平成30年度調査から6.2ポイント増加（令和3年度調査からは3.4ポイント減少）しています。

全体でみると、居住期間5年未満が増加傾向にあり、居住期間5年以上が減少傾向にあります。

図表5 居住期間（全体）



図表6 居住期間（居住地区別）

		1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20年以上	無回答
全体(1,243)		2.3	4.3	5.3	11.2	22.3	53.9	0.7
居住地区別	下戸田1地区(131)	1.5	1.5	6.9	7.6	19.1	62.6	0.8
	下戸田2地区(219)	1.8	4.6	4.1	7.8	24.7	57.1	0.0
	上戸田1地区(138)	2.9	4.3	6.5	13.8	23.2	48.6	0.7
	上戸田2地区(190)	3.2	4.7	6.8	13.7	19.5	52.1	0.0
	新曽地区(279)	3.6	6.1	3.9	12.2	25.4	47.3	1.4
	笹目地区(176)	1.1	2.8	4.5	9.7	15.9	65.9	0.0
	美女木地区(105)	1.0	2.9	6.7	15.2	27.6	44.8	1.9

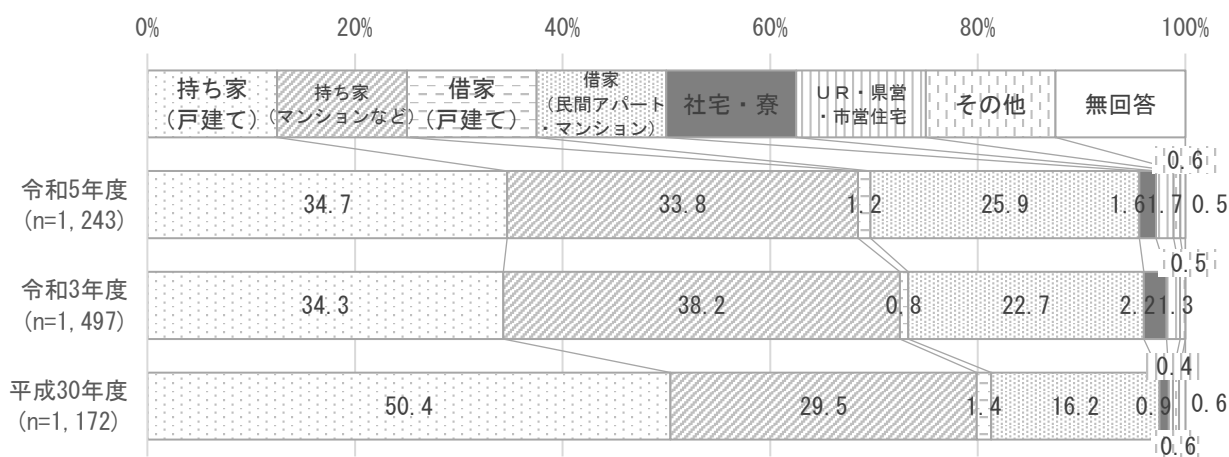
問5 住宅の種類

住宅の種類については、「持ち家（戸建て）」が34.7%、「持ち家（マンションなど）」が33.8%となっており、これらを合わせた持ち家率が68.5%となっています。

これまでの推移をみると、持ち家比率は減少傾向にあり、平成30年度調査から11.4ポイント、令和3年度調査からは4.0ポイント減少しています。

持ち家に着目し、居住地区別にみると、下戸田1地区、笹目地区及び美女木地区では「持ち家（戸建て）」が「持ち家（マンションなど）」より多く、下戸田2地区、上戸田2地区、新曽地区では「持ち家（マンションなど）」が多くなっています。

図表7 住宅の種類（全体）



図表8 住宅の種類（居住地区別）

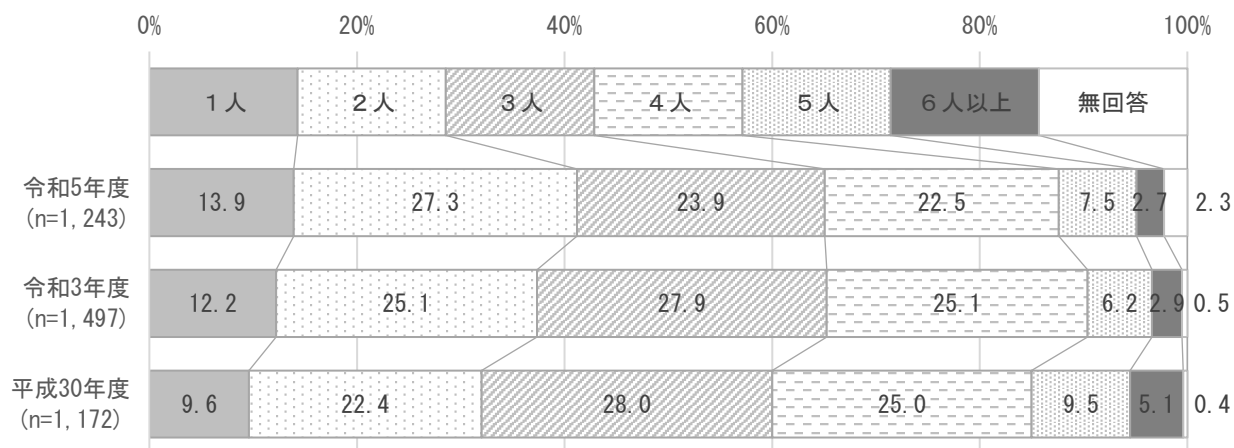
		持ち家（戸建て）	持ち家（マンションなど）	借家（戸建て）	借家（民間アパート・マンション）	社宅・寮	UR・県営・市営住宅	その他	無回答
居住地区別	全体 (1,243)	34.7	33.8	1.2	25.9	1.6	1.7	0.6	0.5
	下戸田1地区 (131)	43.5	19.8	1.5	32.1	1.5	0.0	0.8	0.8
	下戸田2地区 (219)	24.2	53.0	0.5	14.6	0.5	6.8	0.0	0.5
	上戸田1地区 (138)	34.1	34.1	1.4	29.0	0.7	0.0	0.7	0.0
	上戸田2地区 (190)	20.5	43.2	2.1	31.1	1.6	0.0	0.0	1.6
	新曽地区 (279)	28.0	36.2	0.7	31.5	1.4	0.7	1.4	0.0
	笹目地区 (176)	60.2	11.4	2.3	22.7	1.1	1.7	0.6	0.0
	美女木地区 (105)	48.6	24.8	0.0	19.0	6.7	0.0	1.0	0.0

問6 家族の人数

回答者自身も含めた同居の家族の人数については、「2人」が27.3%と最も多く、次いで「3人」、「4人」となっています。

平成30年度調査、令和3年度調査では、「3人」が最も多くなっていましたが、本調査では「2人」が多くなっており、「1人」とともに増加傾向にあり、少人数世帯が増加しています。

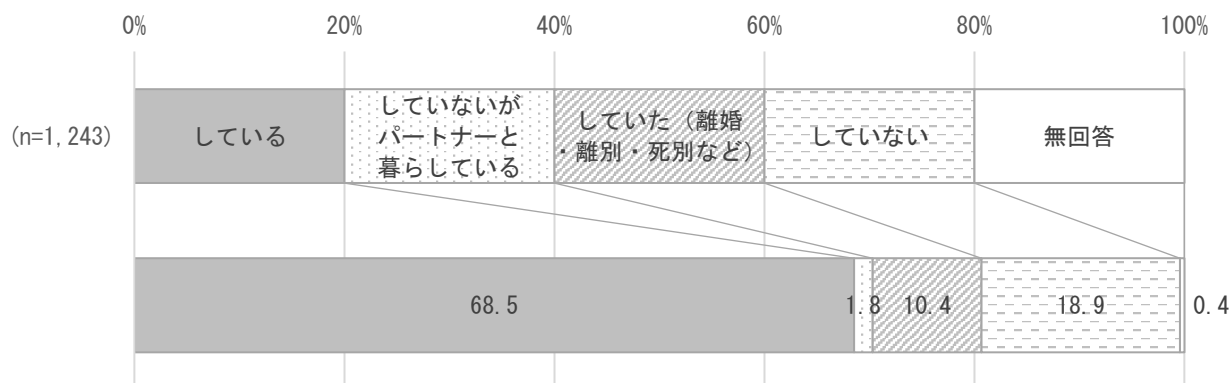
図表 9 家族の人数（全体）



問7 結婚

結婚については、「している」が68.5%と最も多く、次いで「していない」が18.9%、「していた（離婚・離別・死別など）」が10.4%となっています。

図表 10 結婚（全体）

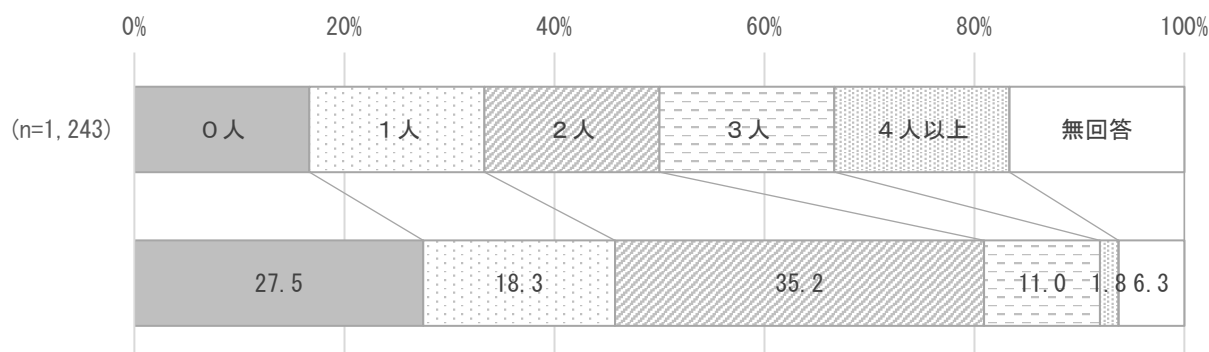


問8 子どもの人数と子どもの年齢

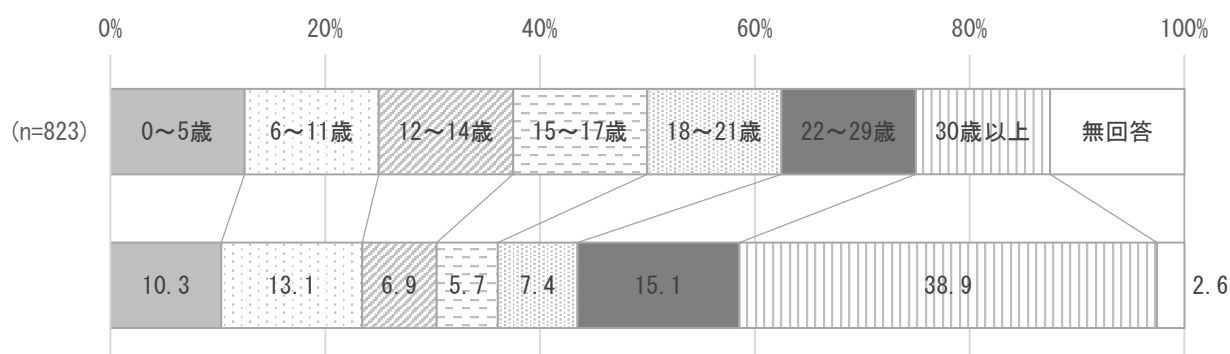
子どもの人数については、「2人」が35.2%と最も多く、「1人」が18.3%、「3人」が11.0%となっています。

また、一番上の子の年齢及び下の子の年齢については、子どもが4人以上の場合を除き、上の子、下の子ともに、「30歳以上」が最も高い割合でした。さらに、子どもの数が1人の場合は、「0～5歳」が23.8%と最も高い割合でした。（割合はいずれもn=823）に対する割合）

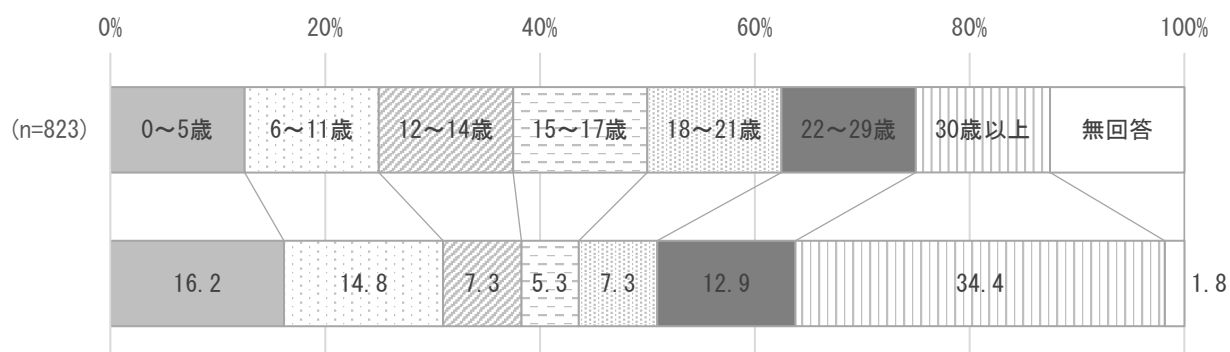
図表 11 子どもの人数（全体）



図表 12 一番上の子どもの年齢（全体）



図表 13 一番下の子どもの年齢（全体）



図表 14 子どもの人数と子どもの年齢（全体）

		上の子の年齢									下の子の年齢								
		0～5歳	6～11歳	12～14歳	15～17歳	18～21歳	22～29歳	30歳以上	非該当	無回答	0～5歳	6～11歳	12～14歳	15～17歳	18～21歳	22～29歳	30歳以上	非該当	無回答
	全体 (823)	10.3	13.1	6.9	5.7	7.4	15.1	38.9		2.6	16.2	14.8	7.3	5.3	7.3	12.9	34.4		1.8
子どもの人数	0人 (342)								100.0									100.0	
	1人 (227)	23.8	16.3	6.2	6.2	7.9	11.5	25.1		3.1								100.0	
	2人 (437)	6.2	13.0	8.2	6.6	6.9	16.5	76.7		2.7	14.0	16.0	7.8	4.1	6.4	13.5	35.9		2.3
	3人 (137)	2.2	8.0	5.1	2.2	8.8	14.6	34.8		1.5	10.2	8.8	8.8	6.6	8.0	12.4	13.7		2.2
	4人以上 (22)	4.5	13.6	0.0	4.5	4.5	27.3	4.4		0.0	13.6	13.6	0.0	13.6	13.6	9.1	1.4		13.6

問9 仕事（雇用形態）

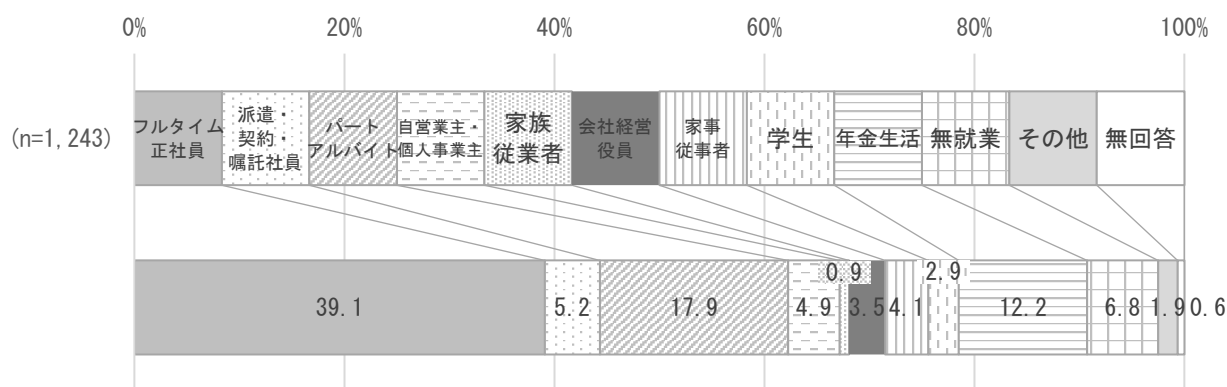
仕事については、「フルタイム正社員」が39.1%と最も多く、次いで「パートまたはアルバイト」が17.9%、「年金生活」が12.2%、「無就業」が6.8%となっています。「フルタイム正社員」から「家事従事者」までの合計である就労中の割合は75.6%でした。

性別にみると、男性は「フルタイム（常勤）の正社員被雇用者」が52.1%と半数以上を占めるのに対し、女性は29.5%となっています。

年齢別では、20歳代、30歳代、40歳代の「フルタイム（常勤）の正社員被雇用者」の割合が50%以上となり、次いで50歳代が45.7%となっています。60歳代では、「フルタイム（常勤）の正社員被雇用者」は22.2%となっているものの、「フルタイム正社員」から「家事従事者」までの合計が74.1%と、約4人に3人が就業しています。

地区別にみると、「フルタイム正社員」は、上戸田1地区が50.0%、上戸田2地区と新曽地区が41.6%と、他地区に比べて高くなっています。

図表 15 仕事（全体）



図表 16 仕事（全体・性別・年齢別・居住地区別）

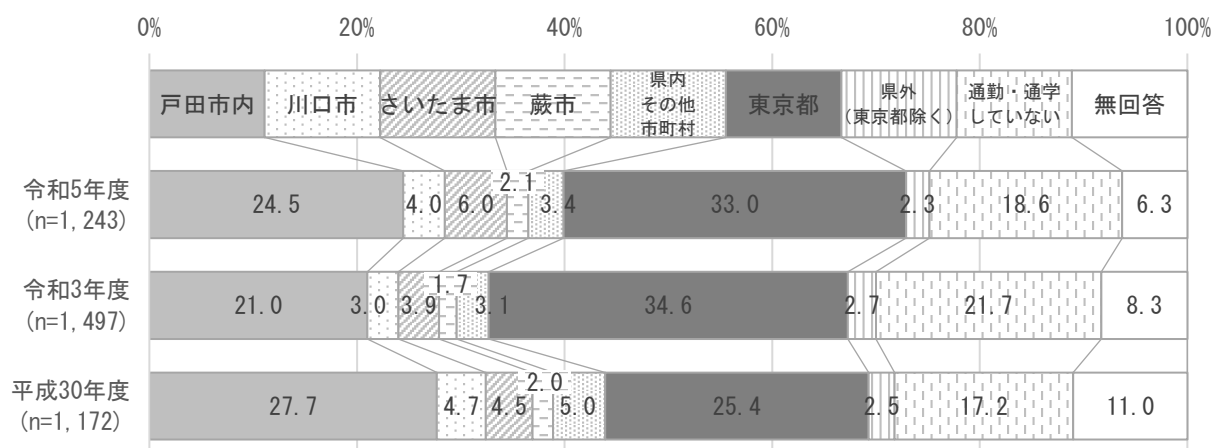
		フルタイム 被雇用者 (常勤)の正社員	派遣・契約・嘱託社員	パートまたはアルバイト	自営業主・個人事業主	家族従業者	会社経営・役員	家事従事者	学生	年金生活	無就業	その他	無回答
	全体(1,243)	39.1	5.2	17.9	4.9	0.9	3.5	4.1	2.9	12.2	6.8	1.9	0.6
性別	男性(547)	52.1	5.3	6.6	6.8	0.4	6.2	0.2	3.1	12.2	5.3	1.5	0.4
	女性(671)	29.5	5.1	27.0	3.1	1.3	1.2	7.5	2.8	11.9	7.7	1.9	0.9
	その他(2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
年齢別	18～19 歳(21)	4.8	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	81.0	0.0	4.8	0.0	0.0
	20～29 歳(109)	62.4	2.8	8.3	0.0	0.0	0.0	3.7	17.4	0.9	2.8	1.8	0.0
	30～39 歳(171)	59.6	4.7	18.1	4.1	0.6	1.8	3.5	0.0	0.0	6.4	1.2	0.0
	40～49 歳(257)	57.6	4.3	21.0	3.1	0.8	3.5	4.3	0.0	0.4	3.5	0.8	0.8
	50～59 歳(265)	45.7	3.8	24.5	7.9	1.1	6.0	2.3	0.0	0.0	5.3	2.6	0.8
	60～69 歳(185)	22.2	13.5	21.6	4.9	1.6	4.9	5.4	0.0	13.5	9.2	2.7	0.5
	70 歳以上(226)	1.3	3.1	9.3	7.1	0.4	2.2	6.2	0.0	54.4	12.8	2.2	0.9
居住地区別	下戸田 1 地区(131)	32.1	4.6	20.6	8.4	0.8	4.6	1.5	1.5	15.3	7.6	3.1	0.0
	下戸田 2 地区(219)	35.2	4.1	18.7	4.1	0.9	1.4	5.5	3.7	17.4	7.3	1.4	0.5
	上戸田 1 地区(138)	50.0	7.2	13.0	3.6	0.0	2.9	2.9	1.4	12.3	2.9	3.6	0.0
	上戸田 2 地区(190)	41.6	4.7	17.9	3.7	0.0	3.2	6.3	5.3	8.4	7.4	0.0	1.6
	新曽地区(279)	41.6	7.5	17.9	3.6	2.2	3.9	2.9	1.8	9.3	6.5	2.9	0.0
	笹目地区(176)	37.5	4.0	17.6	7.4	0.6	4.0	5.1	2.3	12.5	6.8	1.1	1.1
	美女木地区(105)	35.2	2.9	20.0	5.7	1.0	5.7	2.9	3.8	11.4	9.5	1.0	1.0

問 10 通勤・通学地

通勤・通学している人の通勤・通学地としては、「東京都」が 33.0%と最も多く、次いで「戸田市内」が 24.5%となっており、隣接市（川口市、さいたま市、蕨市の計）は 12.1%となっています。

これまでの推移をみると、平成 30 年度調査では「戸田市内」、「東京都」の順であり、令和 3 年度調査で順位が逆転しましたが、その順位は令和 5 年度調査も変化はありませんでした。

図表 17 通勤・通学地（全体）



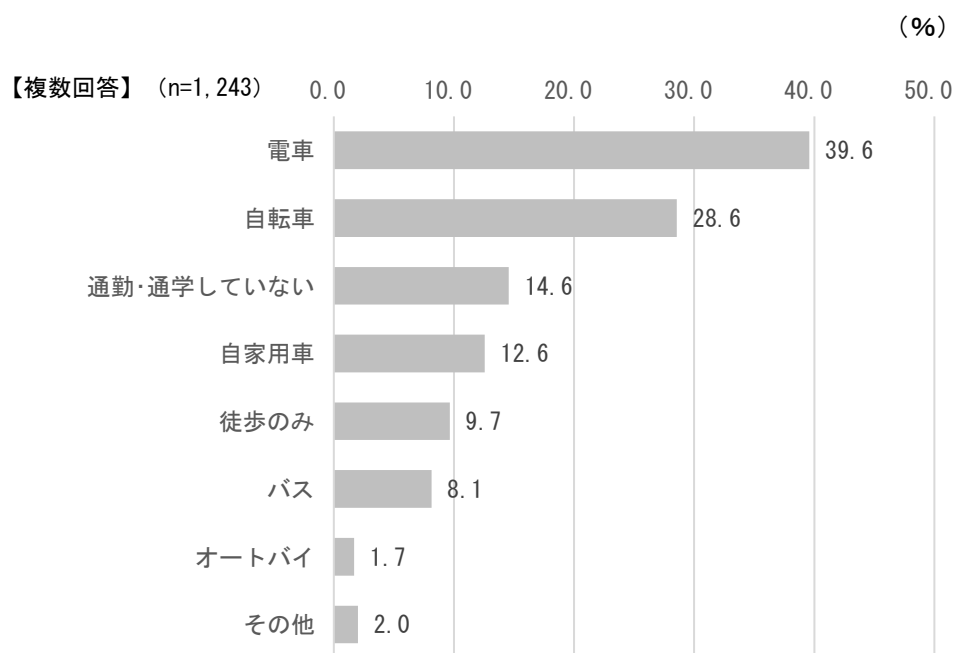
問 11 通勤・通学の交通手段

通勤・通学の交通手段では、「電車」が 39.6%と最も多く、次いで「自転車」が 28.6%となっています。

居住地区別にみると、鉄道 3 駅がある上戸田 1 地区、上戸田 2 地区、新曽地区の 3 地区は、「電車」の割合が他地区よりやや高くなっています。一方、笹目地区及び美女木地区は、「自家用車」の割合が 20%を超え、他地区より高くなっています。

通勤・通学地別でみると、「戸田市内」は「自転車」(54.9%)に次いで「徒歩のみ」(24.0%)が高くなっています。「東京都」や「さいたま市」は「電車」の割合が高くなっています。他の通勤・通学地と比べて「蕨市」や「川口市」は「自転車」の割合が高く、特に「蕨市」では 65.4%と高くなっています。

図表 18 通勤・通学の交通手段（全体）



図表 19 通勤・通学の交通手段（全体・居住地区別・通勤通学地別）

		徒歩のみ	電車	自家用車	バス	自転車	オートバイ	通勤・通学していない	その他
	全体 (1,243)	9.7	39.6	12.6	8.1	28.6	1.7	14.6	2.0
居住地区別	下戸田 1 地区 (131)	14.5	29.8	9.2	9.9	35.9	2.3	15.3	2.3
	下戸田 2 地区 (219)	7.8	41.1	11.0	10.0	29.7	0.5	15.1	1.8
	上戸田 1 地区 (138)	10.9	48.6	10.9	5.1	28.3	2.2	14.5	2.2
	上戸田 2 地区 (190)	9.5	48.4	6.8	5.3	15.8	0.5	15.3	1.1
	新曽地区 (279)	10.8	47.3	11.5	6.5	25.4	1.4	12.2	1.4
	笹目地区 (176)	9.1	21.0	21.6	10.2	36.4	4.0	17.6	4.0
	美女木地区 (105)	4.8	32.4	21.0	12.4	36.2	1.9	12.4	1.9
通勤・通学地別	戸田市内 (304)	24.0	5.6	19.4	5.3	54.9	3.0	3.0	4.3
	川口市 (50)	6.0	20.0	36.0	26.0	46.0	4.0	0.0	2.0
	さいたま市 (74)	9.5	51.4	21.6	8.1	37.8	5.4	0.0	2.7
	蕨市 (26)	7.7	11.5	30.8	19.2	65.4	0.0	0.0	0.0
	県内その他の市町村 (42)	4.8	57.1	33.3	9.5	28.6	4.8	0.0	0.0
	東京都 (410)	6.3	90.5	9.0	11.2	22.7	0.7	0.2	0.7
	県外（東京都を除く） (28)	10.7	82.1	10.7	21.4	17.9	3.6	0.0	7.1
	通勤・通学していない (231)	1.3	1.3	0.0	0.9	2.6	0.0	72.7	0.9

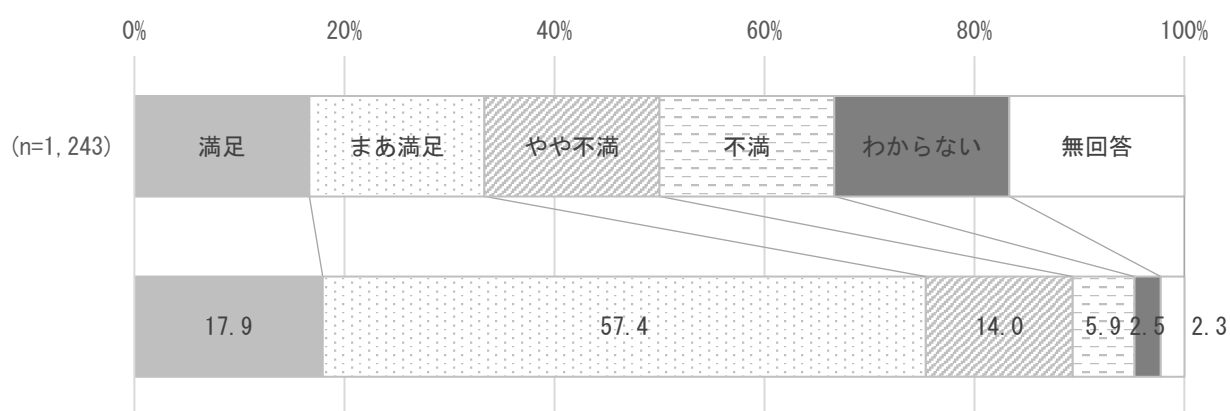
問 12 生活満足度

全般的な生活満足度については、「満足」(17.9%) 及び「まあ満足」(57.4%) を合わせると 75.3% であり、約 4 人に 3 人は満足しているという結果となっています。また、「やや不満」は 14.0%、「不満」は 5.9% でした。

年齢別にみると、年齢が上がると満足度は低くなる傾向がみられますが、70 歳以上では満足度は 72.1% と、60 歳代に比べて若干増加します。また、10 歳代の満足度は 95.2%、30 歳代は 80.1% と、いずれも 80% を超え、他の年代も 70% を超えています。

居住地区別にみると、新曽地区で満足度が 80% を超えています。一方「不満」及び「やや不満」を合わせると、最も高いのは美女木地区の 25.8% であり、次いで笹目地区 23.8%、下戸田 1 地区 23.6% となっています。

図表 20 生活満足度（全体）



図表 21 生活満足度（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない	無回答
	全体 (1, 243)	17.9	57.4	14.0	5.9	2.5	2.3
性別	男性 (547)	18.6	55.4	15.2	6.4	2.4	2.0
	女性 (671)	18.0	59.2	13.1	5.2	2.1	2.4
	その他 (2)	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
年齢別	18～19 歳 (21)	23.8	71.4	4.8	0.0	0.0	0.0
	20～29 歳 (109)	24.8	53.2	14.7	2.8	3.7	0.9
	30～39 歳 (171)	19.9	60.2	14.0	5.3	0.0	0.6
	40～49 歳 (257)	17.5	60.7	11.7	7.0	1.9	1.2
	50～59 歳 (265)	15.5	57.7	14.7	6.0	3.0	3.0
	60～69 歳 (185)	16.8	54.1	17.8	7.0	2.2	2.2
	70 歳以上 (226)	16.8	55.3	12.8	5.8	4.4	4.9
居住地区別	下戸田 1 地区 (131)	14.5	51.9	9.9	13.7	5.3	4.6
	下戸田 2 地区 (219)	19.2	58.9	11.4	5.9	3.2	1.4
	上戸田 1 地区 (138)	16.7	59.4	11.6	7.2	1.4	3.6
	上戸田 2 地区 (190)	17.4	57.9	16.8	4.7	1.1	2.1
	新曽地区 (279)	19.4	61.6	12.2	2.2	3.6	1.1
	笹目地区 (176)	19.3	52.3	17.0	6.8	1.1	3.4
	美女木地区 (105)	17.1	55.2	22.9	2.9	1.0	1.0

Ⅱ．調査結果の分析

1. 定住意向について

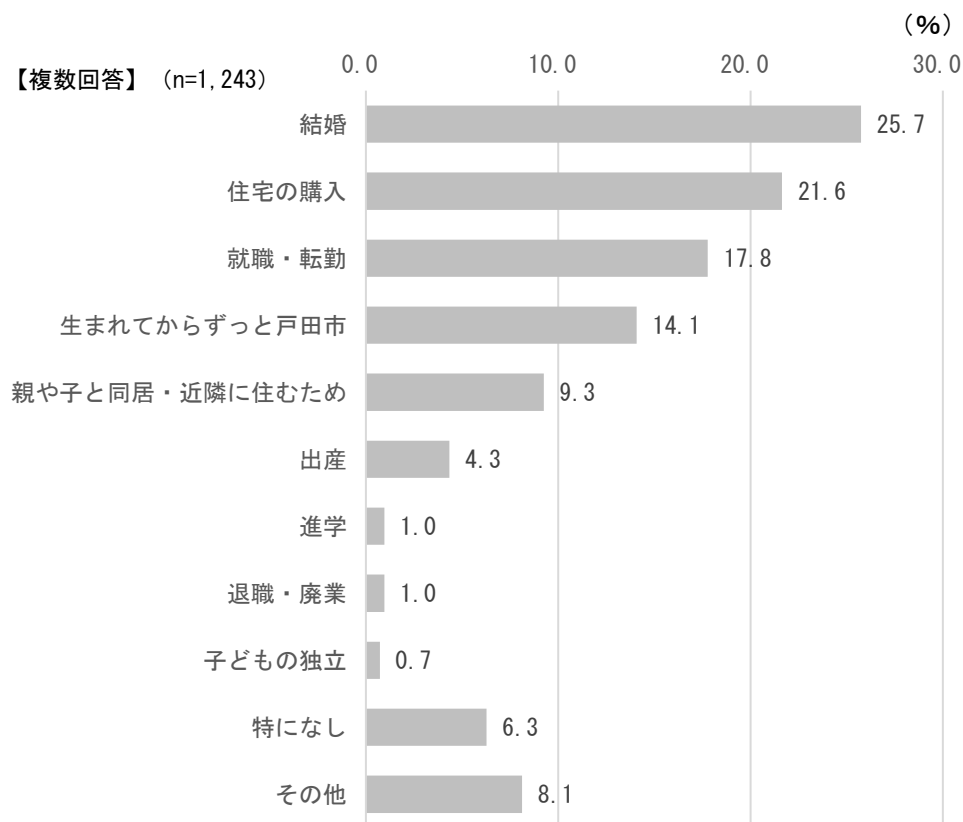
(1) 戸田市に移転したきっかけ

問 13 あなたが直前に住んでいた市区町村から移転したきっかけは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- ・戸田市に移転したきっかけについては、「結婚」が25.7%と最も高く、次いで「住宅の購入」(21.6%)、「就職・転勤」(17.8%)となっています。
- ・また、「生まれてからずっと戸田市」は14.1%となっています。

図表 22 戸田市に移転したきっかけ（全体）



【属性別の回答傾向】

- ・性別でみると、「男性」は「就職・転職」が女性より 7.3 ポイント高く、一方、「女性」は「結婚」が男性と比べて 9.3 ポイント高くなっています。
- ・年齢別にみると、10 歳代と 20 歳代は「生まれてからずっと戸田市」が高く 30 歳代、40 歳代、50 歳代は「結婚」が高くなっています。また、40 歳代、50 歳代では「住宅の購入」の割合も高くなっています。
- ・居住地区別にみると、「結婚」が多いのは「新曽地区」と「下戸田 1 地区」で、「住宅の購入」が多いのは「下戸田 2 地区」で 30.6%と、3 割を超えています。

図表 23 戸田市に移転したきっかけ（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		生まれてから ずっと戸田市	進学	就職・ 転職	結婚	出産	子どもの独立	退職・ 廃業	親や子と同居・ 近隣に住むため	住宅の 購入	特になし	その他
	全体(1,243)	14.1	1.0	17.8	25.7	4.3	0.7	1.0	9.3	21.6	6.3	8.1
性別	男性(547)	13.3	0.9	21.9	20.7	3.7	0.5	1.3	8.2	25.0	6.0	9.0
	女性(671)	14.3	1.0	14.6	30.0	4.8	0.9	0.7	9.8	19.2	6.4	7.6
	その他(2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19 歳(21)	57.1	4.8	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	9.5	9.5
	20～29 歳(109)	34.9	1.8	25.7	12.8	0.9	0.0	0.0	6.4	3.7	7.3	10.1
	30～39 歳(171)	9.4	0.6	29.2	36.8	10.5	0.0	0.0	8.8	14.0	4.1	7.6
	40～49 歳(257)	9.3	1.6	16.3	33.5	7.0	0.8	1.2	7.8	23.7	5.1	5.4
	50～59 歳(265)	13.2	1.1	14.3	29.1	2.3	0.0	0.8	10.6	23.8	7.5	7.2
	60～69 歳(185)	9.7	0.5	17.8	21.1	3.2	1.6	1.6	12.4	21.6	7.0	10.3
	70 歳以上(226)	12.8	0.0	12.4	16.8	1.8	1.8	1.8	8.0	33.2	6.6	9.7
居住地区別	下戸田 1 地区(131)	16.8	0.8	9.2	27.5	3.8	0.8	0.0	7.6	22.1	9.2	11.5
	下戸田 2 地区(219)	9.1	1.4	18.7	24.7	5.0	0.5	1.4	12.3	30.6	5.0	5.0
	上戸田 1 地区(138)	12.3	1.4	21.7	26.1	8.0	1.4	0.7	10.9	17.4	5.1	8.7
	上戸田 2 地区(190)	12.1	0.5	23.7	26.8	3.2	1.6	1.1	10.0	17.4	8.4	4.7
	新曽地区(279)	12.5	0.4	17.9	28.3	4.3	0.0	1.1	6.8	20.1	5.4	9.3
	笹目地区(176)	22.7	0.6	14.2	24.4	2.3	0.6	1.1	8.5	17.6	6.3	11.4
	美女木地区(105)	16.2	2.9	17.1	18.1	3.8	1.0	1.0	6.7	27.6	5.7	6.7

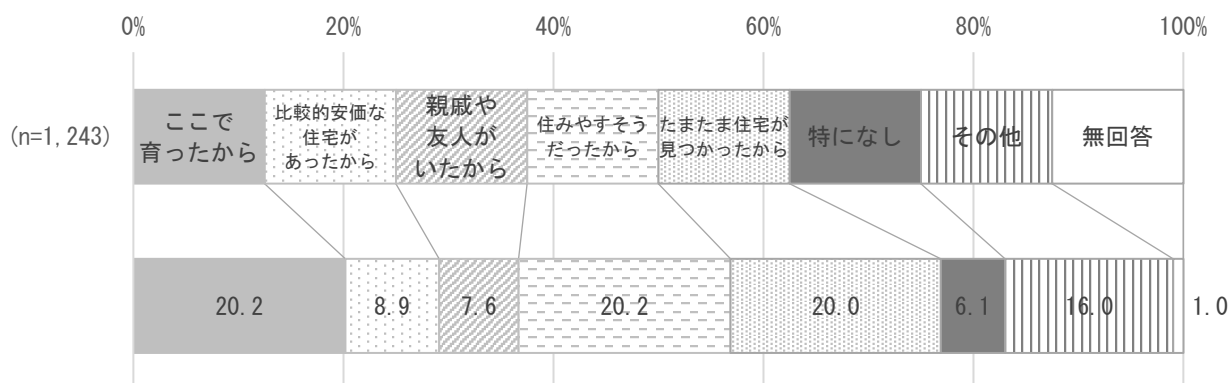
(2) 戸田市に住んでいる理由

問 14 あなたが戸田市に住んでいる理由を教えてください。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・戸田市に住んでいる理由については、「ここで育ったから」と「住みやすそうだったから」が 20.2%で最も高く、次いで「たまたま住宅が見つかったから」(20.0%)となっています。

図表 24 戸田市に住んでいる理由（全体）



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、10歳代と20歳代で「ここで育ったから」が高く、30歳代では「住みやすそうだったから」が 29.2%と、最も多くなっています。
- ・居住地区別でみると、「下戸田1地区」、「美女木地区」、「下戸田2地区」では「たまたま住宅が見つかったから」が高くなっています。また、「住みやすそうだったから」は、新曽地区が 24.4%と最も高く、次いで「上戸田1地区」、「上戸田2地区」が 23.2%と同数となっています。

図表 25 戸田市に住んでいる理由（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		ここで育ったから	比較的安価な住宅があったから	親戚や友人がいたから	住みやすそうだったから	たまたま住宅が見つかったから	特になし	その他	無回答
	全体 (1, 243)	20. 2	8. 9	7. 6	20. 2	20. 0	6. 1	16. 0	1. 0
性別	男性 (547)	21. 8	10. 6	7. 7	20. 5	19. 6	5. 5	14. 1	0. 4
	女性 (671)	18. 8	7. 9	7. 7	19. 7	20. 7	6. 4	17. 3	1. 5
	その他 (2)	0. 0	0. 0	0. 0	50. 0	0. 0	0. 0	50. 0	0. 0
年齢別	18～19 歳 (21)	76. 2	4. 8	0. 0	0. 0	4. 8	14. 3	0. 0	0. 0
	20～29 歳 (109)	47. 7	11. 9	3. 7	12. 8	6. 4	4. 6	12. 8	0. 0
	30～39 歳 (171)	14. 6	17. 0	5. 3	29. 2	14. 6	1. 8	17. 0	0. 6
	40～49 歳 (257)	14. 4	8. 9	7. 8	25. 7	22. 2	3. 1	17. 5	0. 4
	50～59 歳 (265)	18. 9	5. 7	7. 2	22. 6	22. 3	5. 3	17. 7	0. 4
	60～69 歳 (185)	19. 5	7. 6	10. 3	17. 8	20. 0	7. 0	16. 8	1. 1
	70 歳以上 (226)	14. 2	6. 6	10. 2	11. 1	27. 9	13. 3	13. 7	3. 1
居住地区別	下戸田 1 地区 (131)	22. 1	6. 9	6. 9	17. 6	24. 4	6. 1	14. 5	1. 5
	下戸田 2 地区 (219)	13. 7	12. 3	9. 6	21. 9	23. 7	4. 1	14. 6	0. 0
	上戸田 1 地区 (138)	18. 8	8. 0	8. 7	23. 2	18. 1	5. 1	17. 4	0. 7
	上戸田 2 地区 (190)	21. 1	9. 5	7. 9	23. 2	17. 4	5. 3	14. 7	1. 1
	新曽地区 (279)	15. 1	10. 8	6. 8	24. 4	20. 1	5. 4	16. 5	1. 1
	笹目地区 (176)	31. 3	4. 0	8. 5	14. 2	14. 8	9. 1	17. 0	1. 1
	美女木地区 (105)	25. 7	7. 6	2. 9	9. 5	23. 8	9. 5	19. 0	1. 9

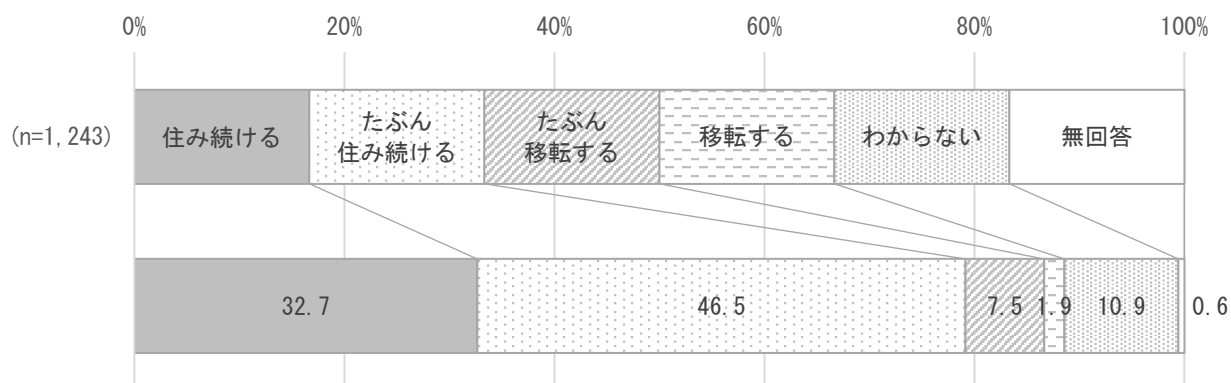
(3) 戸田市に住み続けたいか

問 15 あなたは、戸田市にこれからも住みたいと思いますか。(○は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・戸田市にこれからも住み続けたいかについては、「住み続ける」(32.7%)、「たぶん住み続ける」(46.5%)を合わせて79.2%となっています。一方、「たぶん移転する」(7.5%)と「移転する」(1.9%)を合わせると9.4%となっています。

図表 26 戸田市に住み続けたいか（全体）



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、「住み続ける」については、年齢が上がるほど高くなる傾向がみられます。特に、70歳以上では54.4%と高くなっています。一方、「たぶん移転する」は10歳代や20歳代で高く、いずれも20%を超えています。
- ・居住地区別にみると、「上戸田2地区」以外は「住み続ける」が30%を超えています。一方、「上戸田1地区」や「上戸田2地区」では、「たぶん移転する」及び「移転する」を合わせると10%を超えています。

図表 27 戸田市に住み続けたいか（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		住み続ける	たぶん住み続ける	たぶん移転する	移転する	わからない	無回答
	全体(1,243)	32.7	46.5	7.5	1.9	10.9	0.6
性別	男性(547)	32.2	47.7	8.8	2.2	8.8	0.4
	女性(671)	32.6	45.9	6.7	1.8	12.2	0.7
	その他(2)	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
年齢別	18～19歳(21)	14.3	47.6	23.8	4.8	9.5	0.0
	20～29歳(109)	10.1	40.4	25.7	5.5	18.3	0.0
	30～39歳(171)	25.1	49.7	10.5	4.7	9.4	0.6
	40～49歳(257)	29.6	54.9	5.8	1.2	7.4	1.2
	50～59歳(265)	29.4	50.9	6.0	1.1	12.1	0.4
	60～69歳(185)	36.2	42.7	3.2	1.1	16.8	0.0
	70歳以上(226)	54.4	35.8	1.8	0.4	6.6	0.9
居住地区別	下戸田1地区(131)	35.9	36.6	6.1	2.3	17.6	1.5
	下戸田2地区(219)	32.9	47.0	7.8	0.9	10.5	0.9
	上戸田1地区(138)	34.1	45.7	10.9	2.2	6.5	0.7
	上戸田2地区(190)	27.4	51.1	9.5	3.2	8.4	0.5
	新曽地区(279)	30.8	48.0	6.8	2.9	11.5	0.0
	笹目地区(176)	38.6	46.6	2.8	0.6	11.4	0.0
	美女木地区(105)	32.4	46.7	7.6	1.0	11.4	1.0

2. 子育てについて

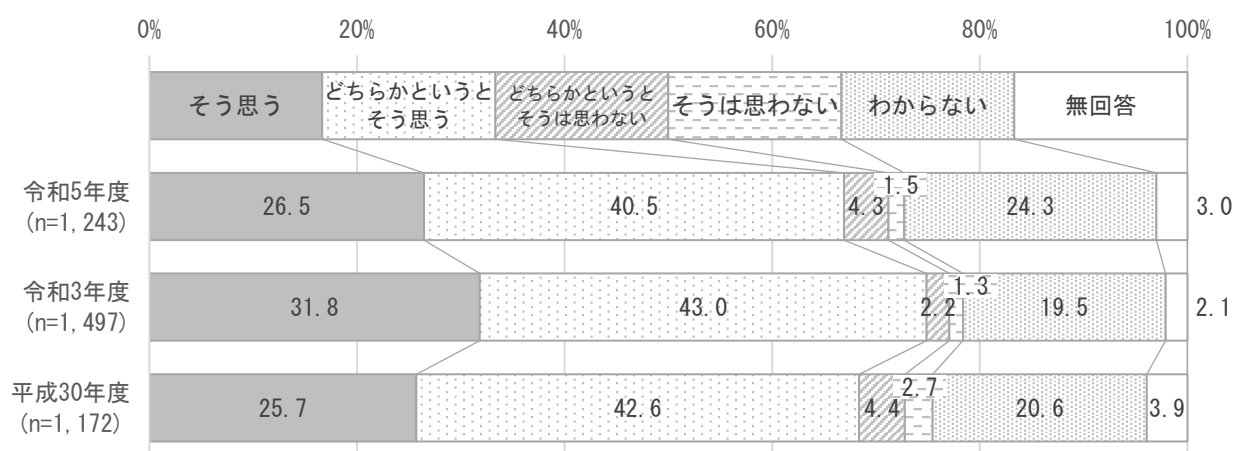
(1) 子育てのしやすさ

問 16 あなたは、戸田市は子育てしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・戸田市の子育てのしやすさについては、「そう思う」(26.5%)と「どちらかというと思う」(40.5%)を合わせた肯定的な意見が67.0%となっています。
- ・これまでの推移をみると、令和3年度調査では肯定的な意見が70%を超えていましたが、本調査では60%台に戻っています。

図表 28 子育てのしやすさ(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別でみると、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた肯定的な意見は、男性が62.7%、女性は70.5%と、女性の方が高くなっています。
- ・年齢別にみると、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた肯定的な意見は、30歳代、40歳代で70%を超えています。
- ・居住地区別にみると、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた肯定的な意見は、「上戸田1地区」、「下戸田2地区」で70%を超えています。

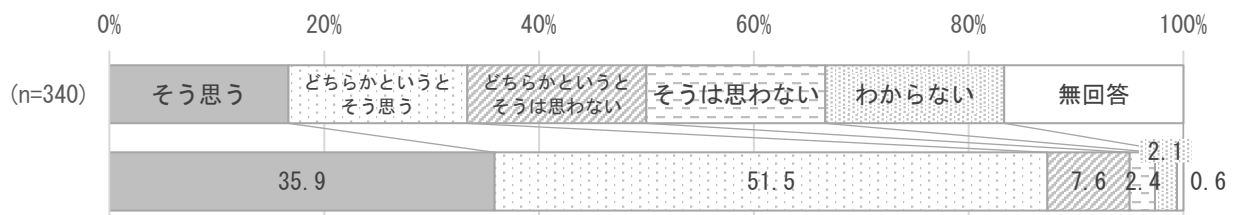
図表 29 子育てのしやすさ（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		そう 思う	どちら かとい うとそ う思う	どちら かとい うとそ うは思 わない	そう は思 わな い	わ か ら な い	無 回 答
	全体 (1, 243)	26. 5	40. 5	4. 3	1. 5	24. 3	3. 0
性別	男性 (547)	23. 6	39. 1	5. 1	1. 6	26. 9	3. 7
	女性 (671)	29. 1	41. 4	3. 7	1. 5	21. 8	2. 5
	その他 (2)	0. 0	50. 0	0. 0	0. 0	50. 0	0. 0
年齢別	18～19 歳 (21)	33. 3	23. 8	4. 8	4. 8	33. 3	0. 0
	20～29 歳 (109)	24. 8	39. 4	1. 8	0. 0	30. 3	3. 7
	30～39 歳 (171)	24. 6	46. 8	6. 4	2. 9	18. 1	1. 2
	40～49 歳 (257)	31. 5	43. 2	6. 6	2. 3	14. 8	1. 6
	50～59 歳 (265)	24. 2	41. 1	3. 4	1. 1	28. 3	1. 9
	60～69 歳 (185)	20. 5	47. 0	2. 2	0. 5	26. 5	3. 2
	70 歳以上 (226)	30. 1	28. 3	3. 5	1. 3	29. 6	7. 1
居住地区別	下戸田 1 地区 (131)	22. 1	38. 2	3. 1	4. 6	29. 0	3. 1
	下戸田 2 地区 (219)	30. 1	41. 1	3. 2	1. 4	20. 1	4. 1
	上戸田 1 地区 (138)	33. 3	39. 1	4. 3	0. 0	17. 4	5. 8
	上戸田 2 地区 (190)	22. 6	43. 2	2. 6	1. 1	28. 9	1. 6
	新曽地区 (279)	26. 2	42. 3	3. 6	1. 4	24. 0	2. 5
	笹目地区 (176)	24. 4	36. 9	7. 4	1. 1	28. 4	1. 7
	美女木地区 (105)	27. 6	39. 0	7. 6	1. 9	21. 0	2. 9

【現役の子育て世代の回答傾向】

- ・現役の子育て世代（一番下の子の年齢が中学生以下の世代）の「子育てのしやすさ」に対する回答は、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた肯定的な意見は 87. 4%と高く、否定的な意見（「どちらかというとは思わない」と「そうは思わない」）の 10. 0%を大幅に上回り、子育てしやすいと感じています。

図表 30 子育てのしやすさ（末子年齢が中学生以下の層）



(2) 子育てに関する満足度

問 17 あなたは、戸田市に住んでいて、子育てに関する以下のことに、どの程度満足していますか。

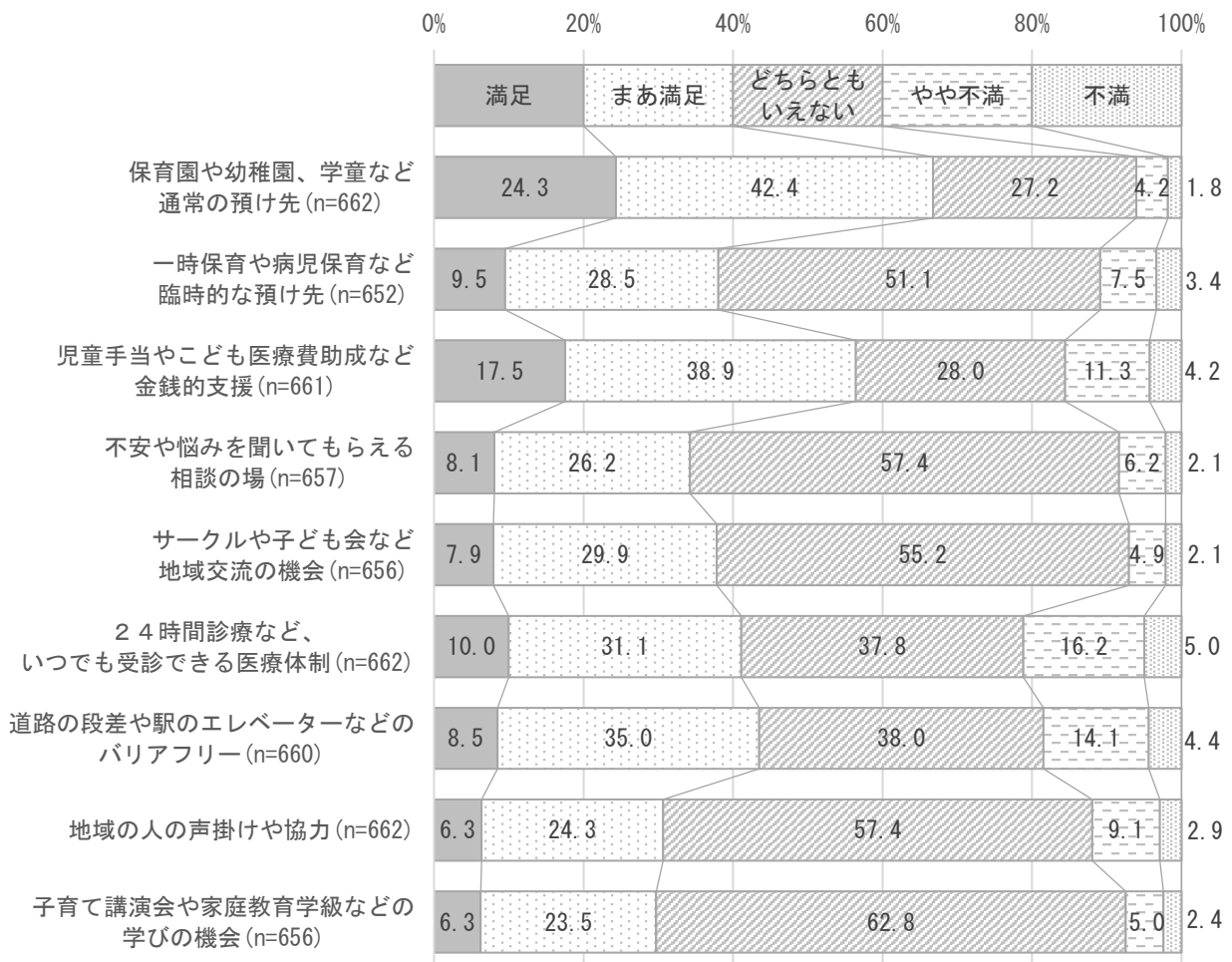
(項目ごとに○は1つ)

※お子さんがいない方は、問 18 へお進みください。

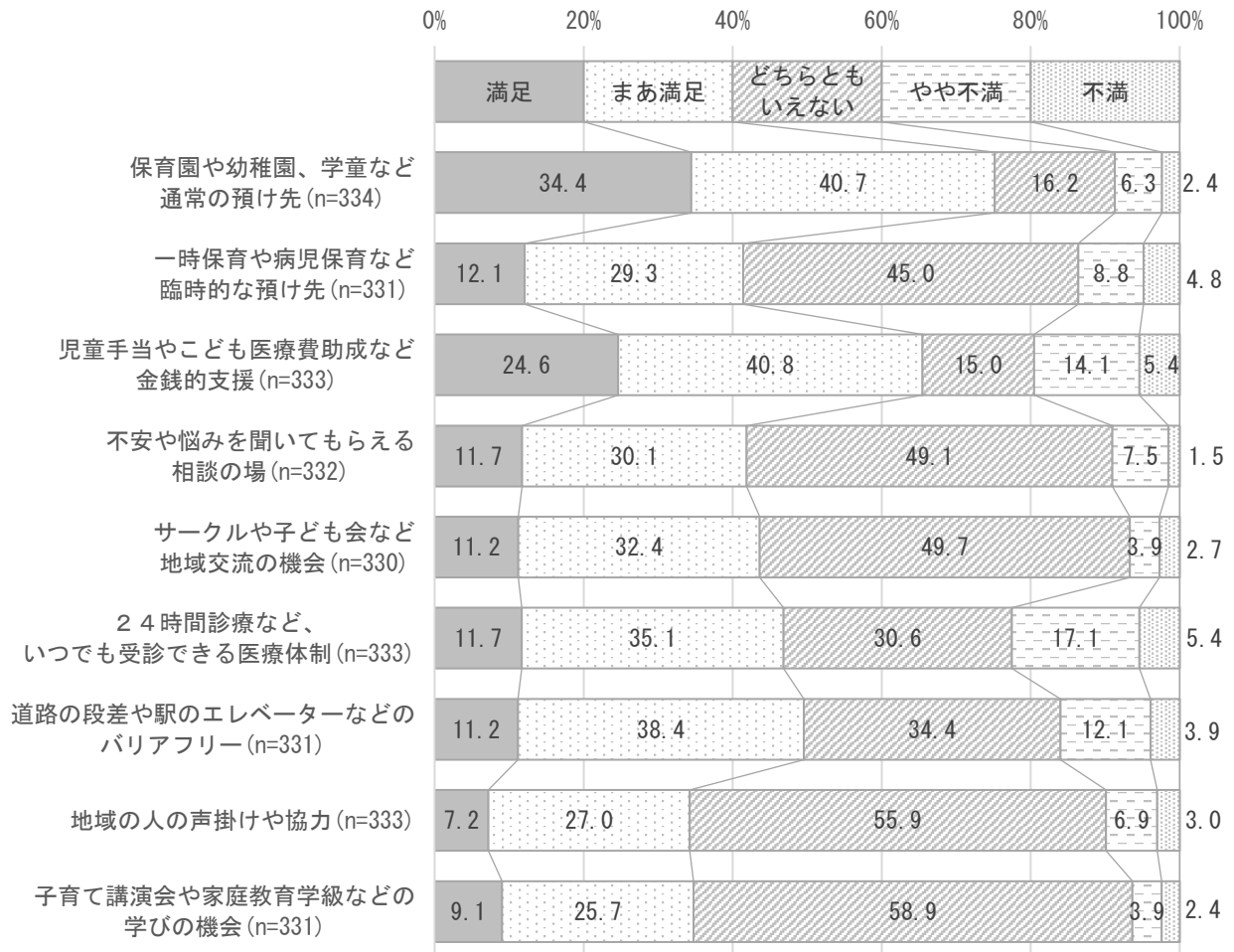
【全体の回答傾向】

- この設問は、子どもがいる方だけの回答となっており、全体から無回答を除いた数が集計母数となります。
- 「保育園や幼稚園、学童など通常の預け先」については、「満足」(24.3%)と「まあ満足」(42.4%)を合わせた肯定的な意見が66.7%となり、「児童手当やこども医療費助成など金銭的支援」についても、肯定的な意見が50%を超えています。一方、「24時間診療など、いつでも受診できる医療体制」は、「不満」、「やや不満」を合わせた否定的な意見が20%を超えています。
- 「子育てに関する満足度」を、末子年齢が中学生以下の層に聞いたところ、「満足」と「まあ満足」を合わせた肯定的な意見が高いのは「保育園や幼稚園、学童などの通常の預け先」で75.1%、次いで「児童手当やこども医療費女性など金銭的な支援」で65.4%となっています。一方、「不満」、「やや不満」を合わせた否定的な意見が高いのは「24時間診療など、いつでも受診できる医療体制」で22.5%、次いで「児童手当やこども医療費助成など金銭的支援」で19.5%となっています。

図表 31 子育てに関する満足度（全体）



図表 32 子育てに関する満足度（末子年齢が中学生以下の層）



3. 健康づくりについて

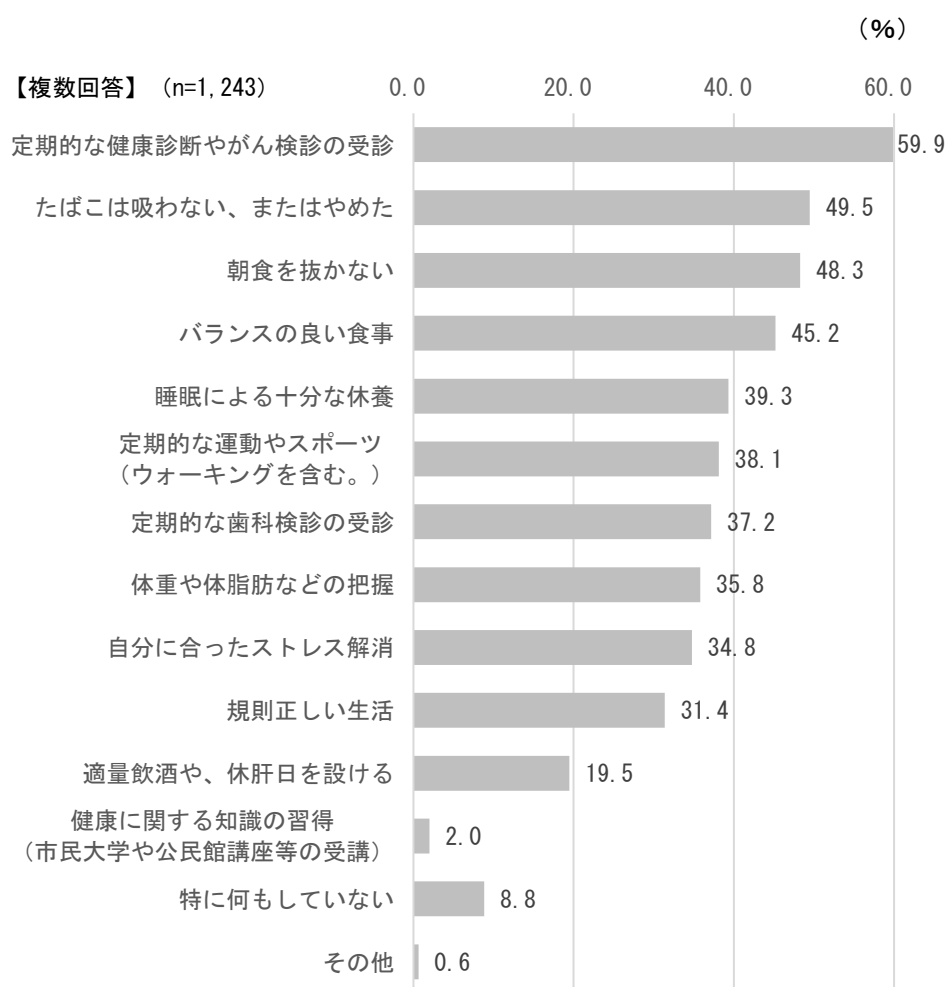
(1) 健康のために留意していること

問 18 あなたは、健康のために、留意していることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- ・健康のために留意していることについて、「定期的な健康診断やがん検診の受診」が 59.9%と最も高く、次いで「たばこは吸わない、またはやめた」(49.5%)、「朝食を抜かない」(48.3%)となっており、これは令和3年度調査と同様の傾向となっています。一方、「健康に関する知識の習得（市民大学や公民館講座等の受講）」は、「その他」を除けば 2.0%と最も低くなっています。

図表 33 健康のために留意していること（全体）



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は女性に比べ、「定期的な運動やスポーツ」、「適量飲酒や、休肝日の設置」などが高く、女性は男性に比べ、「定期的な歯科検診の受診」が高くなっています。
- ・年齢別にみると、「特に何もしていない」については、10歳代が最も高く、30歳代までは年齢が上がるにつれて低くなる傾向にありますが、40歳代から高くなり、60歳代、70歳以上では10%を超えています。また、20歳代、70歳以上では「たばこは吸わない、またはやめた」が50%を超えています。
- ・居住地区別にみると、全体的に「定期的ながん検診や健康診断の受診」が高くなっています。また、笹目地区、美女木地区では「特に何もしていない」が高く、10%を超えています。

図表 34 健康のために留意していること（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		定期的ながん検診や健康診断の受診	定期的な歯科健診の受診	バランスの良い食事	朝食を抜かない	定期的な運動やスポーツ	体重や体脂肪などの把握	睡眠による十分な休養	自分に合ったストレス解消	規則正しい生活	適量飲酒や、休肝日の設置	たばこは吸わない、またはやめた	健康に関する知識の習得	特に何もしていない	その他
	全体 (1,243)	59.9	37.2	45.2	48.3	38.1	35.8	39.3	34.8	31.4	19.5	49.5	2.0	8.8	0.6
性別	男性 (547)	59.0	32.2	43.3	48.3	44.1	35.8	37.3	31.8	27.4	24.5	51.6	1.8	10.2	0.2
	女性 (671)	60.4	41.4	46.5	48.0	32.8	36.7	41.4	37.1	34.9	15.5	48.1	2.1	7.9	1.0
	その他 (2)	100.0	50.0	100.0	50.0	100.0	0.0	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19 歳 (21)	4.8	14.3	33.3	52.4	38.1	23.8	42.9	47.6	28.6	14.3	38.1	0.0	23.8	0.0
	20～29 歳 (109)	34.9	29.4	33.0	45.0	37.6	30.3	44.0	43.1	23.9	24.8	53.2	0.0	11.0	0.9
	30～39 歳 (171)	56.7	39.8	39.8	41.5	35.7	34.5	46.2	49.7	29.8	27.5	48.5	1.8	5.8	0.0
	40～49 歳 (257)	64.6	37.7	42.4	40.9	35.8	34.2	45.5	35.8	30.0	21.0	49.0	0.8	7.4	0.4
	50～59 歳 (265)	68.3	34.0	48.7	44.9	40.4	37.7	32.8	36.2	29.8	15.5	46.4	3.8	8.3	1.1
	60～69 歳 (185)	65.4	40.5	48.6	50.8	36.2	42.2	34.6	29.7	30.8	15.1	47.0	1.1	10.3	0.5
	70 歳以上 (226)	58.4	41.2	53.5	65.0	41.6	35.4	37.2	20.8	40.3	18.1	56.2	3.5	10.2	0.9
居住地区別	下戸田 1 地区 (131)	54.2	32.1	45.0	51.1	40.5	38.2	33.6	27.5	29.0	24.4	52.7	0.8	8.4	0.8
	下戸田 2 地区 (219)	55.7	32.4	45.2	41.1	33.8	34.7	36.5	36.5	28.3	15.1	43.4	3.7	9.6	1.4
	上戸田 1 地区 (138)	66.7	44.9	54.3	55.1	47.8	38.4	47.1	37.0	38.4	28.3	50.0	0.0	5.1	0.0
	上戸田 2 地区 (190)	63.2	34.2	49.5	49.5	43.7	39.5	43.2	40.5	38.4	21.1	44.2	1.6	5.8	1.1
	新曽地区 (279)	61.3	40.5	41.2	46.6	37.3	34.1	39.4	35.5	30.1	17.6	52.3	2.5	8.6	0.0
	笹目地区 (176)	58.0	36.4	36.9	47.2	30.1	33.0	35.8	33.5	25.6	16.5	55.1	1.7	13.1	0.6
	美女木地区 (105)	61.0	41.9	48.6	54.3	36.2	33.3	39.0	27.6	31.4	19.0	47.6	1.9	12.4	1.0

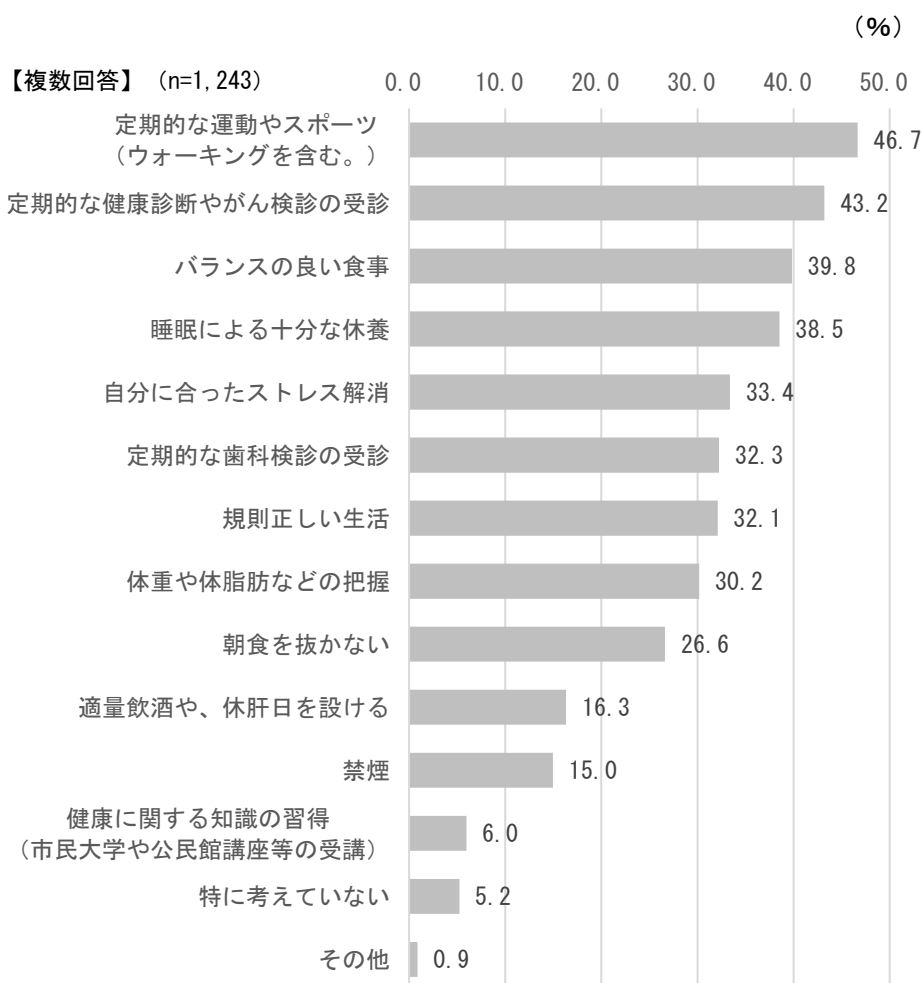
(2) 健康のために今後取り組みたいこと

問 19 あなたは、健康のために、今後取り組みたいと思っていることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- ・ 健康のため今後取り組みたいことについて、「定期的な運動やスポーツ（ウォーキングを含む。）」が 46.7%と最も高く、次いで「定期的な健康診断やがん検診の受診」（43.2%）、「バランスの良い食事」（39.8%）となっています。

図表 35 健康のために今後取り組みたいこと（全体）



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、「特に考えていない」を除き、男性は女性に比べ、「適量飲酒や、休肝日の設置」、「禁煙」、「朝食を抜かない」が高く、それ以外の項目については女性の方が高くなっています。特に、「適量飲酒や、休肝日の設置」は、男性の方が11.2ポイント高くなっています。
- ・年齢別にみると、10歳代～40歳代、60歳代は「定期的な運動やスポーツ」の割合が最も高く、50歳代、70歳以上は「定期的ながん検診や健康診断の受診」が最も高くなっています。
- ・居住地区別にみると、「笹目地区」を除き、「定期的な運動やスポーツ」の割合が最も高く、「上戸田1地区」、「美女木地区」では50%を超えています。また、「定期的ながん検診や健康診断の受診」も同様に割合が高く、地区の中で最も割合の高い「美女木地区」は50.5%となっています。

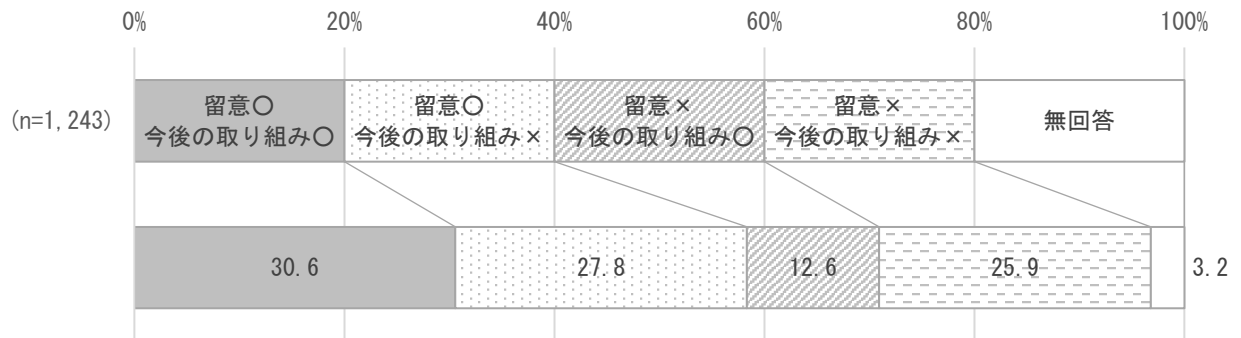
図表 36 健康のために今後取り組みたいこと（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		定期的ながん検診や健康診断の受診	定期的な歯科健診の受診	バランスの良い食事	朝食を抜かない	定期的な運動やスポーツ	体重や体脂肪などの把握	睡眠による十分な休養	自分に合ったストレス解消	規則正しい生活	適量飲酒や、休肝日の設置	禁煙	健康に関する知識の習得	特に考えていない	その他
	全体(1,243)	43.2	32.3	39.8	26.6	46.7	30.2	38.5	33.4	32.1	16.3	15.0	6.0	5.2	0.9
性別	男性(547)	42.8	28.9	39.5	27.4	44.8	28.9	34.0	28.0	30.5	22.5	19.7	4.0	6.8	0.7
	女性(671)	43.4	35.0	39.9	26.1	47.8	31.1	42.0	37.9	33.2	11.3	11.2	7.7	4.0	1.0
	その他(2)	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	0.0	100.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(21)	19.0	19.0	23.8	14.3	47.6	19.0	28.6	23.8	28.6	4.8	4.8	0.0	14.3	0.0
	20～29歳(109)	40.4	34.9	42.2	22.9	51.4	24.8	34.9	31.2	34.9	15.6	13.8	4.6	6.4	0.9
	30～39歳(171)	39.8	34.5	40.4	22.2	59.6	32.7	41.5	39.8	34.5	16.4	14.6	5.8	2.9	0.6
	40～49歳(257)	41.2	32.3	36.2	23.3	55.3	30.0	39.7	32.3	29.2	18.3	14.8	3.9	3.9	0.4
	50～59歳(265)	46.0	32.1	37.4	21.1	41.5	29.8	39.6	36.6	29.8	16.2	12.8	7.2	2.6	1.1
	60～69歳(185)	42.2	30.8	40.0	26.5	42.7	33.5	35.7	35.1	30.3	18.9	15.7	7.6	7.0	0.5
	70歳以上(226)	48.7	32.7	47.3	43.4	34.5	30.5	40.3	27.9	37.6	13.3	19.5	7.1	8.8	1.8
居住地区別	下戸田1地区(131)	43.5	35.1	41.2	33.6	44.3	33.6	42.0	29.0	35.9	20.6	16.8	4.6	5.3	0.8
	下戸田2地区(219)	35.6	28.3	35.2	21.0	47.0	27.4	31.1	30.1	27.9	11.4	11.4	5.9	5.5	2.3
	上戸田1地区(138)	47.8	37.7	46.4	29.0	52.2	31.9	44.9	37.0	34.8	22.5	17.4	8.7	2.9	0.7
	上戸田2地区(190)	43.7	29.5	43.7	25.8	48.9	28.9	36.8	34.7	32.6	16.8	17.9	5.3	5.3	1.1
	新曽地区(279)	41.9	32.3	40.5	25.4	44.8	30.5	39.1	34.8	31.9	16.8	13.3	5.0	5.4	0.7
	笹目地区(176)	46.0	33.0	35.2	26.7	42.6	28.4	38.1	38.6	29.5	14.8	16.5	6.3	6.3	0.6
	美女木地区(105)	50.5	34.3	39.0	31.4	50.5	33.3	44.8	26.7	36.2	14.3	14.3	6.7	4.8	0.0

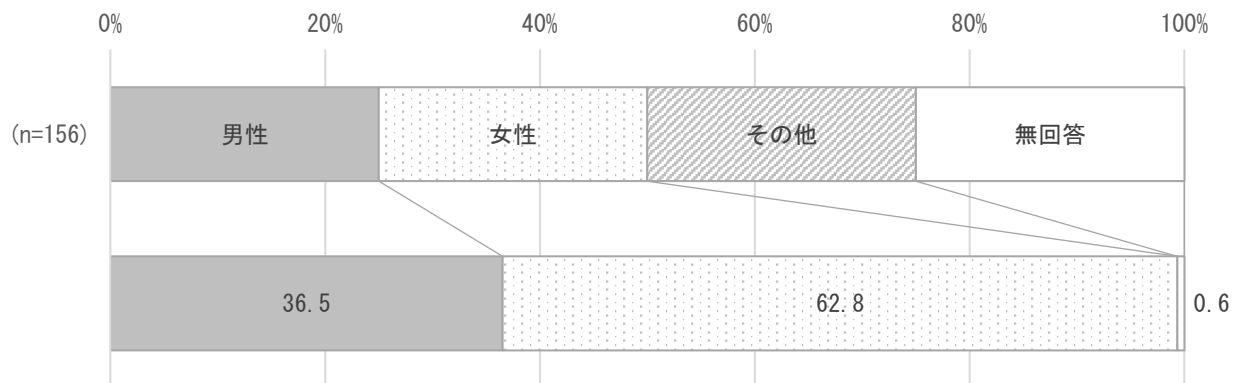
【定期的ながん検診や健康診断の受診について】

- ・「健康のために留意していること」（問 18）及び「健康のために今後取り組みたいこと」（問 19）のいずれにおいても高い値を示した「定期的ながん検診や健康診断の受診」について、問 16 及び問 17 に対する回答（選択していれば○、選択していなければ×）に基づき、回答者を 4 つに分類し、集計しました（図表 35）。
- ・今後、がん検診や健康診断の受診者の増加を目指す場合、「現在留意していないが、今後取り組みたいと思っている（留意×今後取組○）」層（12.6%）に対する対策が効果的であると考えられます。
- ・「留意×今後取組○」は、全体では 12.6%で、内訳をみると、性別では、女性が 62.8%と半数以上を占め、年齢別では、50 歳代（21.2%）、30 歳代（19.2%）、40 歳代（17.3%）が多くなっています。また、雇用形態別でみると、「フルタイム正社員」（27.6%）と「パート・アルバイト」（23.7%）、「無就業」（12.8%）が多くなっています。
- ・まとめると、定期的ながん検診や健康診断の受診について、「留意×今後取組○」の集団は、女性の割合が高く、年齢では 40 歳代～50 歳代、雇用形態では、フルタイム正社員が多い、という結果でした。
- ・なお、この「留意×今後取組○」は、全体（n=1,243）の 12.6%であり、n=156 と集計母数が十分とは言えないため、得られた結果については、あくまで傾向を見る程度である点に留意してください。

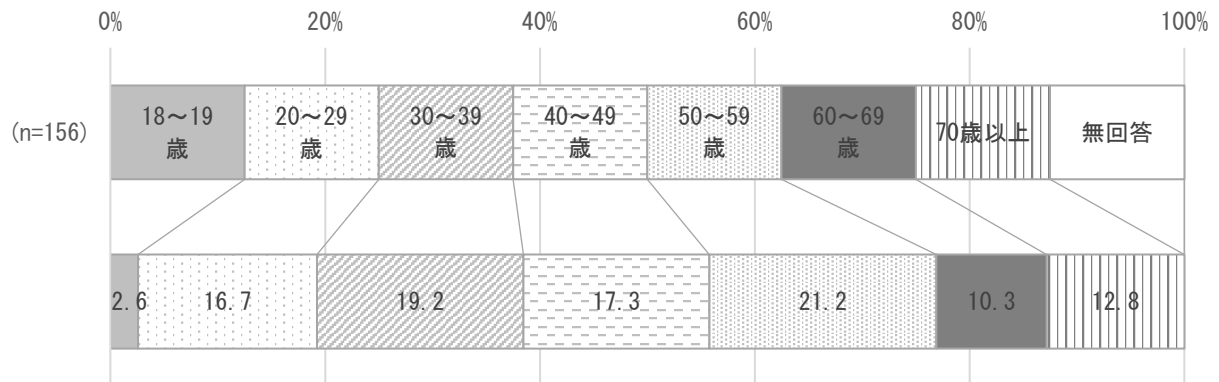
図表 37 定期的ながん検診や健康診断の受診（全体）



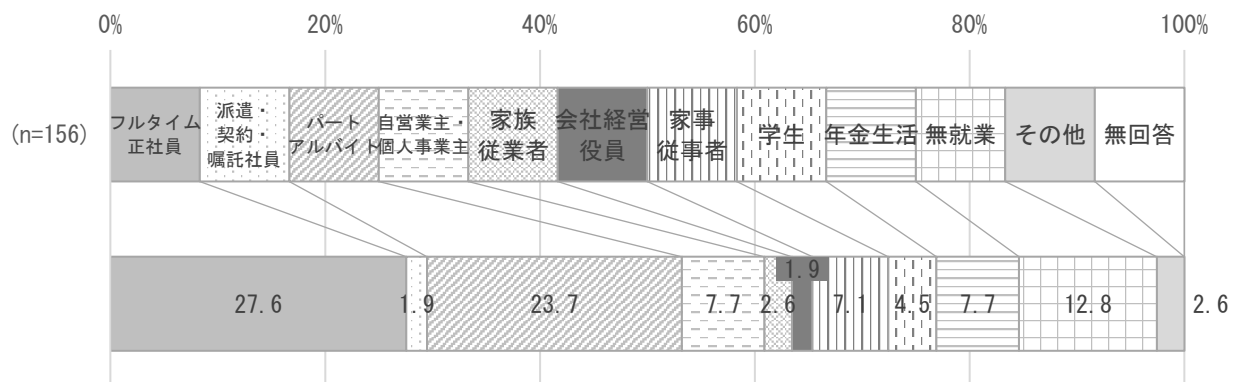
図表 38 留意×今後取組○（性別）



図表 39 留意×今後取組○（年齢別）



図表 40 留意×今後取組○（雇用形態別）



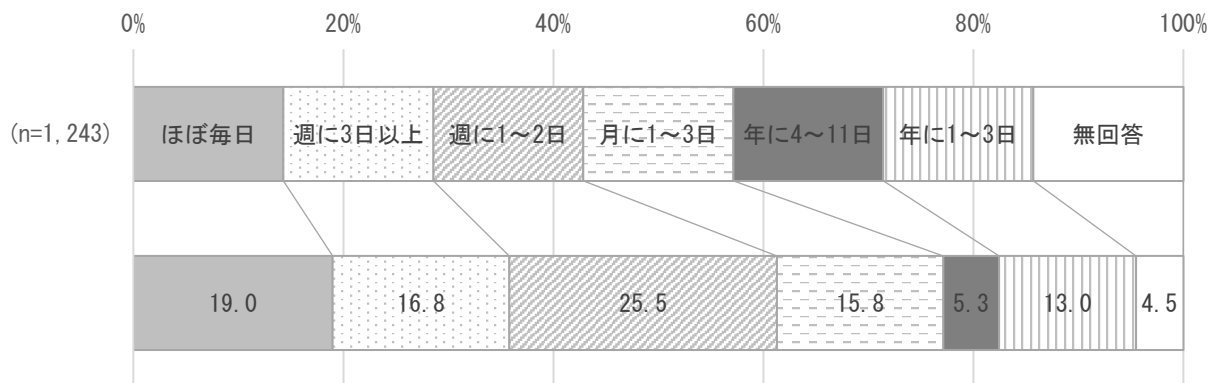
（３）過去１年間のスポーツ・レクリエーション活動の機会

問 20 あなたは、過去１年間にスポーツ・レクリエーション活動（学校の授業や職業として行ったものを除く）をする機会がどのくらいありましたか。（散歩やウォーキング、軽い体操、子どもとの体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすことなども含みます。）
（○は１つ）

【全体の回答傾向】

- ・過去１年間のスポーツ・レクリエーション活動の機会については、週に１回以上活動している方（「ほぼ毎日」、「週に３日以上」、「週に１～２回」の合計）は61.3%と半数を超えており、中でも「週に１～２回」が25.5%と最も高くなっています。

図表 41 過去１年間のスポーツ・レクリエーション活動の機会（全体）



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男女共に「週に１～２日」が最も高く、25%前後となっています。
- ・年齢別にみると、20歳代、60歳代で「ほぼ毎日」、70歳以上で「週に３日以上」の割合が最も高くなっていますが、30歳代～50歳代では、「週に１～２日」が最も高くなっており、30%前後となっています。
- ・地区別にみると、笹目地区以外の地区で「週に１～２日」が最も高くなっています。また、「下戸田１地区」、「上戸田１地区」、「笹目地区」では「ほぼ毎日」が20%を超えています。

図表 42 過去 1 年間のスポーツ・レクリエーション活動の機会（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		ほぼ毎日	週に 3 日以上	週に 1 ～ 2 日	月に 1 ～ 3 日	年に 4 ～ 11 日	年に 1 ～ 3 日	無回答
	全体 (1,243)	19.0	16.8	25.5	15.8	5.3	13.0	4.5
性別	男性 (547)	18.5	15.4	24.5	15.7	6.8	15.4	3.8
	女性 (671)	19.7	17.6	26.1	16.4	4.3	11.2	4.8
	その他 (2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19 歳 (21)	19.0	14.3	9.5	33.3	4.8	19.0	0.0
	20～29 歳 (109)	24.8	13.8	23.9	18.3	7.3	11.0	0.9
	30～39 歳 (171)	15.2	15.8	28.7	22.2	3.5	14.6	0.0
	40～49 歳 (257)	14.0	10.9	29.6	19.8	7.4	17.1	1.2
	50～59 歳 (265)	18.1	18.1	30.2	11.7	5.7	14.0	2.3
	60～69 歳 (185)	22.2	17.3	21.1	13.5	6.5	13.5	5.9
	70 歳以上 (226)	22.6	24.3	19.0	10.2	2.2	6.6	15.0
居住地区別	下戸田 1 地区 (131)	25.2	18.3	26.0	7.6	4.6	13.0	5.3
	下戸田 2 地区 (219)	16.9	16.9	27.9	11.9	5.5	16.4	4.6
	上戸田 1 地区 (138)	23.2	16.7	25.4	15.2	3.6	10.9	5.1
	上戸田 2 地区 (190)	18.4	15.8	25.3	19.5	4.7	14.2	2.1
	新曽地区 (279)	13.6	16.1	26.2	19.0	6.8	14.0	4.3
	笹目地区 (176)	25.0	14.8	21.0	17.0	5.7	9.7	6.8
	美女木地区 (105)	14.3	21.0	27.6	18.1	4.8	10.5	3.8

4. 高齢化について

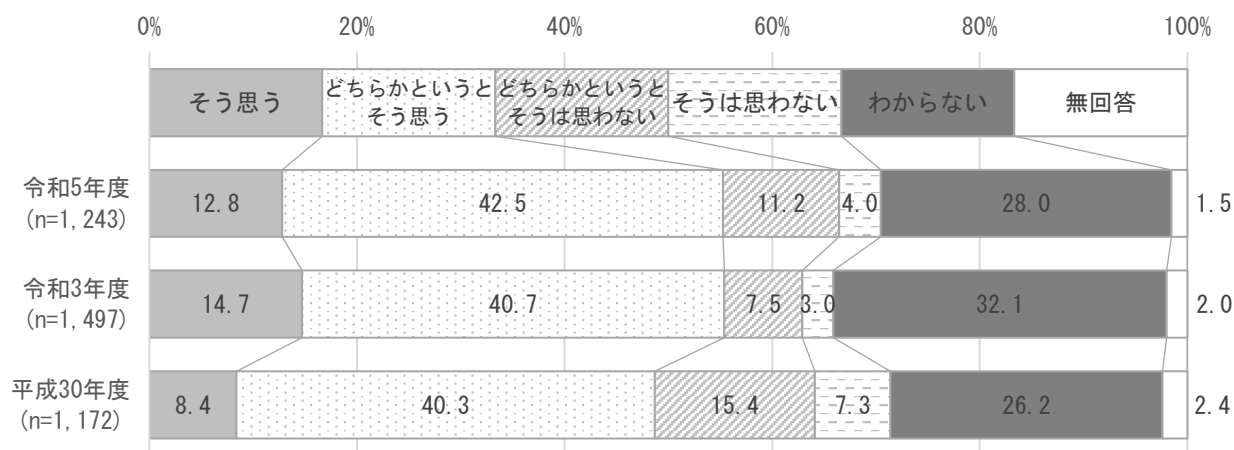
(1) 高齢者にとって、過ごしやすいまちだと思うか

問 21 あなたは、市内に住んでいる高齢者または高齢者のいる世帯にとって、戸田市は過ごしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・高齢者にとって、過ごしやすいまちだと思うかについて、「そう思う」(12.8%)と「どちらかというと思う」(42.5%)を合わせた肯定的な意見が55.3%となっており、令和3年度調査と同様に50%を超えています。一方、「どちらかというとは思わない」(11.2%)と「そうは思わない」(4.0%)を合わせた否定的な意見は15.2%となり、令和3年度調査から4.7ポイント増加しています。

図表 43 高齢者にとって過ごしやすいまちだと思うか（全体）



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、10歳代、70歳以上で肯定的な意見が多く、「そう思う」は70歳以上で27.0%と最も高く、「どちらかというと思う」は10歳代では57.1%となっています。
- ・居住地区別にみると、いずれの地区も「どちらかというと思う」が最も高くなっています。

図表 44 高齢者にとって過ごしやすいまちだと思うか（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		そう思う	どちらかという う思う	どちらかという うは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
	全体 (1, 243)	12. 8	42. 5	11. 2	4. 0	28. 0	1. 5
性別	男性 (547)	13. 3	43. 7	11. 7	3. 3	27. 1	0. 9
	女性 (671)	12. 2	41. 6	10. 4	4. 6	29. 2	1. 9
	その他 (2)	50. 0	50. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0
年齢別	18～19 歳 (21)	19. 0	57. 1	4. 8	9. 5	9. 5	0. 0
	20～29 歳 (109)	11. 0	33. 0	9. 2	0. 9	43. 1	2. 8
	30～39 歳 (171)	11. 7	45. 0	11. 7	3. 5	26. 9	1. 2
	40～49 歳 (257)	9. 3	41. 6	11. 3	5. 1	31. 5	1. 2
	50～59 歳 (265)	7. 9	43. 0	10. 6	4. 2	33. 2	1. 1
	60～69 歳 (185)	8. 6	46. 5	14. 6	3. 2	25. 9	1. 1
	70 歳以上 (226)	27. 0	40. 3	10. 2	4. 4	15. 5	2. 7
居住地区別	下戸田 1 地区 (131)	12. 2	41. 2	9. 9	3. 8	30. 5	2. 3
	下戸田 2 地区 (219)	12. 8	42. 0	11. 4	4. 6	27. 9	1. 4
	上戸田 1 地区 (138)	11. 6	47. 8	9. 4	1. 4	27. 5	2. 2
	上戸田 2 地区 (190)	11. 1	46. 8	11. 1	3. 2	27. 9	0. 0
	新曽地区 (279)	14. 7	43. 0	9. 3	3. 6	28. 0	1. 4
	笹目地区 (176)	9. 1	37. 5	16. 5	6. 3	29. 0	1. 7
	美女木地区 (105)	19. 0	39. 0	10. 5	4. 8	24. 8	1. 9

(2) 高齢者に関することにどの程度満足しているか

問 22 あなたは、戸田市に住んでいて、高齢者に関する以下のことに、どの程度満足していますか。

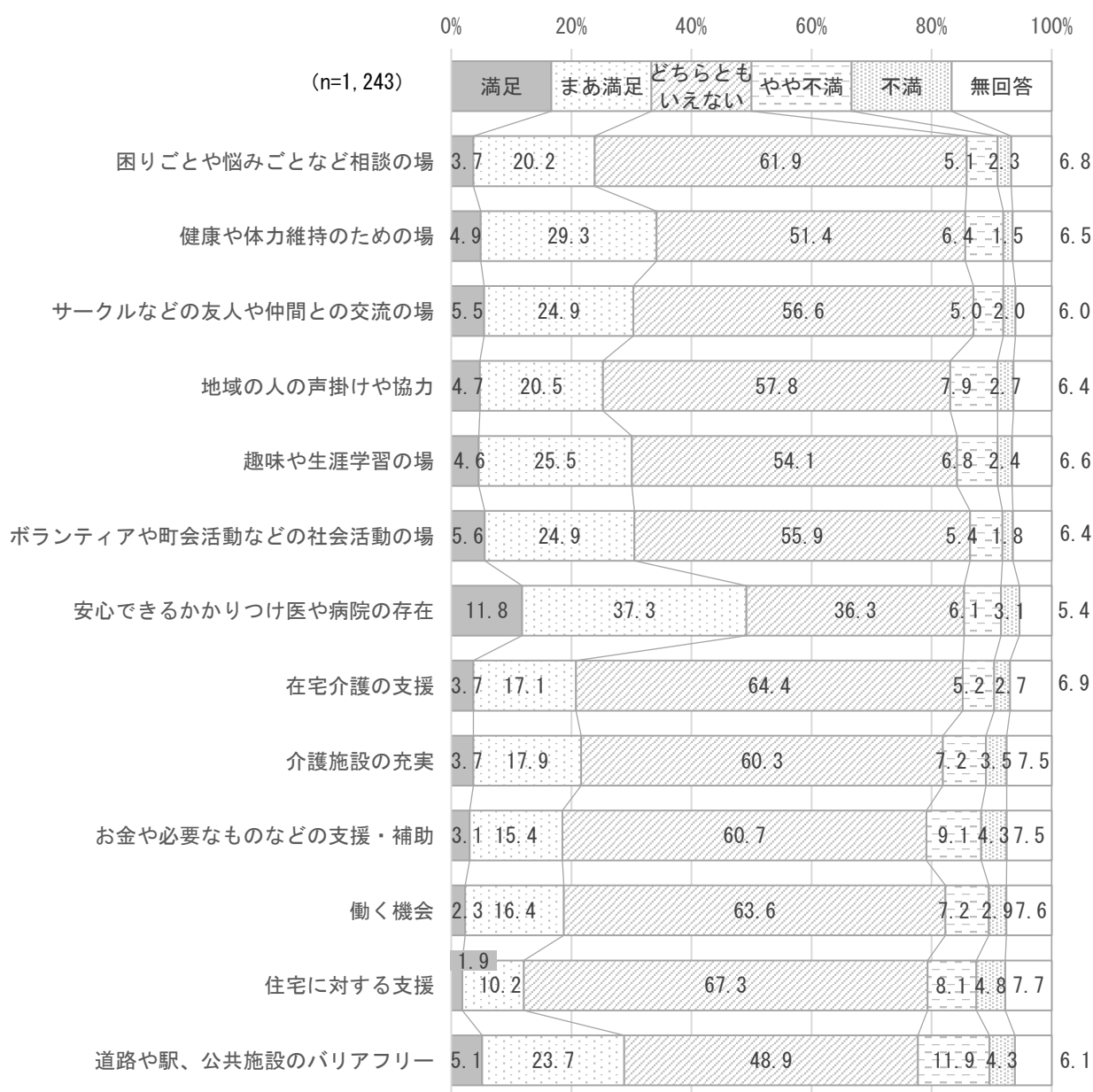
(項目ごとに○は1つ)

※あなたが高齢者でない場合は、身近な方をイメージしてお答えください。

【全体の回答傾向】

- ・高齢者に関することの満足度について、「安心できるかかりつけ医や病院の存在」以外の項目では「どちらともいえない」が最も高い結果となりました。
- ・「満足」及び「まあ満足」をみると、「安心できるかかりつけ医や病院の存在」が合計で49.1%と他の項目に比べて最も高く、次いで「健康や体力維持のための場」が34.2%となっています。一方、「やや不満」や「不満」の合計では「道や駅、公共施設のバリアフリー」が16.2%と最も低くなりました。

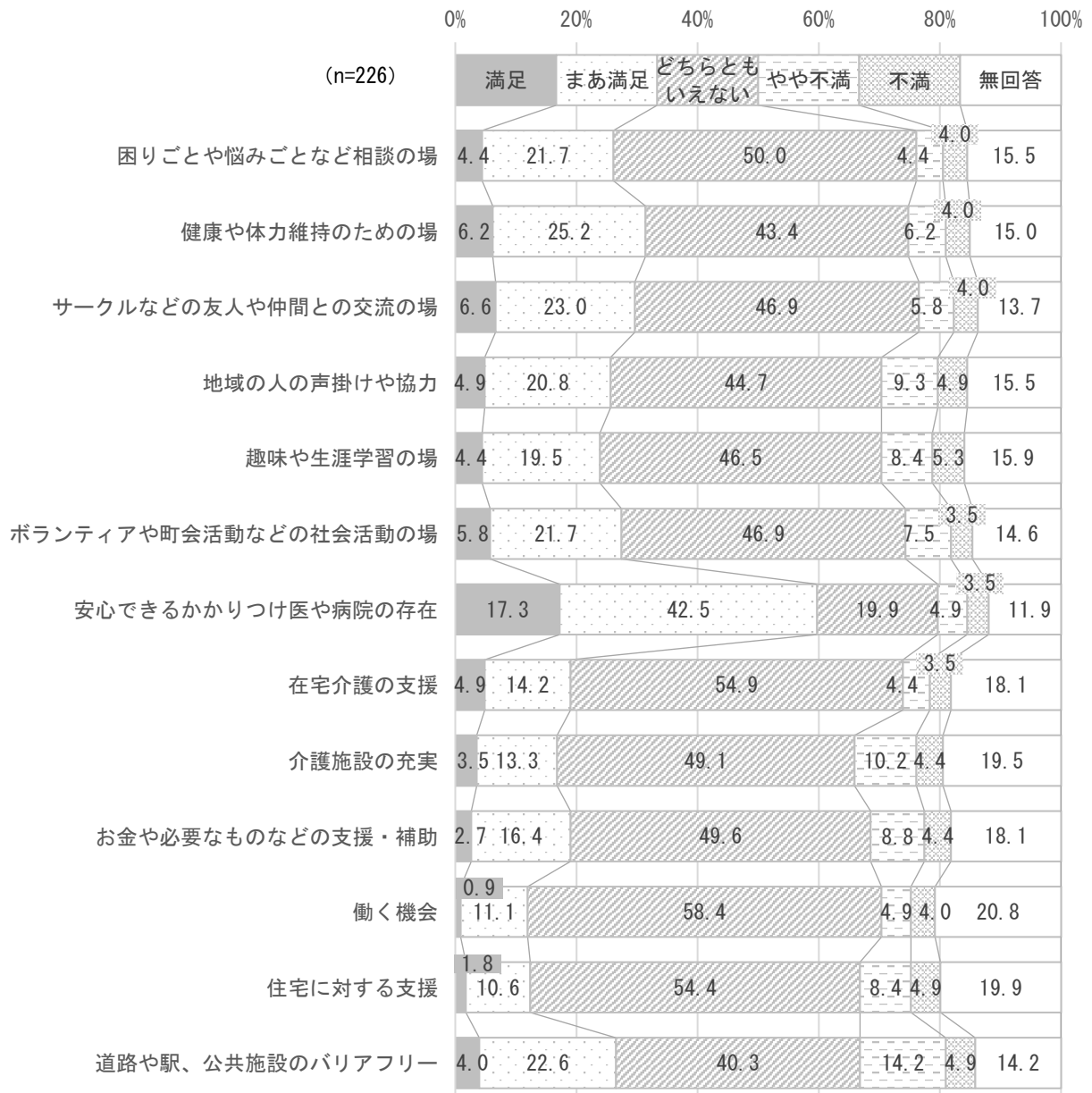
図表 45 高齢者に関することの満足度（全体）



【70 歳以上の満足度】

- ・「満足」及び「まあ満足」でみると、最も顕著なのは、「安心できるかかりつけ医や病院の存在」であり、合計が 59.8%と突出して高くなっています。回答の傾向は全体（図表 43 参照）と大きくは変わりませんが、「働く機会」や「趣味や生涯学習の場」などの「満足」及び「まあ満足」の合計は、全体の割合より低くなっています。

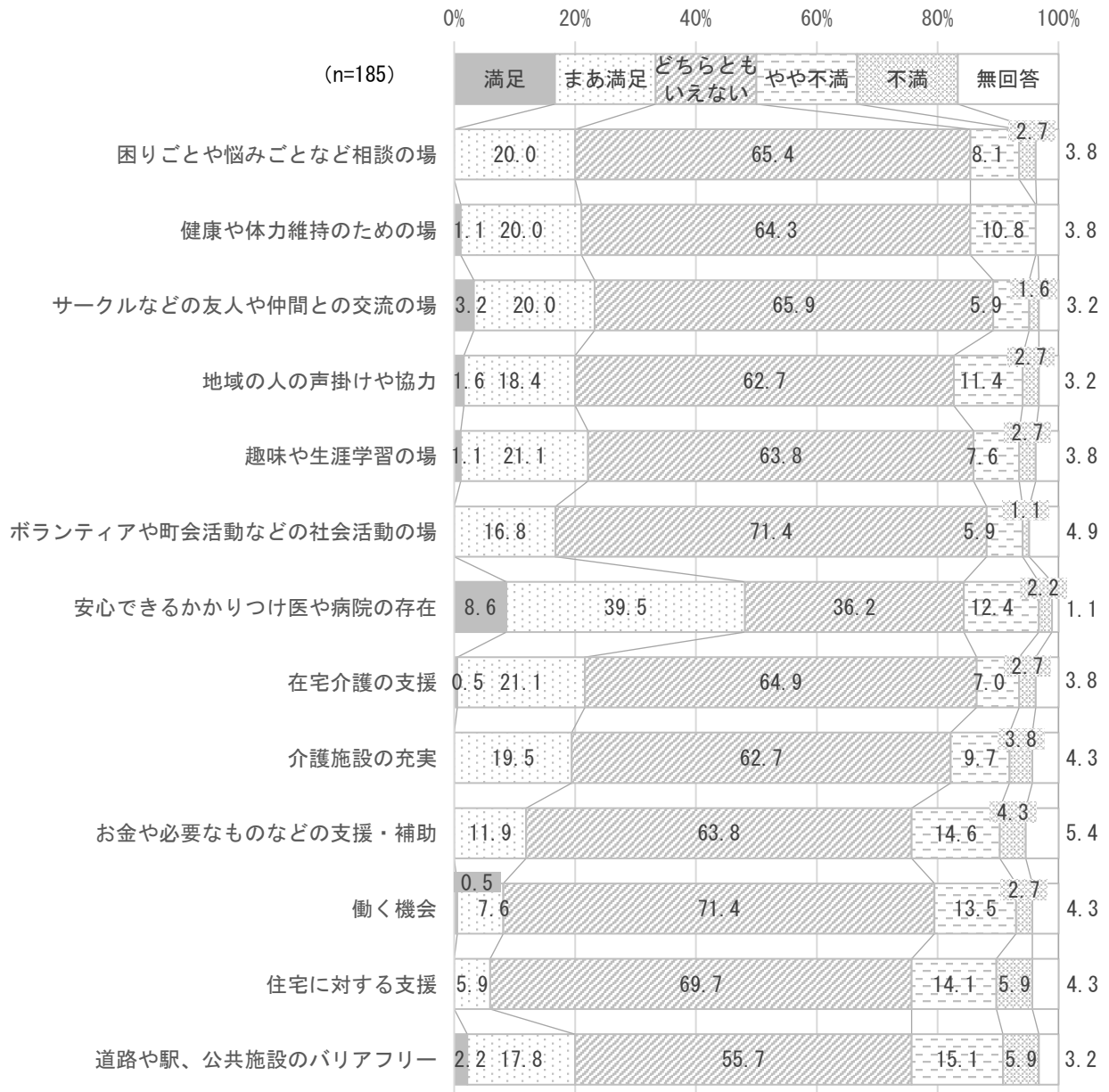
図表 46 高齢者に関することの満足度（70 歳以上の満足度）



【60～69 歳の満足度】

- ・「満足」及び「やや満足」でみると、全体（図表 45 参照）と 70 歳以上（図表 46 参照）の結果と同様に、「安心できるかかりつけ医や病院の存在」が突出して高くなっています。「在宅介護の支援」以外の項目はすべて、「満足」及び「やや満足」の合計が全体（図表 45 参照）より低く、特に「ボランティアや町会活動などの社会活動の場」、「健康や体力維持のための場」が低くなっています。

図表 47 高齢者に関することの満足度（60～69 歳）



5. 生活環境について

(1) 地域の生活環境

問 23 あなたは、住んでいる地域の生活環境について、どのように感じていますか。

(項目ごとに○は1つ)

《本設問の集計方法とグラフの見方》

- ・地域の生活環境について、保健・衛生・福祉、安全、利便、快適の4分野 31 項目とそれらの総合評価からなる計 32 項目にわたって、「非常に良い」から「非常に悪い」までの5段階で評価を求めました。
- ・評価の結果をわかりやすく示すために、「非常に良い・やや良い・普通・やや悪い・非常に悪い」の回答数に、それぞれ「+2・+1・0・-1・-2」点を与え、その合計を全回答数（「わからない」「無回答」を除く）で除して評価点としました。
- ・したがって本設問の場合、+2に近いほど肯定的な評価、-2に近いほど否定的な評価とみることができます。

【全体の回答傾向】

- ・32 項目のうちプラスの評価点となったものは23 項目あり、評価点が高い順に「日用品・食料品等の買い物の便利さ」、「ごみの回収」、「通勤・通学の便利さ」、「日当たりや風通しの良さ」となっています。
- ・一方、マイナスの評価点となったものは9 項目で、評価点の低い順に「川の水のきれいさ」、「騒音・振動（工場・車等）」、「周りの道路の安全性」、「災害（火災・地震・台風等）からの安全性」となっています。

①保健・衛生・福祉

- ・8 項目中、プラス評価・マイナス評価が4 項目ずつとなっています。「ごみの回収」は評価点が+0.81 と全体でも2 番目に高い評価となっています。一方、「騒音・振動（工場・車等）」や「ハチ・蚊（か）等の害虫対策」、「雨水など水のはけぐあい」など、環境衛生に関する項目の評価が低くなっています。

②安全

- ・10 項目中、6 項目がプラス評価となっています。「個人生活の秘密が守られること」、「豊かな心を育む青少年の育成」などはプラス評価となっている一方で、「周りの道路の安全性」、「災害（火災・地震・台風等）からの安全性」、「夜道の明るさ」など、地域の安全性（防災・防犯など）に関する評価が低くなっています。

③利便

- ・すべてプラス評価になっています。特に「日用品・食料品等の買い物の便利さ」が+0.82 と31 項目の中で最も高く、「通勤・通学の便利さ」も+0.64 と全体で3 番目に高い評価となっています。

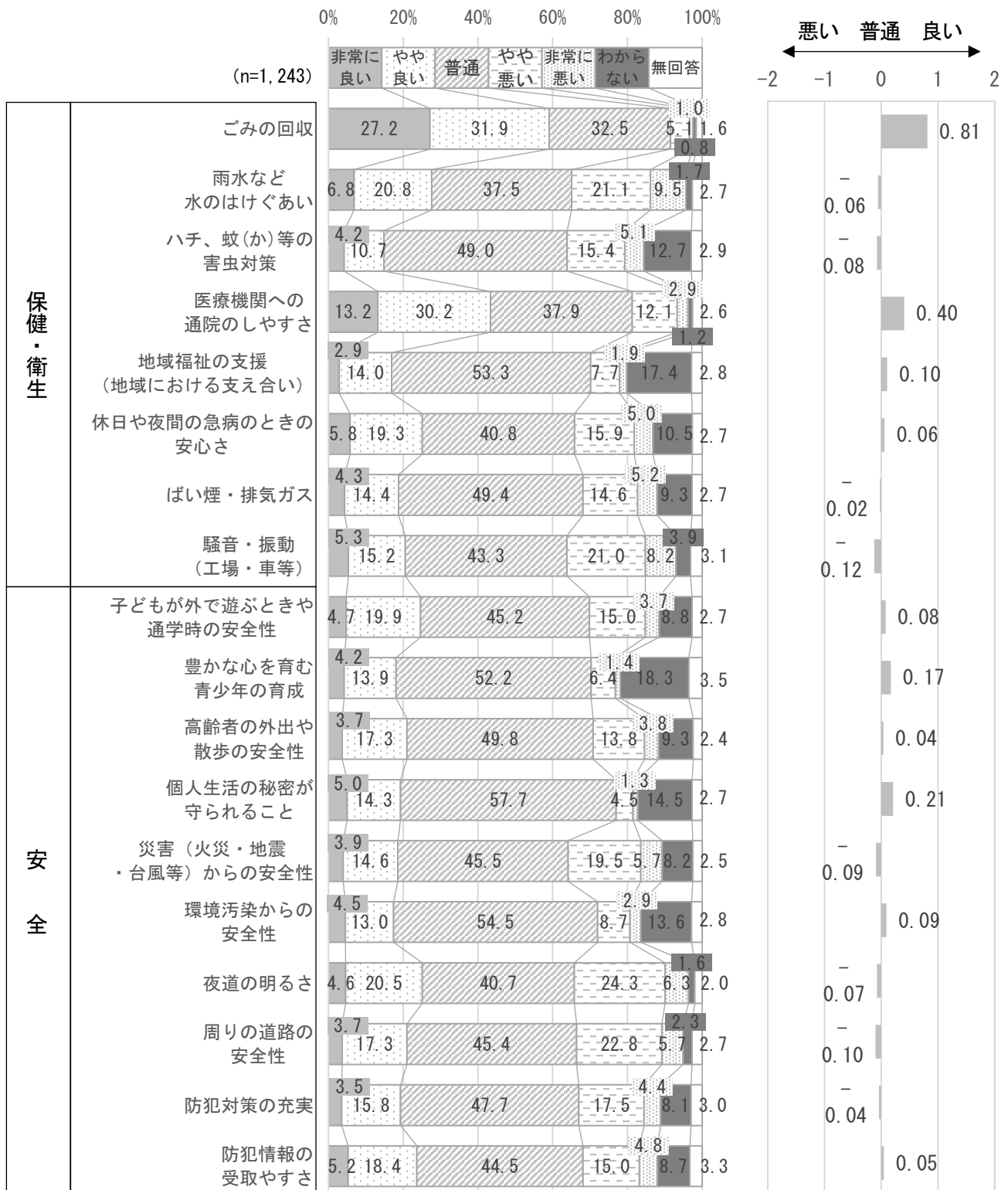
④快適

- ・「川の水のきれいさ」の-0.37 を除き、プラス評価となっています。「日当たりや風通しの良さ」は、+0.61 と全体でも4 番目に高い評価となっています。

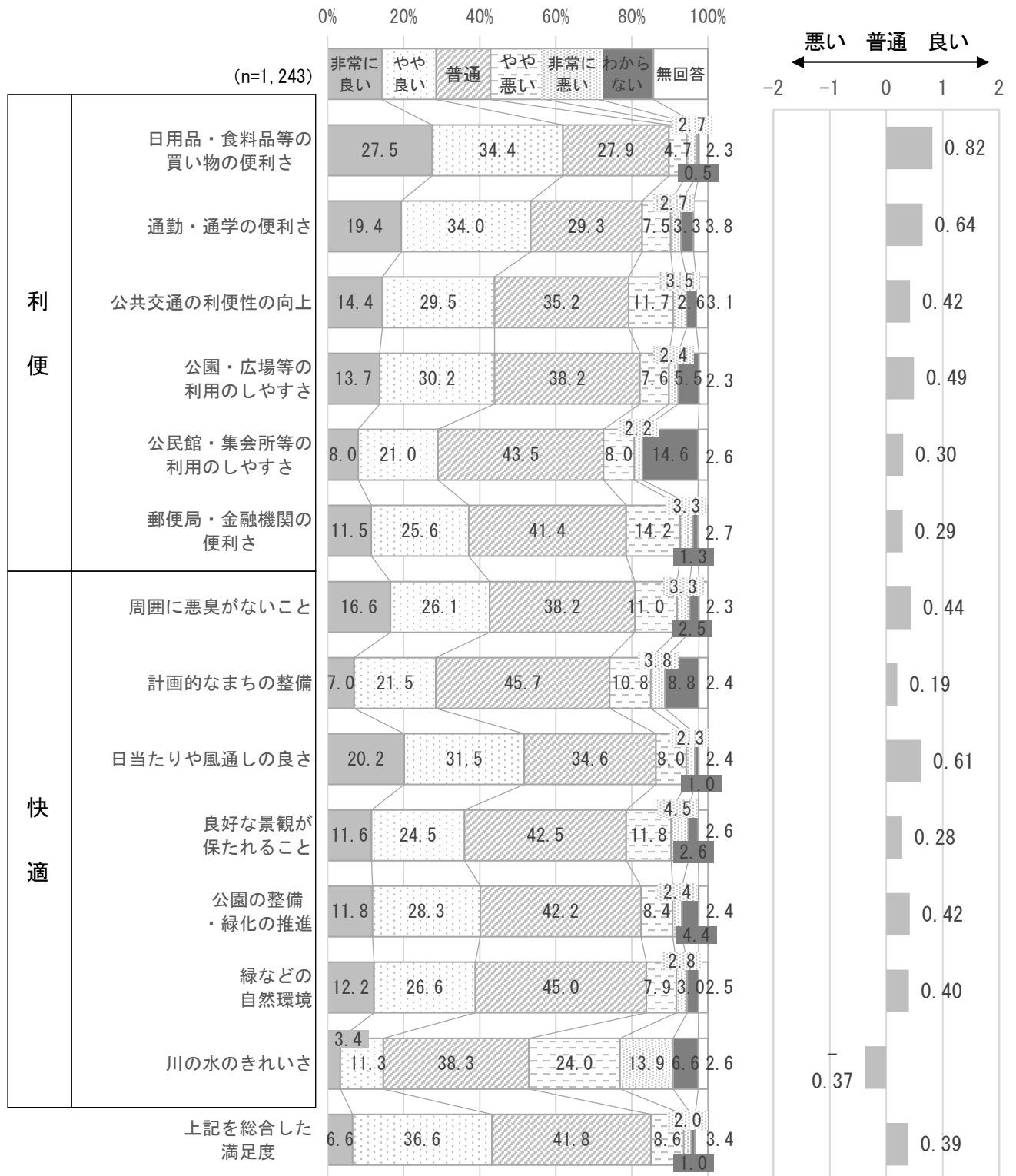
⑤総合

- ・①～④を総合した場合の評価点は+0.39 で、地域の生活環境については、全体的に良いと感じている評価となっています。

図表 48-1 地域の生活環境(全体・評価点)



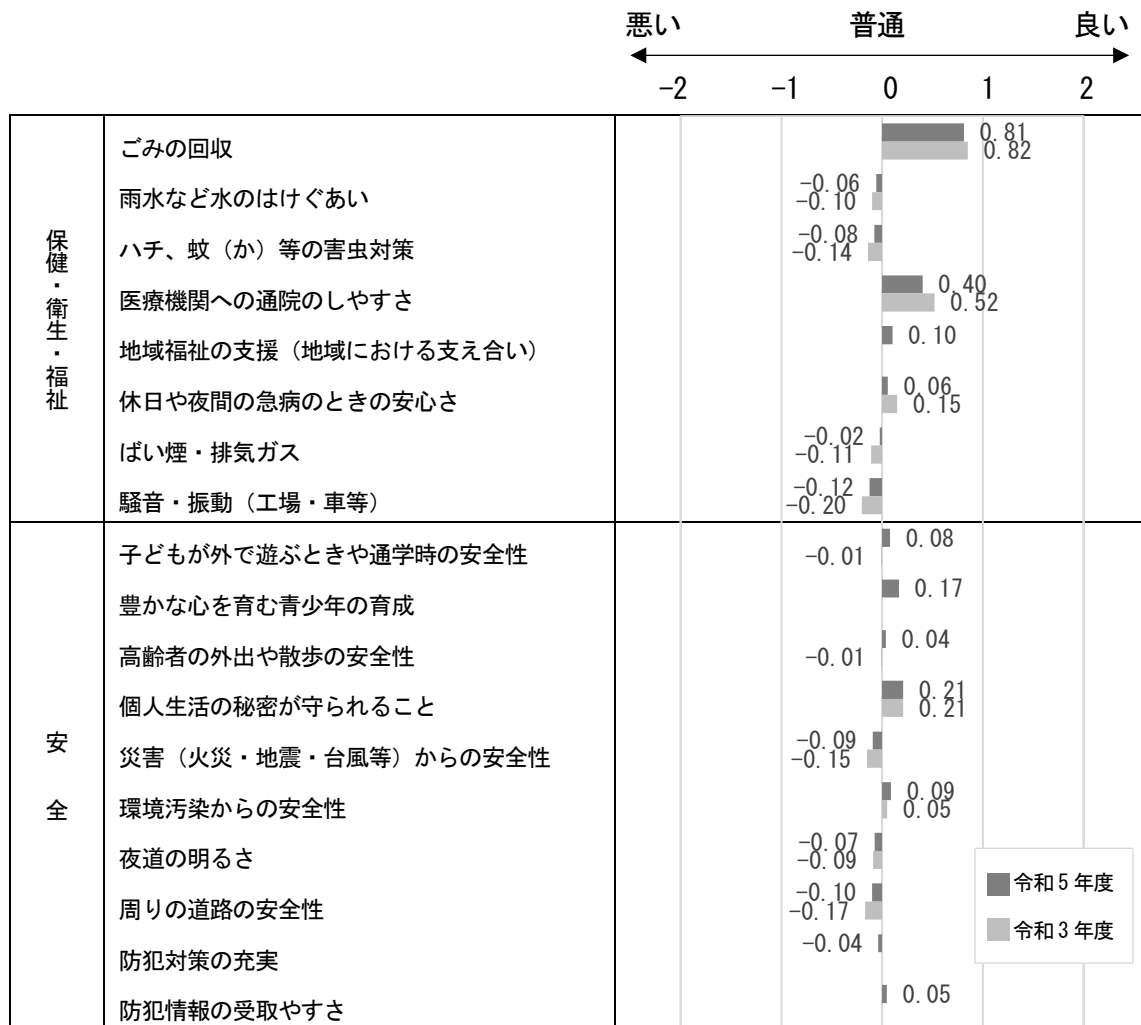
図表 48-2 地域の生活環境(全体・評価点)



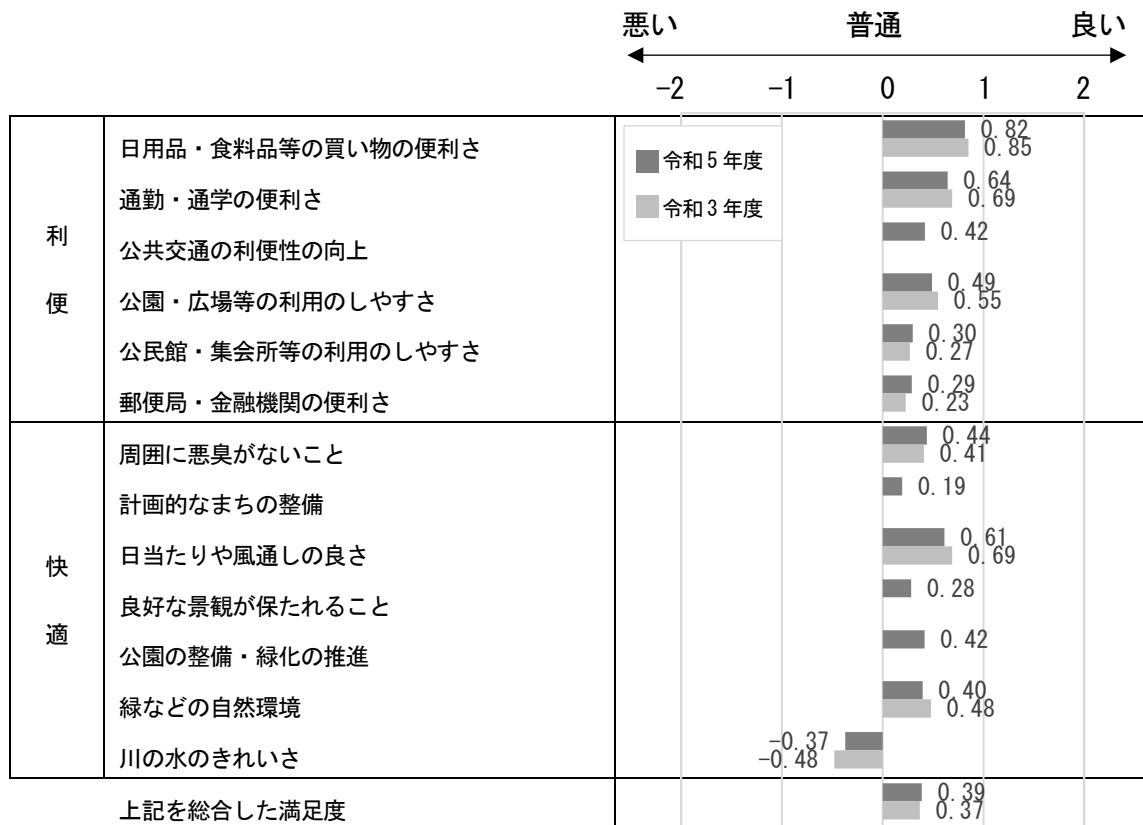
【令和3年度調査との比較】

- ・ 前回調査である令和3年度調査と比較すると、「総合評価」では、0.02 ポイントのプラスでした。
- ・ 前回と比較して、最も多くマイナスとなった項目は「医療機関への通院のしやすさ」で、0.12 ポイントのマイナスとなっています。また、「休日や夜間の急病のときの安心さ」は0.09 ポイントのマイナスとなっており、「医療・衛生・福祉」でのマイナスが多くなっています。
- ・ 一方、最も多くプラスとなった項目は「川の水のきれいさ」で、0.11 ポイントのプラスとなっています。
- ・ 令和5年度調査においてマイナス評価で、かつ前回比がマイナスとなった項目はありませんでした。
- ・ なお、令和5年度調査では、地域の生活環境に対する項目を8項目増やし、より多くの視点からご意見をいただくこととしました。
- ・ 令和5年度調査で追加した項目（地域福祉の支援、豊かな心を育む青少年の育成、防犯対策の充実、防犯情報の受取やすさ、公共交通の利便性の向上、計画的なまちの整備、良好な景観が保たれること、公園の整備・緑化の推進）

図表 49-1 地域の生活環境（令和3年度調査との比較）



図表 49-2 地域の生活環境（令和3年度調査との比較）（つづき）



【属性別の回答傾向】

①令和5年度の評価点及び前回比がマイナスとなった項目の傾向

- ・令和5年度の評価点及び前回比がマイナスとなった項目はありません。

②前回比はプラスとなったものの、評価点はマイナスとなった項目の傾向

- ・「雨水など水のはけぐあい」（評価点 -0.06 、前回比 $+0.04$ ）

令和5年度の評価点を属性別にみると、年齢別では50歳代（ -0.25 ）が最も低く、10歳代（ 0.43 ）、70歳以上（ 0.23 ）では、高い評価となっています。また、地区別では、「新曽地区」（ -0.28 ）、「上戸田1地区」（ -0.20 ）で評価が低く、「美女木地区」（ 0.17 ）では高い評価となっています。居住期間別では、「5年未満」（ 0.11 ）はプラスであるのに対し、他は全てマイナス評価となっています。

前回比でみると、年齢別では、60歳代で前回比 -0.45 と最も低く、地区別では「新曽地区」（ -0.36 ）で大きくマイナスとなっています。居住期間別は、5年未満（ 0.30 ）、5～10年未満（ 0.24 ）でプラスとなっています。

- ・「ハチ、蚊（か）等の害虫対策」（評価点 -0.08 、前回比 $+0.06$ ）

令和5年度の評価点を属性別にみると、年齢別では、50歳代（ -0.14 ）、60歳代（ -0.16 ）が低く、10歳代で（ 0.26 ）高い評価となっています。地区別では、「下戸田1地区」（ -0.18 ）、「上戸田1地区」（ -0.17 ）、「美女木地区」（ -0.13 ）で評価が低くなっています。居住期間別では、「5～10年未満」（ 0.01 ）がプラスとなっていますが、他は全てマイナスとなっています。

前回比でみると、20歳代で前回比 $+0.42$ と大きくプラスとなっています。居住地区別では、「上戸田2地区」（ 0.33 ）で大きくプラスとなっています。居住期間では、「5～10年未満」（ 0.21 ）が大きくプラスと

なっています。

- ・「ばい煙・排ガス」（評価点−0.02、前回比+0.09）

令和5年度の評価点を属性別にみると、年齢別では、10歳代（0.39）、20歳代（0.21）の評価が高くなっています。居住地区別では、美女木地区（−0.43）が大きくマイナスになっています。

前回比でみると、年齢別で10歳代（0.29）、20歳代（0.39）が高く、居住地区では「新曽地区」（0.34）、「笹目地区」（0.33）が高くなっています。居住期間では、「5〜10年未満」が大きくプラスとなっています。

- ・騒音・振動（工場・車等）（評価点−0.12、前回比+0.08）

令和5年度の評価点を属性別にみると、50歳代が−0.23と最も低くなっています。居住地区別では、「美女木地区」（−0.52）で最も低く、次いで下戸田2地区（−0.33）で低くなっています。

前回比で見ると、年齢別では、20歳代で前回比+0.37と大きくプラスとなっています。居住地区別では、「下戸田1地区」、「笹目地区」でいずれも前回比+0.34と最も高い一方、「美女木地区」では−0.44と、大きくマイナスとなっています。居住期間別では、5〜10年未満で前回比+0.24となっています。

- ・災害（火災・地震・台風等）（評価点−0.09、前回比+0.06）

令和5年度の評価点を属性別にみると、年齢別では、10歳代（0.30）で評価が高く、居住地区別では、「上戸田2地区」（−0.23）で評価が低くなっています。

前回比でみると、年齢別では、20歳代で前回比+0.37と大きくプラスとなっています。居住地区別では、「上戸田1地区」が+0.29のプラスとなっています。

- ・夜道の明るさ（評価点−0.07、前回比+0.02）

令和5年度の評価点を属性別にみると、年齢別では、60歳代が−0.27と最も低く、居住地区別では、全ての地区でマイナスとなっています。

前回比でみると、60歳代で前回比−0.40と大きくマイナスとなっています。居住地区別では、「美女木地区」で前回比−0.20と最も低くなっています。

- ・周りの道路の安全性（評価点−0.10、前回比+0.07）

令和5年度の評価点を属性別にみると、年齢別では、10歳代（0.33）、20歳代（0.21）で評価が高い一方、50歳代（−0.22）、60歳代（−0.18）で評価が低くなっています。居住地区別では、「上戸田1地区」以外は全てマイナス評価となっています。居住期間別では、全てマイナス評価となっていますが、「5〜10年未満」で−0.19と最も低くなっています。

前回比でみると、年齢別では20歳代で前回比+0.50と大きくプラスの一方、60歳代は−0.20となっています。居住地区別にみると「下戸田2地区」、「美女木地区」以外は全て前回比プラスとなっています。

- ・川の水のきれいさ（評価点−0.37、前回比+0.11）

令和5年度の評価点を属性別にみると、性別では男性（−0.35）、女性（−0.39）ともにマイナス評価となっています。年齢別にみると、全てでマイナス評価となっており、10歳代（−0.50）、20歳代（−0.41）、60歳代（−0.46）では特に低くなっています。居住地区別にみると、全地区でマイナス評価となっており、特に「下戸田1地区」（−0.50）、「下戸田2地区」（−0.40）、「上戸田2地区」（−0.49）、「笹目地区」（−0.42）で評価が低くなっています。

前回比でみると、年齢別では、20歳代が+0.25と最も高くなっています。居住地区別では「上戸田1地区」で+0.34と大きくプラスになっています。居住期間別では、「5〜10年未満」が+0.27となっています。

図表 50-1 地域の生活環境【評価点】（全体・性別・年齢別・居住地区別・居住期間別）

		保健・衛生・福祉								安全									
		ごみの回収	雨水など水のはけぐあい	ハチ、蚊（か）等の害虫対策	医療機関への通院のしやすさ	地域福祉の支援（地域における支え合い）	休日や夜間の急病のときの安心さ	ばい煙・排気ガス	騒音・振動（工場・車等）	子どもが外で遊ぶときや通学時の安全性	豊かな心を育む青少年の育成	高齢者の外出や散歩の安全性	個人生活の秘密が守られること	災害（火災・地震・台風等）からの安全性	環境汚染からの安全性	夜道の明るさ	周りの道路の安全性	防犯対策の充実	防犯情報の受取やすさ
	全体 (1, 243)	0.81	-0.06	-0.08	0.40	0.10	0.06	-0.02	-0.12	0.08	0.17	0.04	0.21	-0.09	0.09	-0.07	-0.10	-0.04	0.05
性別	男性 (547)	0.79	-0.01	-0.03	0.44	0.11	0.12	0.03	-0.10	0.08	0.16	0.05	0.23	-0.09	0.13	0.02	-0.09	0.00	0.06
	女性 (671)	0.83	-0.10	-0.11	0.38	0.10	0.02	-0.06	-0.15	0.09	0.18	0.03	0.20	-0.10	0.05	-0.14	-0.10	-0.07	0.04
	その他 (2)	1.00	1.00	0.00	0.50	-0.50	-0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
年齢別	18～19 歳 (21)	0.95	0.43	0.26	0.86	0.79	0.10	0.39	0.14	0.30	0.53	0.37	0.74	0.30	0.56	-0.05	0.33	0.40	0.47
	20～29 歳 (109)	0.88	0.13	0.03	0.57	0.28	0.12	0.21	0.02	0.30	0.48	0.42	0.50	0.11	0.32	0.08	0.21	0.23	0.32
	30～39 歳 (171)	0.87	-0.08	-0.10	0.53	0.24	0.13	-0.03	-0.16	0.10	0.18	0.17	0.27	-0.12	0.13	-0.05	-0.14	-0.01	0.07
	40～49 歳 (257)	0.83	-0.16	-0.03	0.42	0.13	0.16	-0.04	-0.15	0.08	0.18	0.09	0.27	-0.06	0.05	-0.02	-0.08	-0.01	0.24
	50～59 歳 (265)	0.72	-0.25	-0.14	0.32	-0.06	-0.06	-0.09	-0.23	-0.02	0.09	-0.10	0.08	-0.18	0.01	-0.14	-0.22	-0.14	-0.07
	60～69 歳 (185)	0.64	-0.11	-0.16	0.29	0.02	-0.08	-0.13	-0.19	-0.04	0.02	-0.11	0.07	-0.16	0.03	-0.27	-0.18	-0.18	-0.12
	70 歳以上 (226)	0.97	0.23	-0.06	0.34	0.07	0.10	0.03	0.03	0.14	0.16	-0.05	0.17	-0.08	0.10	0.03	-0.07	-0.03	-0.11
居住地区別	下戸田 1 地区 (131)	0.73	0.10	-0.18	0.38	0.14	0.03	0.12	0.08	0.12	0.15	0.04	0.14	-0.04	0.12	-0.04	-0.06	-0.05	-0.01
	下戸田 2 地区 (219)	0.85	0.02	-0.05	0.42	0.07	0.08	-0.16	-0.33	0.04	0.24	-0.05	0.22	-0.12	0.07	-0.03	-0.16	-0.09	0.04
	上戸田 1 地区 (138)	0.87	-0.20	-0.17	0.63	0.24	0.10	0.19	0.12	0.23	0.23	0.25	0.29	0.03	0.24	-0.08	0.02	0.07	0.23
	上戸田 2 地区 (190)	0.79	-0.07	0.04	0.64	0.11	0.13	0.09	0.02	0.01	0.11	-0.01	0.23	-0.23	0.07	-0.03	-0.09	0.06	0.04
	新曽地区 (279)	0.81	-0.28	-0.06	0.43	0.13	0.11	0.08	-0.07	0.16	0.22	0.14	0.22	-0.05	0.17	-0.09	-0.02	-0.01	0.10
	笹目地区 (176)	0.81	0.08	-0.08	0.15	-0.01	0.01	-0.13	-0.20	0.03	0.05	-0.05	0.19	-0.13	0.05	-0.13	-0.23	-0.19	-0.09
	美女木地区 (105)	0.85	0.17	-0.13	0.01	0.05	-0.17	-0.43	-0.52	-0.07	0.11	-0.08	0.14	-0.08	-0.26	-0.15	-0.18	-0.10	-0.02
居住期間別	5 年未満 (148)	0.71	0.11	-0.18	0.33	0.14	-0.07	-0.08	-0.14	0.09	0.27	0.16	0.30	-0.12	0.06	-0.06	-0.04	-0.07	0.09
	5～10 年未満 (139)	0.84	-0.04	0.01	0.43	0.16	0.15	0.04	-0.08	0.06	0.18	0.11	0.24	-0.15	0.09	-0.08	-0.19	-0.02	0.11
	10～20 年未満 (277)	0.93	-0.11	-0.05	0.52	0.18	0.14	0.01	-0.18	0.14	0.23	0.12	0.30	-0.01	0.08	-0.04	-0.08	0.04	0.18
	20 年以上 (670)	0.78	-0.09	-0.09	0.36	0.05	0.03	-0.03	-0.11	0.05	0.11	-0.03	0.14	-0.11	0.10	-0.09	-0.10	-0.07	-0.03

図表 50-2 地域の生活環境【評価点】(全体・性別・年齢別・居住地区別・居住期間別)(つづき)

		利便						快適							総合
		日用品・食料品等の買い物の便利さ	通勤・通学の便利さ	公共交通の利便性の向上	公園・広場等の利用のしやすさ	公民館・集会所等の利用のしやすさ	郵便局・金融機関の便利さ	周囲に悪臭がないこと	計画的なまちの整備	日当たりや風通しの良さ	良好な景観が保たれること	公園の整備・緑化の推進	緑などの自然環境	川の水のきれいさ	上記を総合した満足度
	全体(1,243)	0.82	0.64	0.42	0.49	0.30	0.29	0.44	0.19	0.61	0.28	0.42	0.40	-0.37	0.39
性別	男性(547)	0.78	0.58	0.37	0.44	0.23	0.26	0.49	0.17	0.56	0.27	0.38	0.37	-0.35	0.41
	女性(671)	0.85	0.70	0.46	0.53	0.35	0.31	0.40	0.22	0.67	0.31	0.45	0.43	-0.39	0.38
	その他(2)	1.00	0.50	0.50	0.50	0.50	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.50	0.00	0.50
年齢別	18～19 歳(21)	1.29	1.19	0.85	1.00	0.53	0.71	0.75	0.80	0.86	0.71	0.71	0.48	-0.50	0.86
	20～29 歳(109)	1.15	0.86	0.65	0.59	0.45	0.60	0.69	0.63	0.86	0.59	0.76	0.65	-0.41	0.61
	30～39 歳(171)	0.94	0.76	0.54	0.64	0.39	0.36	0.41	0.34	0.87	0.57	0.52	0.51	-0.28	0.54
	40～49 歳(257)	0.91	0.72	0.59	0.67	0.35	0.28	0.41	0.20	0.66	0.36	0.51	0.53	-0.38	0.53
	50～59 歳(265)	0.81	0.63	0.33	0.41	0.27	0.18	0.43	0.10	0.55	0.15	0.28	0.28	-0.36	0.31
	60～69 歳(185)	0.62	0.45	0.28	0.16	0.09	0.14	0.34	-0.04	0.35	0.04	0.18	0.17	-0.46	0.22
	70 歳以上(226)	0.57	0.45	0.18	0.39	0.27	0.32	0.45	0.10	0.51	0.11	0.37	0.34	-0.35	0.16
居住地区別	下戸田 1 地区(131)	0.88	0.66	0.52	0.49	0.30	0.52	0.41	0.20	0.52	0.22	0.38	0.31	-0.50	0.31
	下戸田 2 地区(219)	0.93	0.80	0.51	0.54	0.30	0.24	0.43	0.10	0.67	0.15	0.39	0.39	-0.40	0.44
	上戸田 1 地区(138)	1.08	0.91	0.63	0.71	0.53	0.49	0.71	0.29	0.71	0.43	0.60	0.60	-0.18	0.55
	上戸田 2 地区(190)	0.79	0.83	0.53	0.41	0.31	0.34	0.48	0.19	0.54	0.33	0.39	0.35	-0.49	0.42
	新曽地区(279)	1.01	0.75	0.54	0.48	0.34	0.25	0.49	0.34	0.71	0.38	0.39	0.37	-0.32	0.47
	笹目地区(176)	0.27	0.19	-0.04	0.43	0.12	0.07	0.33	0.09	0.44	0.19	0.39	0.38	-0.42	0.20
	美女木地区(105)	0.56	0.09	0.08	0.39	0.15	0.19	0.06	0.02	0.62	0.21	0.40	0.40	-0.22	0.24
居住期間別	5 年未満(148)	0.91	0.60	0.37	0.64	0.44	0.30	0.41	0.27	0.67	0.49	0.43	0.41	-0.33	0.44
	5～10 年未満(139)	0.83	0.70	0.57	0.64	0.42	0.24	0.42	0.33	0.87	0.50	0.58	0.54	-0.29	0.48
	10～20 年未満(277)	0.92	0.80	0.60	0.59	0.35	0.33	0.50	0.29	0.71	0.41	0.52	0.49	-0.40	0.59
	20 年以上(670)	0.75	0.58	0.32	0.39	0.22	0.28	0.43	0.10	0.52	0.13	0.33	0.32	-0.40	0.28

図表 51-1 地域の生活環境【前回比】（令和5年度調査の値と令和3年度調査の値の差）

		保健・衛生・福祉								安全									
		ごみの回収	雨水など水のはけぐあい	ハチ、蚊（か）等の害虫対策	医療機関への通院のしやすさ	地域福祉の支援（地域における支え合い）	休日や夜間の急病のときの安心さ	ばい煙・排気ガス	騒音・振動（工場・車等）	子どもが外で遊ぶときや通学時の安全性	豊かな心を育む青少年の育成	高齢者の外出や散歩の安全性	個人生活の秘密が守られること	災害（火災・地震・台風等）からの安全性	環境汚染からの安全性	夜道の明るさ	周りの道路の安全性	防犯対策の充実	防犯情報の受取やすさ
	全体 (1,243)	-0.01	0.04	0.06	-0.12	0.10	-0.09	0.09	0.08	0.09	0.17	0.05	0.00	0.06	0.04	0.02	0.07	-0.04	0.05
性別	男性 (547)	-0.06	0.08	0.08	-0.07	0.11	-0.04	0.10	0.03	0.09	0.16	0.06	0.02	0.04	0.09	0.09	0.09	0.00	0.06
	女性 (671)	0.04	0.00	0.06	-0.16	0.10	-0.11	0.09	0.11	0.10	0.18	0.03	-0.01	0.08	0.00	-0.03	0.06	-0.07	0.04
	その他 (2)	0.61	1.17	0.05	-0.27	-0.50	-0.64	0.13	0.52	-0.17	0.00	-0.09	-0.17	0.18	0.18	0.26	0.22	0.00	0.00
年齢別	18～19 歳 (21)	-0.01	0.24	0.26	0.00	0.79	-0.25	0.29	0.24	0.07	0.53	0.13	0.15	0.16	0.23	-0.23	0.17	0.40	0.47
	20～29 歳 (109)	0.11	0.37	0.42	0.06	0.28	-0.08	0.39	0.37	0.45	0.48	0.39	0.31	0.37	0.29	0.20	0.50	0.23	0.32
	30～39 歳 (171)	0.13	0.22	0.09	0.01	0.24	-0.06	0.21	0.11	0.16	0.18	0.24	0.09	0.08	0.10	0.15	0.15	-0.01	0.07
	40～49 歳 (257)	0.09	0.03	0.11	0.03	0.13	0.19	0.12	0.10	0.17	0.18	0.24	0.18	0.20	0.09	0.18	0.18	-0.01	0.24
	50～59 歳 (265)	-0.11	-0.02	-0.05	-0.14	-0.06	-0.11	-0.04	-0.12	-0.05	0.09	-0.06	-0.04	0.07	0.00	0.05	-0.04	-0.14	-0.07
	60～69 歳 (185)	-0.34	-0.45	-0.21	-0.23	0.02	-0.32	-0.14	-0.18	-0.14	0.02	-0.20	-0.14	-0.18	-0.06	-0.40	-0.20	-0.18	-0.12
	70 歳以上 (226)	0.07	-0.13	-0.04	-0.22	0.07	-0.09	-0.03	-0.10	0.04	0.16	-0.15	-0.05	-0.09	-0.09	-0.14	-0.07	-0.03	-0.11
居住地区別	下戸田 1 地区 (131)	-0.21	0.12	-0.15	-0.17	0.14	-0.14	0.25	0.34	0.20	0.15	0.10	-0.03	0.16	0.09	0.03	0.16	-0.05	-0.01
	下戸田 2 地区 (219)	0.00	0.23	0.10	-0.31	0.07	-0.29	-0.13	-0.23	-0.14	0.24	-0.15	-0.07	-0.05	-0.06	0.12	-0.15	-0.09	0.04
	上戸田 1 地区 (138)	0.04	-0.03	-0.01	-0.12	0.24	-0.14	0.25	0.23	0.19	0.23	0.28	0.11	0.29	0.23	-0.01	0.12	0.07	0.23
	上戸田 2 地区 (190)	0.09	0.39	0.33	0.13	0.11	0.01	0.14	0.21	0.01	0.11	-0.03	-0.04	-0.05	-0.02	0.10	0.16	0.06	0.04
	新曽地区 (279)	0.08	-0.36	0.10	0.17	0.13	0.14	0.34	0.31	0.33	0.22	0.25	0.12	0.19	0.24	0.10	0.23	-0.01	0.10
	笹目地区 (176)	-0.04	-0.06	-0.06	0.07	-0.01	0.10	0.33	0.34	0.17	0.05	0.02	0.02	-0.14	0.15	0.14	0.03	-0.19	-0.09
	美女木地区 (105)	0.02	0.02	-0.07	-0.62	0.05	-0.37	-0.58	-0.44	-0.30	0.11	-0.35	-0.32	-0.06	-0.58	-0.20	-0.13	-0.10	-0.02
居住期間別	5 年未満 (148)	-0.14	0.30	0.02	-0.27	0.14	-0.33	0.09	0.18	0.22	0.27	0.09	0.01	0.01	-0.02	0.03	0.16	-0.07	0.09
	5～10 年未満 (139)	0.09	0.24	0.21	-0.10	0.16	-0.04	0.24	0.24	0.17	0.18	0.21	0.07	0.08	0.12	0.13	0.06	-0.02	0.11
	10～20 年未満 (277)	0.09	-0.10	0.05	0.04	0.18	0.03	0.09	-0.05	0.10	0.23	0.13	0.12	0.12	0.03	0.02	0.06	0.04	0.18
	20 年以上 (670)	0.78	-0.09	-0.09	0.36	0.05	0.03	-0.03	-0.11	0.05	0.11	-0.03	0.14	-0.11	0.10	-0.09	-0.10	-0.07	-0.03

図表 51-2 地域の生活環境【前回比】（令和5年度調査の値と令和3年度調査の値の差）
（つづき）

		利便						快適							総合
		日用品・食料品等の買い物の利便さ	通勤・通学の利便さ	公共交通の利便性の向上	公園・広場等の利用のしやすさ	公民館・集会所等の利用のしやすさ	郵便局・金融機関の利便さ	周囲に悪臭がないこと	計画的なまちの整備	日当たりや風通しの良さ	良好な景観が保たれること	公園の整備・緑化の推進	緑などの自然環境	川の水のきれいさ	上記を総合した満足度
	全体(1,243)	-0.03	-0.05	0.42	-0.06	0.03	0.06	0.03	0.19	-0.08	0.28	0.42	-0.08	0.11	0.02
性別	男性(547)	-0.05	-0.10	0.37	-0.10	-0.02	0.08	0.07	0.17	-0.10	0.27	0.38	-0.09	0.12	0.03
	女性(671)	-0.02	0.01	0.46	-0.04	0.07	0.04	0.00	0.22	-0.04	0.31	0.45	-0.06	0.10	0.01
	その他(2)	-0.17	-0.28	0.50	-0.07	0.37	-0.30	0.15	0.00	-0.48	0.00	0.00	-0.89	0.83	0.00
年齢別	18～19 歳(21)	0.15	0.14	0.85	0.23	0.10	0.11	0.15	0.80	-0.01	0.71	0.71	-0.13	-0.05	0.20
	20～29 歳(109)	0.22	0.20	0.65	-0.09	0.14	0.43	0.31	0.63	0.10	0.59	0.76	0.02	0.25	0.19
	30～39 歳(171)	0.02	-0.02	0.54	0.00	0.03	0.17	0.06	0.34	0.19	0.57	0.52	0.06	0.07	0.14
	40～49 歳(257)	0.02	0.05	0.59	0.13	0.14	0.22	0.00	0.20	-0.03	0.36	0.51	0.08	0.16	0.23
	50～59 歳(265)	0.12	0.13	0.33	0.09	0.17	0.08	0.21	0.10	0.01	0.15	0.28	-0.05	0.09	0.07
	60～69 歳(185)	0.06	-0.05	0.28	-0.24	-0.16	-0.27	-0.20	-0.04	-0.32	0.04	0.18	-0.28	-0.07	-0.09
	70 歳以上(226)	-0.49	-0.28	0.18	-0.16	-0.04	-0.12	-0.12	0.10	-0.16	0.11	0.37	-0.08	0.05	-0.20
居住地区別	下戸田1地区(131)	-0.02	-0.05	0.52	-0.09	0.02	0.24	-0.02	0.20	-0.20	0.22	0.38	-0.19	-0.01	-0.11
	下戸田2地区(219)	-0.13	0.01	0.51	-0.09	-0.10	-0.12	-0.14	0.10	-0.01	0.15	0.39	-0.11	-0.11	-0.02
	上戸田1地区(138)	0.07	-0.11	0.63	0.07	0.15	0.11	0.22	0.29	-0.02	0.43	0.60	0.07	0.34	0.04
	上戸田2地区(190)	-0.10	0.08	0.53	-0.14	0.06	0.17	0.13	0.19	-0.19	0.33	0.39	-0.06	0.08	0.06
	新曽地区(279)	0.74	0.56	0.54	0.06	0.29	0.31	0.18	0.34	0.22	0.38	0.39	-0.18	0.18	0.31
	笹目地区(176)	-0.40	-0.13	-0.04	-0.06	-0.07	0.01	0.24	0.09	-0.36	0.19	0.39	-0.14	-0.02	-0.09
	美女木地区(105)	-0.51	-0.69	0.08	-0.45	-0.23	-0.18	-0.50	0.02	-0.02	0.21	0.40	-0.36	0.10	-0.40
居住期間別	5 年未満(148)	-0.05	-0.17	0.37	-0.05	0.08	0.14	0.02	0.27	-0.15	0.49	0.43	-0.22	0.17	-0.05
	5～10 年未満(139)	-0.08	-0.01	0.57	0.04	0.13	0.12	0.08	0.33	0.16	0.50	0.58	0.09	0.27	0.09
	10～20 年未満(277)	0.14	0.16	0.60	0.12	0.12	0.03	0.07	0.29	0.06	0.41	0.52	0.06	0.05	0.28
	20 年以上(670)	0.75	0.58	0.32	0.39	0.22	0.28	0.43	0.10	0.52	0.13	0.33	0.32	-0.40	0.28

(2) 公共施設の利用状況

問 24 あなたは、以下の施設を利用していますか。利用していない場合は、理由を教えてください。
(施設ごとに○は1つ)

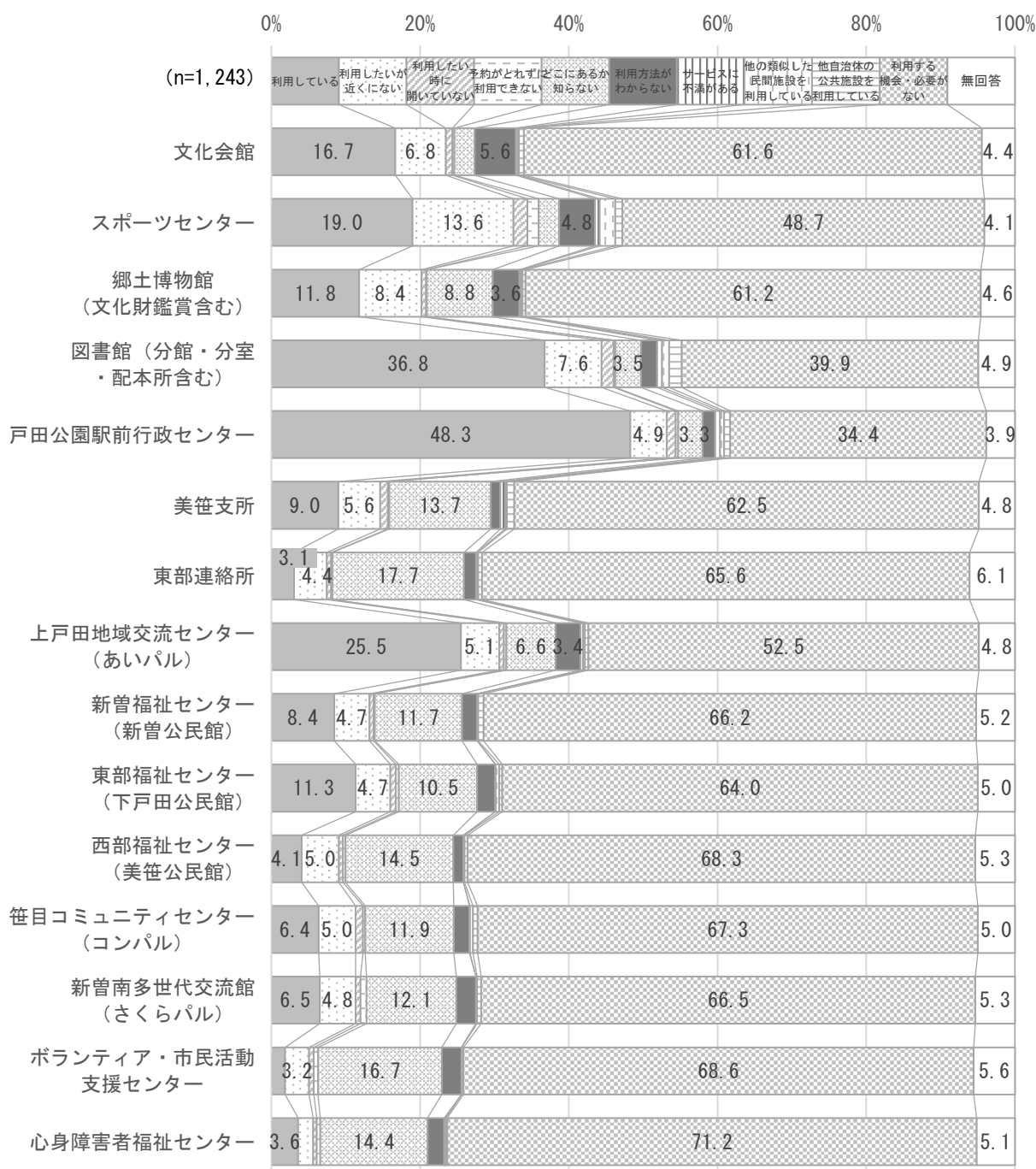
【全体の回答傾向】

- ・「利用している」の割合が高い施設は、「戸田公園駅前行政センター」(48.3%)、「図書館(分館・分室・配本所含む)」(36.8%)、「彩湖・道満グリーンパーク(スポーツ施設を除く)」(34.8%)となっています。
- ・一方、「利用している」の割合が低い施設は、順に「芦原小学校生涯学習施設」(1.0%)、「教育センター」(1.7%)、「ボランティア・市民活動支援センター」(1.9%)、「サッカー場」(2.2%)、「テニスコート」(2.7%)となっています。

【令和3年度調査との比較】

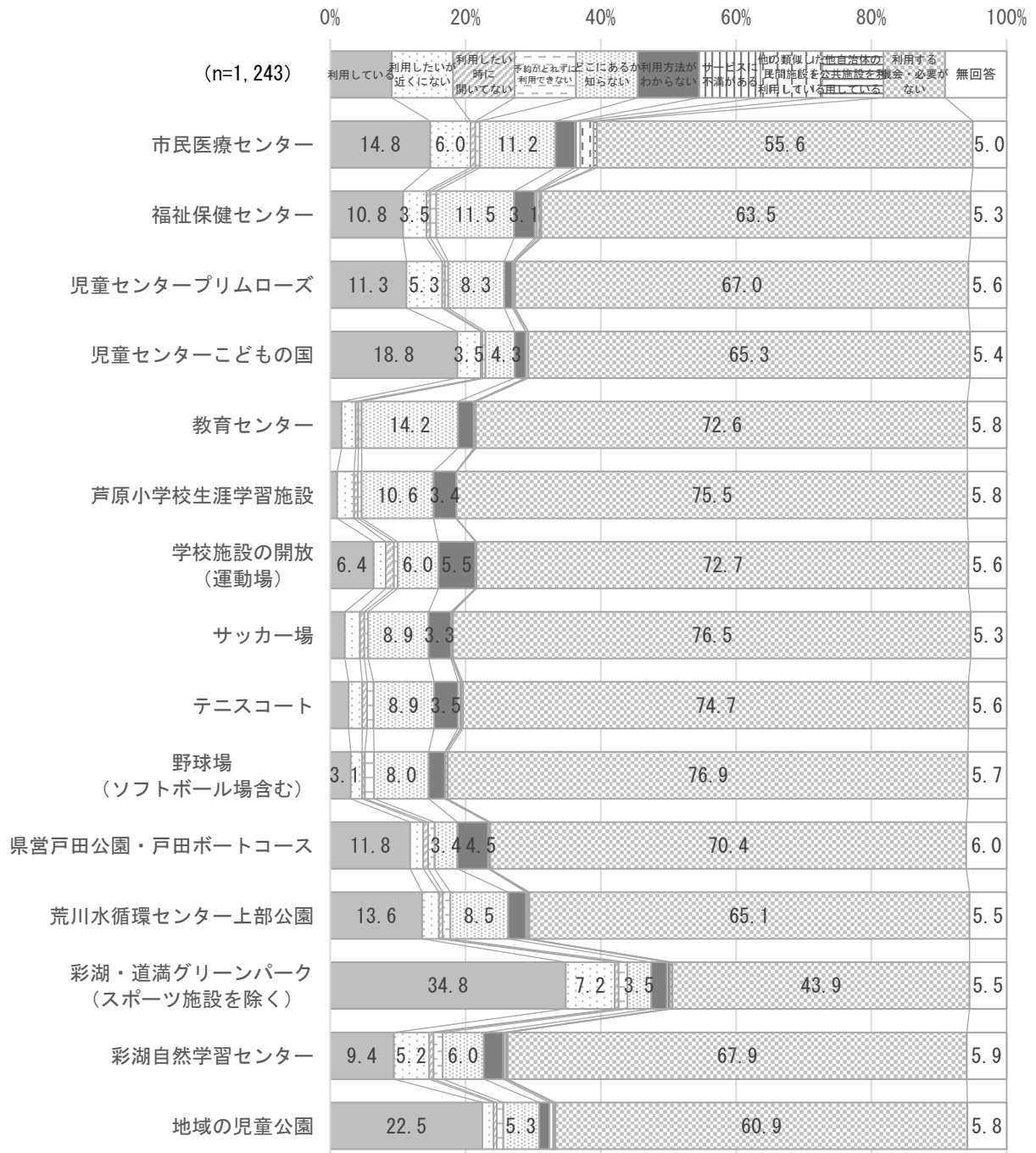
- ・令和3年度調査(前回調査)と比較すると、「利用している」は全体的に減少している傾向にあり、「彩湖・道満グリーンパーク(スポーツ施設を除く)」(前回比-5.7)、「地域の児童公園」(前回比-5.2)での減少が大きくなっています。
- ・一方、「利用していない」が前回より減少したのは、「教育センター」(前回比-0.6)のみとなっています。「利用していない」が前回より増加した施設のうち、「地域の児童公園」(前回比+3.3)、「スポーツセンター」、「野球場(ソフトボール場含む)」(前回比+3.0)での増加が大きくなっています。

図表 52-1 公共施設の利用状況（全体）



（注）3%未満は非表示

図表 52-2 公共施設の利用状況（全体）（つづき）



（注）3%未満は非表示

図表 53-1 公共施設の利用状況（令和3年度調査との比較）

施設名	利用している			利用していない			利用する機会 ・必要がない			無回答		
	R5	R3	差	R5	R3	差	R5	R3	差	R5	R3	差
文化会館	16.7	15.9	0.8	17.3	14.6	2.7	61.6	65.8	-4.2	4.4	3.6	0.8
スポーツセンター	19.0	21.2	-2.2	28.2	25.2	3.0	48.7	50.2	-1.5	4.1	3.5	0.6
郷土博物館(文化財鑑賞含む)	11.8	11.6	0.2	22.4	20.6	1.8	61.2	63.6	-2.4	4.6	4.1	0.5
図書館(分館・分室・配本所含む)	36.8	37.1	-0.3	18.4	17.8	0.6	39.9	41.4	-1.5	4.9	3.7	1.2
戸田公園駅前行政センター	48.3	50.7	-2.4	13.4	11.7	1.7	34.4	33.8	0.6	3.9	3.7	0.2
美笹支所	9.0	8.2	0.8	23.7	20.9	2.8	62.5	66.7	-4.2	4.8	4.2	0.6
東部連絡所	3.1	3.6	-0.5	25.3	22.7	2.6	65.6	69.5	-3.9	6.1	4.3	1.8
上戸田地域交流センター (あいパル)	25.5	25.7	-0.2	17.1	16.2	0.9	52.5	54.2	-1.7	4.8	3.9	0.9
新曽福祉センター (新曽公民館)	8.4	8.1	0.3	20.1	19.5	0.6	66.2	68.0	-1.8	5.2	4.3	0.9
東部福祉センター (下戸田公民館)	11.3	12.1	-0.8	19.7	16.9	2.8	64.0	66.8	-2.8	5.0	4.2	0.8
西部福祉センター (美笹公民館)	4.1	3.0	1.1	22.3	21.0	1.3	68.3	71.6	-3.3	5.3	4.4	0.9
笹目コミュニティセンター (コンパル)	6.4	7.8	-1.4	21.4	19.3	2.1	67.3	68.9	-1.6	5.0	4.1	0.9
新曽南多世代交流館 (さくらパル)	6.5	7.2	-0.7	21.7	20.0	1.7	66.5	68.9	-2.4	5.3	4.0	1.3
ボランティア・市民活動支援 センター	1.9	1.9	-1.9	24.0	23.1	0.9	68.6	70.9	-2.3	5.6	4.1	1.5

(注) 表中の「利用していない」は「利用したいが近くにない」、「利用したい時に開いていない」、「予約がとれず利用できない」、「どこにあるか知らない」、「利用方法がわからない」、「サービスに不満がある」、「他の類似した民間施設を利用している」及び「他自治体の公共施設を利用している」の合計

図表 53-2 公共施設の利用状況（令和3年度調査との比較）（つづき）

施設名	利用している			利用していない			利用する機会 ・必要がない			無回答		
	R5	R3	差	R5	R3	差	R5	R3	差	R5	R3	差
心身障害者福祉センター	3.6	3.5	0.1	20.0	19.5	0.5	71.2	72.9	-1.7	5.1	4.1	1.0
市民医療センター	14.8	15.2	-0.4	24.6	23.2	1.4	55.6	57.6	-2.0	5.0	3.9	1.1
福祉保健センター	10.8	10.9	-0.1	20.4	19.5	0.9	63.5	65.3	-1.8	5.3	4.3	1.0
児童センタープリムローズ	11.3	13.0	-1.7	16.1	15.8	0.3	67.0	67.3	-0.3	5.6	4.0	1.6
児童センターこどもの国	18.8	20.8	-2.0	10.5	9.7	0.8	65.3	65.4	-0.1	5.4	4.1	1.3
教育センター	1.7	3.3	-1.6	19.9	20.5	-0.6	72.6	72.3	0.3	5.8	3.9	1.9
芦原小学校生涯学習施設	1.0	1.7	-0.7	17.6	16.2	1.4	75.5	78.4	-2.9	5.8	3.7	2.1
学校施設の開放 (運動場)	6.4	8.8	-2.4	15.2	13.8	1.4	72.7	73.5	-0.8	5.6	3.9	1.7
サッカー場	2.2	3.0	-0.8	16.0	13.6	2.4	76.5	80.0	-3.5	5.3	3.6	1.7
テニスコート	2.7	3.5	-0.8	16.9	14.4	2.5	74.7	78.4	-3.7	5.6	3.7	1.9
野球場 (ソフトボール場含む)	3.1	2.5	0.6	14.3	11.3	3.0	76.9	82.4	-5.5	5.7	3.7	2.0
県営戸田公園・戸田ボートコース	11.8	14.3	-2.5	11.8	9.5	2.3	70.4	72.5	-2.1	6.0	3.7	2.3
荒川水循環センター上部公園	13.6	13.8	-0.2	15.8	14.4	1.4	65.1	68.1	-3.0	5.5	3.8	1.7
彩湖・道満グリーンパーク (スポーツ施設を除く)	34.8	40.5	-5.7	15.8	13.2	2.6	43.9	43.2	0.7	5.5	3.1	2.4
彩湖自然学習センター	9.4	9.6	-0.2	16.8	15.0	1.8	67.9	71.7	-3.8	5.9	3.5	2.4
地域の児童公園	22.5	27.7	-5.2	10.8	7.5	3.3	60.9	61.3	-0.4	5.8	3.5	2.3

【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、女性は男性と比べて「図書館（分館・分室・配本所含む）」や「戸田公園駅前行政センター」、「上戸田地域交流センター（あいパル）」、「児童センター こどもの国」などの利用割合が高くなっています。
- ・年齢別では、20 歳代から 60 歳代で「戸田公園駅前行政センター」の利用割合が高く、特に 30 歳代から 60 歳代では 50%を超えています。
- ・居住地区別にみると、「戸田公園駅前行政センター」の利用割合が最も高いのは「上戸田 2 地区」の 80.5%であり、次いで「下戸田 2 地区」が 64.8%と、他地区に比べて利用割合が高くなっています。

図表 54-1 公共施設の利用状況「利用している」の割合（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		文化会館	スポーツセンター	郷土博物館（文化財鑑賞含む）	図書館（分館・分室・配本所含む）	戸田公園駅前行政センター	美笹支所	東部連絡所	上戸田地域交流センター（あいパル）	新曽福祉センター（新曽公民館）	東部福祉センター（下戸田公民館）	西部福祉センター（美笹公民館）	笹目コミュニティセンター（コンパル）	新曽南多世代交流館（さくらパル）	ボランティア・市民活動支援センター	心身障害者福祉センター
	全体 (1, 243)	16.7	19.0	11.8	36.8	48.3	9.0	3.1	25.5	8.4	11.3	4.1	6.4	6.5	1.9	3.6
性別	男性 (547)	14.8	18.6	12.1	32.9	44.6	9.0	2.7	19.9	7.3	8.2	3.7	5.9	4.9	2.0	2.7
	女性 (671)	18.6	19.5	11.9	40.4	51.9	9.2	3.3	30.3	9.2	13.9	4.5	6.9	7.7	1.8	4.3
	その他 (2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19 歳 (21)	9.5	9.5	0.0	23.8	28.6	4.8	0.0	23.8	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0
	20～29 歳 (109)	8.3	8.3	6.4	33.0	43.1	6.4	1.8	17.4	2.8	3.7	0.0	0.9	4.6	0.0	1.8
	30～39 歳 (171)	11.1	11.1	11.7	43.9	53.2	10.5	1.8	31.6	4.7	9.4	4.1	7.0	5.3	3.5	1.2
	40～49 歳 (257)	21.4	21.4	17.5	52.5	52.9	7.4	3.1	35.4	9.7	14.0	3.9	8.6	11.3	0.4	4.7
	50～59 歳 (265)	17.4	17.4	12.8	37.0	53.2	9.8	1.9	23.0	10.2	10.6	3.8	4.5	7.5	1.9	4.9
	60～69 歳 (185)	15.1	15.1	8.1	28.6	55.7	7.6	2.7	19.5	10.3	8.6	3.2	5.4	4.9	2.7	2.7
	70 歳以上 (226)	20.8	20.8	10.2	23.0	31.9	11.9	6.6	21.7	9.7	18.1	7.5	9.7	3.1	2.7	4.9
居住地区別	下戸田 1 地区 (131)	11.5	13.0	9.2	28.2	36.6	1.5	7.6	27.5	3.8	23.7	2.3	0.0	3.8	1.5	3.1
	下戸田 2 地区 (219)	18.7	11.9	8.2	37.9	64.8	0.0	10.5	38.4	5.0	34.7	0.0	0.9	4.6	2.3	7.3
	上戸田 1 地区 (138)	23.9	23.2	12.3	44.2	39.9	0.7	0.7	42.8	5.8	2.2	0.0	2.9	6.5	2.9	2.9
	上戸田 2 地区 (190)	13.2	12.6	7.9	36.8	80.5	1.1	0.0	28.9	3.2	4.2	0.0	3.7	7.9	1.6	2.6
	新曽地区 (279)	19.5	27.9	18.8	43.8	48.5	2.6	0.7	19.1	19.9	4.0	1.5	4.0	12.9	1.1	3.3
	笹目地区 (176)	14.8	21.0	14.2	32.4	26.7	29.5	0.0	10.8	8.5	2.8	13.1	25.6	2.8	2.3	2.3
	美女木地区 (105)	11.4	22.9	8.6	27.6	20.0	45.7	1.0	9.5	5.7	3.8	20.0	9.5	1.9	1.9	2.9

図表 54-2 公共施設の利用状況（全体・性別・年齢別・居住地区別）（つづき）

		市民医療センター	福祉保健センター	児童センター プリムローズ	児童センター こどもの国	教育センター	芦原小学校生涯学習施設	学校施設の開放（運動場）	サッカー場	テニスコート	野球場（ソフトボール場含む）	戸宮戸田公園・戸田ボートコース	荒川水循環センター上部公園	彩湖・道満グリーンパーク（スポーツ施設を除く）	彩湖自然学習センター	地域の児童公園
	全体(1,243)	14.8	10.8	11.3	18.8	1.7	1.0	6.4	2.2	2.7	3.1	11.8	13.6	34.8	9.4	22.5
性別	男性(547)	12.8	7.3	8.2	14.6	1.8	1.3	6.4	2.6	2.7	3.7	11.7	14.3	32.9	10.6	18.6
	女性(671)	16.8	13.7	13.7	22.5	1.6	0.9	6.7	1.9	2.7	2.4	12.1	13.1	36.5	8.6	25.3
	その他(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
年齢別	18～19 歳(21)	19.0	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0	4.8	9.5	19.0	19.0	0.0	19.0
	20～29 歳(109)	6.4	7.3	11.0	13.8	0.9	0.0	4.6	2.8	2.8	1.8	13.8	4.6	27.5	3.7	12.8
	30～39 歳(171)	16.4	25.1	23.4	41.5	4.1	1.8	9.9	3.5	1.8	4.7	12.3	23.4	47.4	12.3	43.9
	40～49 歳(257)	22.6	13.6	22.2	36.6	2.3	1.6	10.1	3.5	4.7	3.5	14.4	21.8	54.1	14.4	37.4
	50～59 歳(265)	12.8	6.0	5.3	9.1	0.8	0.8	5.7	1.1	3.4	4.5	11.3	9.4	33.2	11.3	17.4
	60～69 歳(185)	11.4	8.6	5.4	9.2	1.1	1.6	3.2	0.5	1.6	2.7	11.9	7.0	27.6	5.4	13.5
	70 歳以上(226)	12.8	5.8	1.8	3.5	1.3	0.4	4.0	0.9	1.8	0.4	8.4	11.1	17.3	6.2	8.0
居住地区別	下戸田1地区(131)	3.1	6.9	6.9	20.6	2.3	0.0	5.3	1.5	3.1	3.1	6.9	9.9	24.4	4.6	19.1
	下戸田2地区(219)	5.9	9.1	5.5	25.1	2.3	0.9	7.3	0.9	4.1	2.7	14.2	5.5	30.1	6.4	22.8
	上戸田1地区(138)	10.9	15.9	6.5	19.6	0.7	0.0	4.3	2.9	1.4	0.7	12.3	12.3	30.4	7.2	24.6
	上戸田2地区(190)	6.3	7.9	6.3	22.6	1.6	0.5	4.7	3.2	2.1	3.7	22.1	8.4	25.8	11.1	18.9
	新曽地区(279)	9.9	14.0	15.8	16.5	1.5	2.6	7.7	2.9	4.0	2.2	10.3	14.3	37.5	9.9	19.5
	笹目地区(176)	31.3	9.1	23.3	14.2	2.3	1.1	8.0	1.7	2.3	5.1	9.7	23.9	42.6	10.8	27.3
	美女木地区(105)	55.2	13.3	13.3	9.5	1.0	1.0	6.7	1.9	0.0	4.8	2.9	28.6	62.9	19.0	30.5

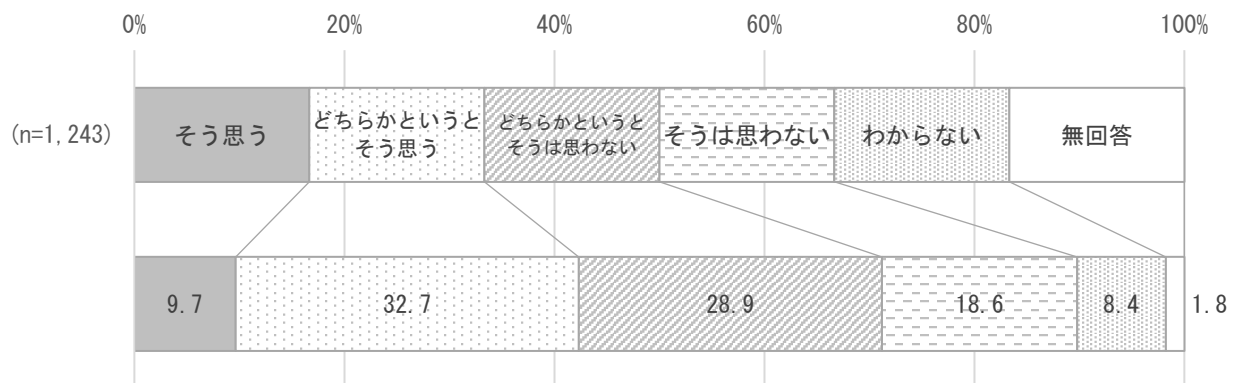
(3) 市内の駅周辺について、にぎわいや魅力があると思うか

問 25 あなたは、市内の駅周辺について、にぎわいや魅力があると思いますか。(○は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・市内の駅周辺のにぎわいや魅力について、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせると 42.4%、「どちらかというとは思わない」と「そうは思わない」を合わせると 47.5%となり、にぎわいや魅力がないと感じている割合が高くなっています。

図表 55 市内の駅周辺について、にぎわいや魅力があると思うか（全体）



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた肯定的な意見は、男女共に 40% を超えています。一方、「どちらかというとは思わない」と「そうは思わない」を合わせた否定的な意見は、男性 51.6%、女性 44.2%となり、特に男性は肯定的な意見を上回っています。
- ・年齢別にみると、20 歳代から 40 歳代では肯定的な意見が多くなっていますが、50 歳代以上では否定的な意見が多く、60 歳代では 60.0%となっています。
- ・居住地区別では、「新曽地区」、「上戸田 2 地区」で肯定的な意見が上回っていますが、他の地区では否定的な意見が多く、「美女木地区」では 55.3%と最も多くなっています。

図表 56 市内の駅周辺について、にぎわいや魅力があると思うか（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そうは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
	全体 (1,243)	9.7	32.7	28.9	18.6	8.4	1.8
性別	男性 (547)	9.3	31.4	30.9	20.7	6.0	1.6
	女性 (671)	10.3	33.7	27.4	16.8	9.8	1.9
	その他 (2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19 歳 (21)	19.0	23.8	23.8	23.8	9.5	0.0
	20～29 歳 (109)	19.3	39.4	24.8	11.9	3.7	0.9
	30～39 歳 (171)	15.2	44.4	23.4	11.7	4.7	0.6
	40～49 歳 (257)	8.9	40.9	27.2	16.7	4.7	1.6
	50～59 歳 (265)	5.7	31.7	35.1	18.5	7.9	1.1
	60～69 歳 (185)	4.3	22.2	34.1	25.9	11.9	1.6
	70 歳以上 (226)	9.7	22.1	25.7	22.6	15.9	4.0
居住地区別	下戸田 1 地区 (131)	6.1	32.8	26.7	14.5	17.6	2.3
	下戸田 2 地区 (219)	10.0	29.2	26.9	22.8	10.0	0.9
	上戸田 1 地区 (138)	10.9	35.5	31.9	14.5	6.5	0.7
	上戸田 2 地区 (190)	9.5	37.4	31.1	14.7	4.7	2.6
	新曽地区 (279)	12.9	35.1	30.5	15.1	4.7	1.8
	笹目地区 (176)	9.7	29.0	24.4	25.6	8.5	2.8
	美女木地区 (105)	3.8	27.6	32.4	22.9	12.4	1.0

(4) 公共施設に求めるサービス（機能）

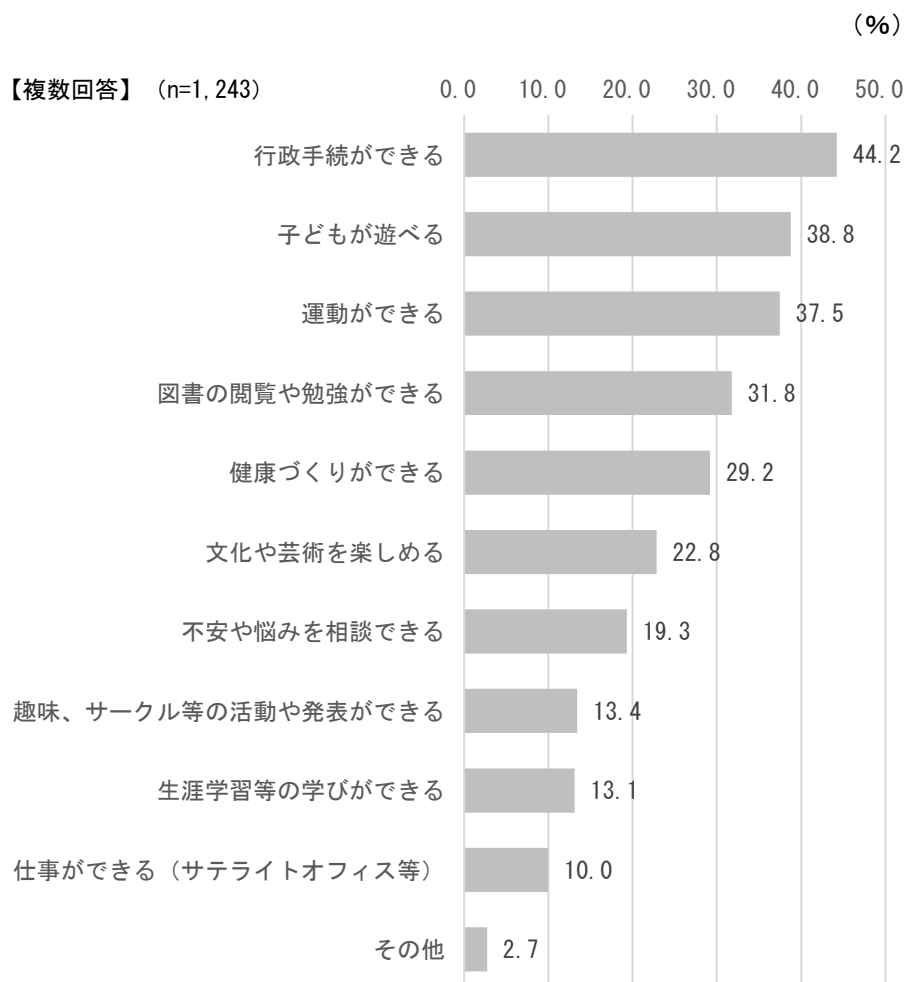
問 26 以下の項目のうち、①あなたが公共施設のサービス（機能）に求めるものは何ですか。3つ選んで番号を記入してください。

また、②そのサービスは戸田市にある施設で足りていると思いますか。足りている場合は「○」、足りていない場合は「×」でお答えください。

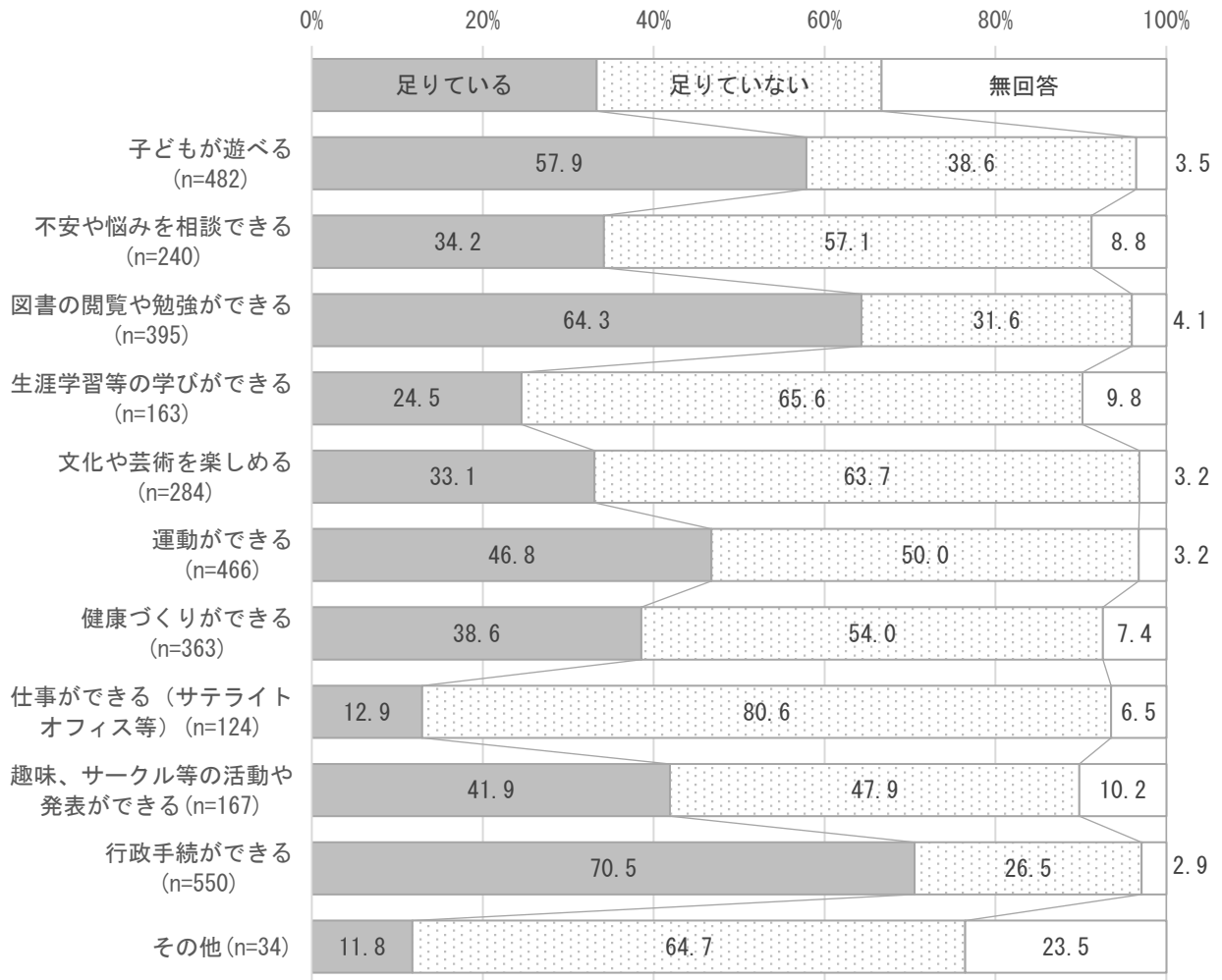
【全体の回答傾向】

- ・公共施設に求めるサービス（機能）について、「行政手続きができる」が44.2%と最も高く、次いで「子どもが遊べる」(38.8%)、「運動ができる」(37.5%)、「図書の閲覧や勉強ができる」(31.8%)となっています。
- ・サービス（機能）が足りているかについては、公共施設に求めるサービス（機能）の上位3項目は、「足りている」が50%を超えています。一方、「仕事ができる（サテライトオフィス等）」は、足りていないと感じる割合が80.6%と最も高くなっています。

図表 57 公共施設に求めるサービス（全体）



図表 58 サービス（機能）が足りているか



【属性別の回答傾向】

- 性別にみると、男女共に「行政手続ができる」、「運動ができる」、「図書の閲覧や勉強ができる」、「子どもが遊べる」が高く、特に、「行政手続ができる」、「子どもが遊べる」、「図書の閲覧や勉強ができる」は、女性の方が高く、「運動ができる」は男性の方が高くなっています。
- 年齢別にみると、20歳代から40歳代の子育て世代で「子どもが遊べる」が高く、30歳代では66.1%に上っています。また、「運動ができる」は、年齢が上がるにつれて低くなる傾向にある一方で、「健康づくりができる」や「文化や芸術を楽しめる」は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向にあります。
- 居住地区別にみると、全体的に「子どもが遊べる」、「行政手続ができる」の割合が高く、「子どもが遊べる」は「美女木地区」、「新曽地区」、「笹目地区」で40%を超えています。

図表 59 公共施設に求めるサービス（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		子どもが遊べる	不安や悩みを相談できる	図書の閲覧や勉強ができる	生涯学習等の学びができる	文化や芸術を楽しむ	運動ができる	健康づくりができる	仕事ができる(サテライトオフィス等)	趣味、サークル等の活動や発表ができる	行政手続きができる	その他
	全体 (1, 243)	38. 8	19. 3	31. 8	13. 1	22. 8	37. 5	29. 2	10. 0	13. 4	44. 2	2. 7
性別	男性 (547)	34. 6	16. 8	28. 7	13. 0	22. 9	42. 8	32. 4	11. 0	14. 1	43. 0	3. 1
	女性 (671)	42. 3	20. 9	34. 3	13. 0	22. 4	33. 4	26. 5	9. 2	13. 1	45. 6	2. 5
	その他 (2)	50. 0	0. 0	50. 0	50. 0	50. 0	100. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0
年齢別	18～19 歳 (21)	42. 9	14. 3	38. 1	19. 0	9. 5	47. 6	23. 8	38. 1	14. 3	28. 6	4. 8
	20～29 歳 (109)	45. 9	18. 3	42. 2	8. 3	14. 7	48. 6	22. 0	17. 4	12. 8	45. 9	2. 8
	30～39 歳 (171)	66. 1	24. 0	34. 5	8. 2	15. 8	43. 9	20. 5	12. 9	8. 8	45. 6	3. 5
	40～49 歳 (257)	58. 0	14. 0	37. 7	11. 3	20. 2	45. 5	22. 2	7. 8	14. 8	46. 7	1. 2
	50～59 歳 (265)	27. 2	24. 9	34. 3	15. 5	23. 8	38. 5	31. 7	10. 6	10. 9	48. 3	3. 4
	60～69 歳 (185)	25. 4	20. 5	27. 6	14. 1	29. 2	31. 4	37. 3	10. 8	15. 1	53. 5	2. 2
	70 歳以上 (226)	16. 8	15. 5	18. 6	17. 7	29. 6	20. 8	38. 5	2. 2	17. 7	29. 2	3. 5
居住地区別	下戸田 1 地区 (131)	38. 2	23. 7	31. 3	13. 0	20. 6	32. 8	27. 5	9. 2	13. 0	45. 8	1. 5
	下戸田 2 地区 (219)	37. 0	16. 9	38. 8	11. 0	22. 8	36. 1	28. 3	12. 3	15. 5	45. 7	0. 9
	上戸田 1 地区 (138)	39. 9	20. 3	34. 1	15. 2	23. 9	38. 4	29. 0	8. 7	13. 0	38. 4	2. 2
	上戸田 2 地区 (190)	34. 2	16. 3	33. 7	15. 8	26. 3	35. 3	31. 1	10. 5	13. 2	47. 4	2. 1
	新曽地区 (279)	40. 5	17. 6	30. 5	11. 5	25. 8	38. 4	29. 7	11. 5	10. 4	49. 1	3. 2
	笹目地区 (176)	40. 3	21. 6	25. 6	17. 6	19. 9	40. 3	26. 7	7. 4	15. 3	35. 2	5. 7
	美女木地区 (105)	42. 9	22. 9	24. 8	6. 7	15. 2	41. 9	33. 3	6. 7	16. 2	42. 9	3. 8

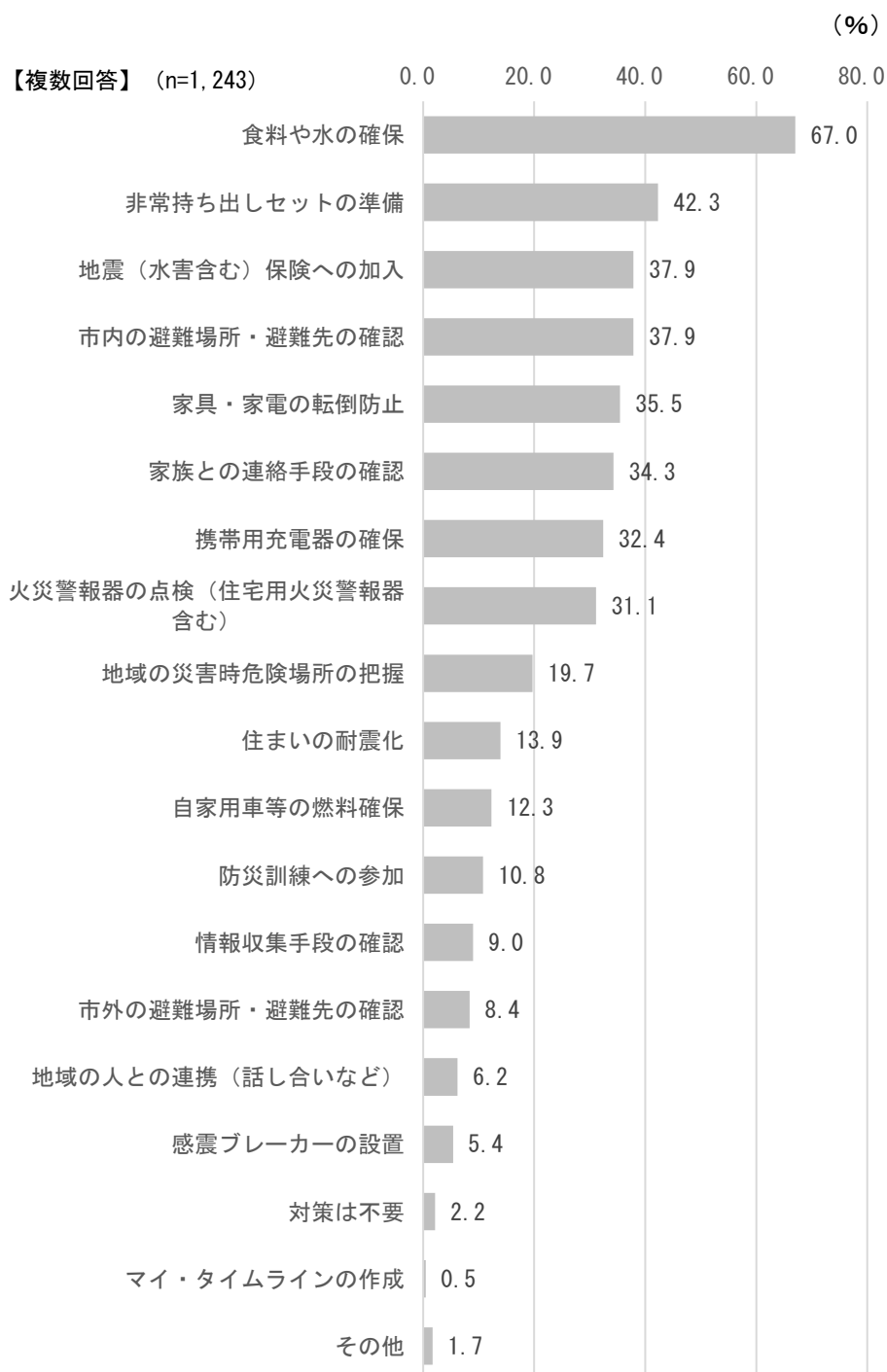
（５）家庭での災害対策

問 27 あなたは、家庭でどのような災害対策をとっていますか。あてはまるものをすべて選んでください。（〇はいくつでも）

【全体の回答傾向】

- ・家庭での災害対策については、「食料や水の確保」（67.0%）が突出しており、次いで「非常持ち出しセットの準備」（42.3%）、「地震（水害含む）保険への加入」・「市内の避難場所・避難先の確認」（37.9%）となっています。

図表 60 家庭での災害対策（全体）



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男女共に「食料や水の確保」が高く、60%を超え、次いで「非常持ち出しセットの準備」は40%を超えています。
- ・年齢別も同様に、全年代で「食料や水の確保」が高く、中でも10歳代、40歳代で70%、30歳代、50歳代、60歳代、70歳以上で60%を超えています。
- ・居住地区別も同様に「食料や水の確保」が高く、「美女木地区」では82.9%、「上戸田1地区」では73.2%となっています。
- ・家庭での災害対策について、○を付けた数は平均で4.1個でした。○を付けなかった3.1%（○を付けた数が0のn=39）と、「対策を不要」と回答した2.2%を合わせた5.3%を除いた94.7%が何らかの対策を講じていました。

図表 61 家庭での災害対策（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		食料や水の確保	非常持ち出しセットの準備	家具・家電の転倒防止	家族との連絡手段の確認	地震（水害含む）保険への加入	防災訓練への参加	地域のひととの連携（話し合いなど）	自家用車等の燃料確保	感震ブレーカーの設置	火災警報器の点検 （住宅用火災警報器含む）
	全体(1,243)	67.0	42.3	35.5	34.3	37.9	10.8	6.2	12.3	5.4	31.1
性別	男性(547)	63.6	41.5	35.5	30.9	36.7	13.0	6.2	14.1	5.5	31.6
	女性(671)	69.4	43.1	34.7	36.7	38.7	8.9	6.1	10.3	5.2	30.6
	その他(2)	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(21)	71.4	47.6	23.8	28.6	19.0	4.8	9.5	4.8	0.0	28.6
	20～29歳(109)	59.6	39.4	24.8	37.6	24.8	1.8	0.9	6.4	2.8	13.8
	30～39歳(171)	62.0	48.5	29.2	32.2	29.2	6.4	1.2	7.6	2.3	20.5
	40～49歳(257)	70.8	43.2	37.4	32.7	40.9	8.9	5.1	10.9	3.5	26.8
	50～59歳(265)	66.4	40.8	40.0	34.3	43.4	11.3	4.2	17.7	4.9	34.0
	60～69歳(185)	68.1	36.2	36.8	35.1	42.7	10.3	8.1	15.1	5.9	42.2
	70歳以上(226)	69.5	43.8	37.6	35.8	39.4	21.2	14.6	12.4	11.9	40.3
居住地区別	下戸田1地区(131)	66.4	39.7	30.5	30.5	35.1	11.5	6.1	11.5	6.9	29.0
	下戸田2地区(219)	65.8	45.7	38.8	33.3	42.5	15.1	3.7	11.9	5.5	36.1
	上戸田1地区(138)	73.2	43.5	38.4	32.6	35.5	5.1	3.6	16.7	3.6	31.9
	上戸田2地区(190)	68.9	40.5	36.3	31.6	37.9	11.6	7.4	6.3	7.9	34.2
	新曽地区(279)	63.8	43.0	34.4	35.1	36.2	7.5	3.6	12.2	3.6	30.5
	笹目地区(176)	66.5	40.9	31.8	40.3	38.1	12.5	11.4	15.9	4.0	27.3
	美女木地区(105)	82.9	49.5	38.1	38.1	43.8	14.3	7.6	14.3	8.6	36.2

図表 62 家庭での災害対策（全体・性別・年齢別・居住地区別）（つづき）

		地域の災害時危険場所の把握	住まいの耐震化	市内の避難場所・避難先の確認	市外の避難場所・避難先の確認	情報収集手段の確認	マイ・タイムラインの作成	携帯用充電器の確保	対策は不要	その他
	全体(1,243)	19.7	13.9	37.9	8.4	9.0	0.5	32.4	2.2	1.7
性別	男性(547)	19.2	14.3	33.1	7.9	10.6	0.7	32.4	2.6	2.0
	女性(671)	20.0	13.7	41.6	8.5	7.6	0.3	33.1	1.6	1.5
	その他(2)	50.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
年齢別	18～19 歳(21)	19.0	23.8	38.1	14.3	14.3	0.0	38.1	4.8	4.8
	20～29 歳(109)	8.3	11.9	27.5	6.4	6.4	0.0	30.3	0.0	0.0
	30～39 歳(171)	19.3	6.4	35.1	8.2	12.9	0.0	33.9	0.0	0.0
	40～49 歳(257)	18.3	17.5	33.1	8.6	8.9	0.4	36.2	0.0	0.0
	50～59 歳(265)	19.2	10.9	40.8	6.8	9.1	0.8	33.2	0.0	0.0
	60～69 歳(185)	20.5	18.4	38.4	5.9	8.1	0.0	29.2	0.0	0.0
	70 歳以上(226)	27.0	15.5	46.5	12.4	7.1	1.3	30.1	0.0	0.0
居住地区別	下戸田 1 地区(131)	22.9	7.6	42.0	9.2	6.9	0.0	35.9	2.3	4.6
	下戸田 2 地区(219)	17.8	16.9	34.7	5.0	8.2	0.9	34.7	1.4	0.0
	上戸田 1 地区(138)	18.8	12.3	40.6	5.1	8.7	0.0	29.7	1.4	0.7
	上戸田 2 地区(190)	17.4	11.6	34.7	9.5	10.5	0.5	34.7	3.2	0.5
	新曽地区(279)	18.3	13.6	39.1	9.7	9.3	0.4	30.8	3.2	2.5
	笹目地区(176)	22.7	14.8	43.2	11.9	8.5	1.1	29.5	1.1	2.3
	美女木地区(105)	28.6	9.5	52.4	11.4	8.6	0.0	44.8	2.9	5.7

図表 63 災害時に協力できる助け合い（○を付けた数とその人数及び平均値）

○を付けた数	0	1	2	3	4	5	6	7	8
人数	39	191	188	189	155	151	108	82	46
○を付けた数	9	10	11	12	13	14	15	16	平均
人数	37	23	13	10	6	2	2	1	4.1

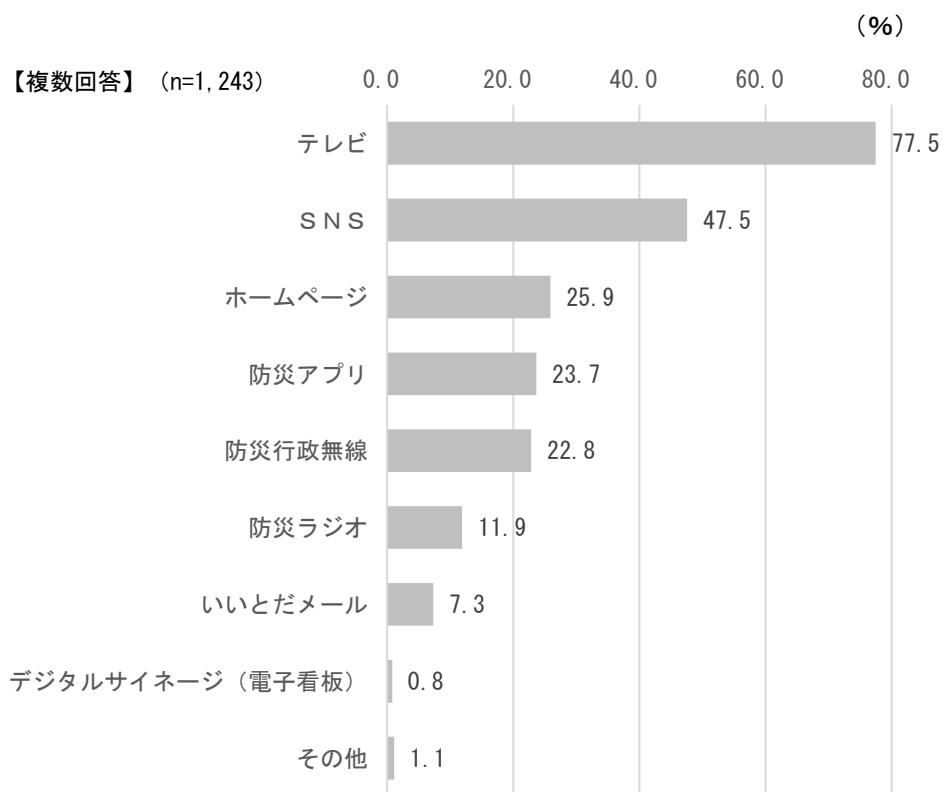
(6) 防災情報の収集

問 28 あなたは何を利用して防災情報（災害時を含む）を収集していますか（する予定）ですか。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

【全体の回答傾向】

- ・防災情報の収集については、「テレビ」（77.5%）と突出しており、次いで「SNS」（47.5%）、「ホームページ」（25.9%）となっています。

図表 64 防災情報の収集（全体）



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、「テレビ」は年齢が上がるにつれ高く、「SNS」は年齢が上がるにつれて低い傾向がみられます。「テレビ」は60歳代、70歳以上では80%を超え、「SNS」は10歳代、20歳代で80%を超えています。
- ・性別、居住地区別にみると、「テレビ」が最も多く、次いで「SNS」であり、全体と同様の傾向となっています。

図表 65 防災情報の収集（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		テレビ	ホームページ	SNS	防災アプリ	防災行政無線	防災ラジオ	いとだメール	デジタルサイネージ（電子看板）	その他
	全体(1,243)	77.5	25.9	47.5	23.7	22.8	11.9	7.3	0.8	1.0
性別	男性(547)	77.7	29.6	48.8	25.4	22.1	12.1	5.3	1.1	0.9
	女性(671)	77.5	23.2	46.5	21.8	23.5	12.1	9.1	0.6	1.0
	その他(2)	0.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(21)	66.7	9.5	85.7	14.3	14.3	4.8	4.8	0.0	0.0
	20～29歳(109)	59.6	11.0	88.1	12.8	10.1	6.4	1.8	0.9	0.9
	30～39歳(171)	72.5	32.2	67.3	23.4	14.6	4.1	3.5	0.6	0.0
	40～49歳(257)	75.1	40.9	55.6	26.1	18.7	5.8	10.1	0.4	1.6
	50～59歳(265)	77.0	33.6	44.2	23.8	23.8	11.3	10.6	1.5	0.8
	60～69歳(185)	82.7	19.5	35.7	31.9	28.1	10.3	9.2	0.5	1.6
	70歳以上(226)	89.8	8.0	15.0	19.9	36.3	30.5	4.9	0.9	1.8
居住地区別	下戸田1地区(131)	77.9	24.4	41.2	23.7	27.5	18.3	9.2	0.0	0.8
	下戸田2地区(219)	79.9	21.5	49.3	23.7	23.3	7.3	7.3	1.4	0.5
	上戸田1地区(138)	76.8	31.2	48.6	25.4	26.8	12.3	7.2	0.7	2.2
	上戸田2地区(190)	76.3	28.4	52.6	31.6	17.9	12.1	4.7	1.6	0.5
	新曽地区(279)	75.3	30.1	48.4	20.4	20.1	9.0	9.0	0.7	0.7
	笹目地区(176)	79.5	21.0	44.3	21.6	27.8	14.2	5.1	0.6	2.3
	美女木地区(105)	78.1	23.8	45.7	19.0	19.0	16.2	9.5	0.0	1.9

6. 地域コミュニティについて

(1) 団体等の活動への参加

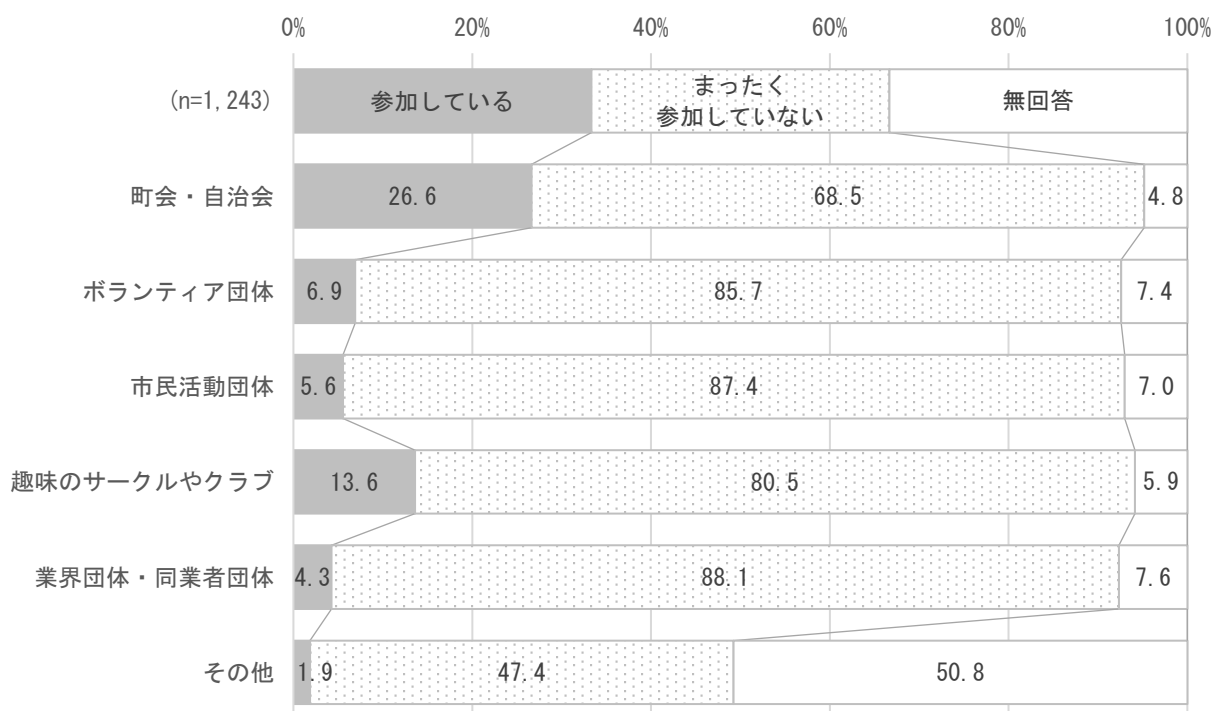
問 29 あなたは、以下の団体等の活動に、どの程度参加していますか。

(活動内容ごとに○は1つつつ)

【全体の回答傾向】

- ・地域の団体等の活動への参加状況について、参加している割合を見ると、「町会・自治会」が26.6%と最も高く、次いで「趣味のサークルやクラブ」(13.6%)となっています。

図表 66 団体等の活動への参加頻度（全体）



(注) 参加している = 「まったく参加していない」及び「無回答」以外の合計

【属性別の回答傾向】

①町会・自治会

- ・性別にみると、男性・女性ともに「まったく参加していない」が70%近くに上っています。
- ・年齢別にみると、「まったく参加していない」が年齢が上がるにつれて低くなる傾向にあります。
- ・居住地区別にみると、「まったく参加していない」は、「上戸田2地区」が73.7%で最も高く、「美女木地区」が58.1%で最も低くなっています。

図表 67 団体等の活動への参加頻度【町会・自治会】（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		ほぼ毎日	週に2～3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
	全体(1,243)	0.2	1.5	5.2	10.1	9.6	68.5	4.8
性別	男性(547)	0.4	1.8	6.6	10.2	8.6	68.4	4.0
	女性(671)	0.0	1.3	3.9	9.8	10.0	69.4	5.5
	その他(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢別	18～19歳(21)	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	95.2	0.0
	20～29歳(109)	0.0	0.0	0.0	3.7	2.8	90.8	2.8
	30～39歳(171)	0.0	0.0	1.8	5.8	5.3	84.8	2.3
	40～49歳(257)	0.0	0.4	3.9	9.3	12.1	72.0	2.3
	50～59歳(265)	0.4	0.8	2.3	10.9	12.5	69.1	4.2
	60～69歳(185)	0.5	1.6	6.5	13.0	10.8	62.2	5.4
	70歳以上(226)	0.0	5.8	14.6	14.6	9.7	44.7	10.6
居住地区別	下戸田1地区(131)	0.0	3.8	5.3	13.7	10.7	64.1	2.3
	下戸田2地区(219)	0.0	1.4	5.5	10.0	11.4	66.2	5.5
	上戸田1地区(138)	0.0	0.7	5.8	7.2	8.0	73.2	5.1
	上戸田2地区(190)	0.0	1.1	3.7	10.0	7.9	73.7	3.7
	新曽地区(279)	0.4	1.1	2.5	6.8	10.4	72.8	6.1
	笹目地区(176)	0.0	1.7	6.8	14.2	7.4	64.2	5.7
	美女木地区(105)	1.0	1.9	11.4	12.4	11.4	58.1	3.8

【属性別の回答傾向】

②ボランティア団体

- ・年齢別にみると、40歳以下では「まったく参加していない」が90%を超えています。一方、70歳以上では65.0%と、他に比べ低くなっています。
- ・居住地区別にみると、「まったく参加していない」が全地区で80%を超えています。

図表 68 団体等の活動への参加頻度【ボランティア団体】（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		ほぼ毎日	週に2～3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
	全体(1,243)	0.1	0.6	1.3	2.8	2.2	85.7	7.4
性別	男性(547)	0.2	0.4	1.1	3.1	2.6	86.5	6.2
	女性(671)	0.0	0.7	1.3	2.4	1.9	85.2	8.3
	その他(2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
年齢別	18～19歳(21)	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	95.2	0.0
	20～29歳(109)	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	93.6	2.8
	30～39歳(171)	0.0	0.0	0.0	2.3	0.6	94.7	2.3
	40～49歳(257)	0.0	0.4	0.8	1.6	3.5	90.3	3.5
	50～59歳(265)	0.0	0.4	1.5	3.0	1.1	89.4	4.5
	60～69歳(185)	0.0	1.1	0.5	2.7	2.2	85.9	7.6
	70歳以上(226)	0.4	1.3	4.0	3.5	4.4	65.0	21.2
居住地区別	下戸田1地区(131)	0.0	0.8	1.5	2.3	2.3	84.7	8.4
	下戸田2地区(219)	0.0	1.8	1.4	2.3	2.7	80.8	11.0
	上戸田1地区(138)	0.0	0.0	2.2	2.2	2.2	87.7	5.8
	上戸田2地区(190)	0.5	0.0	0.5	3.7	1.1	88.9	5.3
	新曽地区(279)	0.0	0.4	0.4	2.5	1.4	89.2	6.1
	笹目地区(176)	0.0	0.0	1.7	4.5	3.4	81.8	8.5
	美女木地区(105)	0.0	1.0	2.9	1.9	2.9	84.8	6.7

【属性別の回答傾向】

③市民活動団体

- ・年齢別にみると、50歳代以下では「まったく参加していない」が90%を超えています。
- ・居住地区別にみると、「上戸田2地区」、「新曽地区」で「まったく参加していない」が90%を超えています。

図表 69 団体等の活動への参加頻度【市民活動団体】（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		ほぼ毎日	週に2～3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
性別	全体(1,243)	0.0	0.2	1.4	2.2	1.9	87.4	7.0
	男性(547)	0.0	0.0	1.1	3.7	1.8	87.6	5.9
	女性(671)	0.0	0.3	1.6	1.0	1.6	87.5	7.9
	その他(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢別	18～19歳(21)	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	95.2	0.0
	20～29歳(109)	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	95.4	1.8
	30～39歳(171)	0.0	0.0	0.6	1.2	0.0	95.9	2.3
	40～49歳(257)	0.0	0.0	0.4	0.4	3.1	93.0	3.1
	50～59歳(265)	0.0	0.0	1.1	2.6	1.1	91.3	3.8
	60～69歳(185)	0.0	0.0	2.2	2.7	1.6	86.5	7.0
	70歳以上(226)	0.0	0.9	3.5	3.1	4.0	67.3	21.2
居住地区別	下戸田1地区(131)	0.0	0.0	3.1	2.3	2.3	84.7	7.6
	下戸田2地区(219)	0.0	0.0	1.8	0.9	2.3	85.4	9.6
	上戸田1地区(138)	0.0	0.0	2.2	2.2	2.9	87.7	5.1
	上戸田2地区(190)	0.0	0.0	0.5	2.1	1.1	90.5	5.8
	新曽地区(279)	0.0	0.4	0.4	2.2	1.1	90.3	5.7
	笹目地区(176)	0.0	0.0	0.6	4.0	2.3	84.7	8.5
	美女木地区(105)	0.0	1.0	2.9	1.9	1.9	85.7	6.7

【属性別の回答傾向】

④趣味のサークルやクラブ

- ・年齢別にみると、60歳代以下で「まったく参加していない」が80%を超えていますが、70歳以上では57.5%と最も低く、対して「月に1回程度」が10.6%と最も高くなっています。
- ・居住地区別にみると、「上戸田2地区」、「新曽地区」、「上戸田1地区」で「まったく参加していない」が80%を超えています。

図表 70 団体等の活動への参加頻度【趣味のサークルやクラブ】

(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2～3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
	全体(1,243)	0.2	4.6	4.7	2.8	1.4	80.5	5.9
性別	男性(547)	0.2	3.7	4.8	3.5	1.6	81.4	4.9
	女性(671)	0.1	5.4	4.5	2.2	1.2	80.0	6.6
	その他(2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
年齢別	18～19歳(21)	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	95.2	0.0
	20～29歳(109)	0.0	4.6	2.8	5.5	0.0	85.3	1.8
	30～39歳(171)	0.0	1.8	2.3	1.8	1.8	90.6	1.8
	40～49歳(257)	0.0	3.5	3.5	1.2	2.3	86.4	3.1
	50～59歳(265)	0.4	3.8	4.9	2.3	0.0	84.9	3.8
	60～69歳(185)	0.0	4.9	2.7	2.7	1.6	81.1	7.0
	70歳以上(226)	0.4	9.3	10.6	4.4	2.2	57.5	15.5
居住地区別	下戸田1地区(131)	0.8	2.3	6.1	3.8	3.8	77.1	6.1
	下戸田2地区(219)	0.5	7.3	8.2	1.8	0.9	73.5	7.8
	上戸田1地区(138)	0.0	1.4	3.6	6.5	1.4	81.9	5.1
	上戸田2地区(190)	0.0	2.6	1.6	2.6	1.6	87.4	4.2
	新曽地区(279)	0.0	4.7	3.6	1.4	0.7	83.9	5.7
	笹目地区(176)	0.0	6.8	4.0	3.4	0.0	79.5	6.3
	美女木地区(105)	0.0	4.8	6.7	1.9	2.9	78.1	5.7

【属性別の回答傾向】

⑤業界団体・同業者団体

- ・年齢別にみると、50歳代以下では「まったく参加していない」が90%を超えています。
- ・居住地区別にみると、「新曽地区」で「まったく参加していない」が91.4%と最も高く、他の地区においても80%を超えています。

図表 71 団体等の活動への参加頻度【業界団体・同業者団体】
(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2～3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
	全体(1,243)	0.0	0.2	0.8	2.1	1.2	88.1	7.6
性別	男性(547)	0.0	0.2	1.1	2.9	1.8	87.4	6.6
	女性(671)	0.0	0.1	0.6	1.3	0.7	88.7	8.5
	その他(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢別	18～19歳(21)	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	95.2	0.0
	20～29歳(109)	0.0	0.0	0.0	4.6	0.0	93.6	1.8
	30～39歳(171)	0.0	0.0	0.6	0.6	1.2	94.7	2.9
	40～49歳(257)	0.0	0.4	0.4	0.8	1.6	93.8	3.1
	50～59歳(265)	0.0	0.4	1.5	3.0	1.1	90.2	3.8
	60～69歳(185)	0.0	0.0	0.5	2.2	2.2	87.6	7.6
	70歳以上(226)	0.0	0.0	1.3	1.8	0.9	72.1	23.9
居住地区別	下戸田1地区(131)	0.0	0.8	1.5	2.3	2.3	85.5	7.6
	下戸田2地区(219)	0.0	0.5	0.5	1.4	0.9	87.2	9.6
	上戸田1地区(138)	0.0	0.0	1.4	2.9	0.7	88.4	6.5
	上戸田2地区(190)	0.0	0.0	0.0	2.6	1.1	89.5	6.8
	新曽地区(279)	0.0	0.0	0.7	0.7	0.7	91.4	6.5
	笹目地区(176)	0.0	0.0	0.6	4.0	2.8	84.1	8.5
	美女木地区(105)	0.0	0.0	1.9	1.9	0.0	87.6	8.6

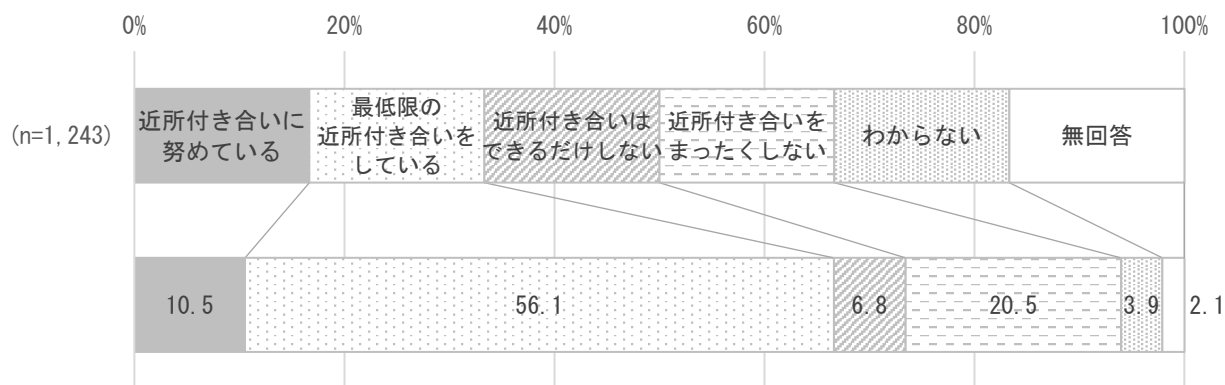
（２）近所付き合いの程度

問 30 あなたは、どの程度近所付き合いをしていますか。（○は１つ）

【全体の回答傾向】

- ・近所付き合いの程度については、「最低限の近所付き合いをしている」が 56.1%と最も高く、次いで「近所付き合いをまったくしない」（20.5%）となっています。

図表 72 近所付き合いの程度（全体）



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男女とも「最低限の近所付き合いをしている」が50%超え、最も高くなっています。
- ・年齢別にみると、「最低限の近所付き合いをしている」が40歳代以上で高く、60歳代では69.2%に上っています。
- ・居住地区別にみると、「最低限の近所付き合いをしている」が全地区で高く、特に「下戸田1地区」、「下戸田2地区」では60%を超えています。また、「近所付き合いをまったくしない」は、「新曽地区」、「上戸田1地区」、「上戸田2地区」で20%を超えています。

図表 73 近所付き合いの程度（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		近所付き合いに 努めている	最低限の近所付き合いを している	近所付き合いは できるだけしない	近所付き合いをまったく しない	わからない	無回答
	全体(1,243)	10.5	56.1	6.8	20.5	3.9	2.1
性別	男性(547)	10.2	53.2	6.9	23.0	4.6	2.0
	女性(671)	10.4	58.3	6.9	18.8	3.6	2.1
	その他(2)	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(21)	9.5	42.9	4.8	33.3	9.5	0.0
	20～29歳(109)	3.7	37.6	14.7	39.4	3.7	0.9
	30～39歳(171)	5.8	43.3	7.0	36.3	5.3	2.3
	40～49歳(257)	8.2	63.0	8.2	17.5	2.7	0.4
	50～59歳(265)	5.7	59.2	7.2	20.8	4.9	2.3
	60～69歳(185)	8.1	69.2	3.8	12.4	3.8	2.7
	70歳以上(226)	27.0	54.4	3.1	8.4	3.1	4.0
居住地区別	下戸田1地区(131)	9.2	61.8	7.6	17.6	3.1	0.8
	下戸田2地区(219)	7.3	60.3	7.8	15.5	6.8	2.3
	上戸田1地区(138)	9.4	55.8	6.5	23.2	3.6	1.4
	上戸田2地区(190)	9.5	52.6	9.5	23.7	2.1	2.6
	新曽地区(279)	9.7	50.9	6.1	28.3	3.9	1.1
	笹目地区(176)	15.9	58.0	4.0	14.2	2.8	5.1
	美女木地区(105)	16.2	58.1	5.7	14.3	4.8	1.0

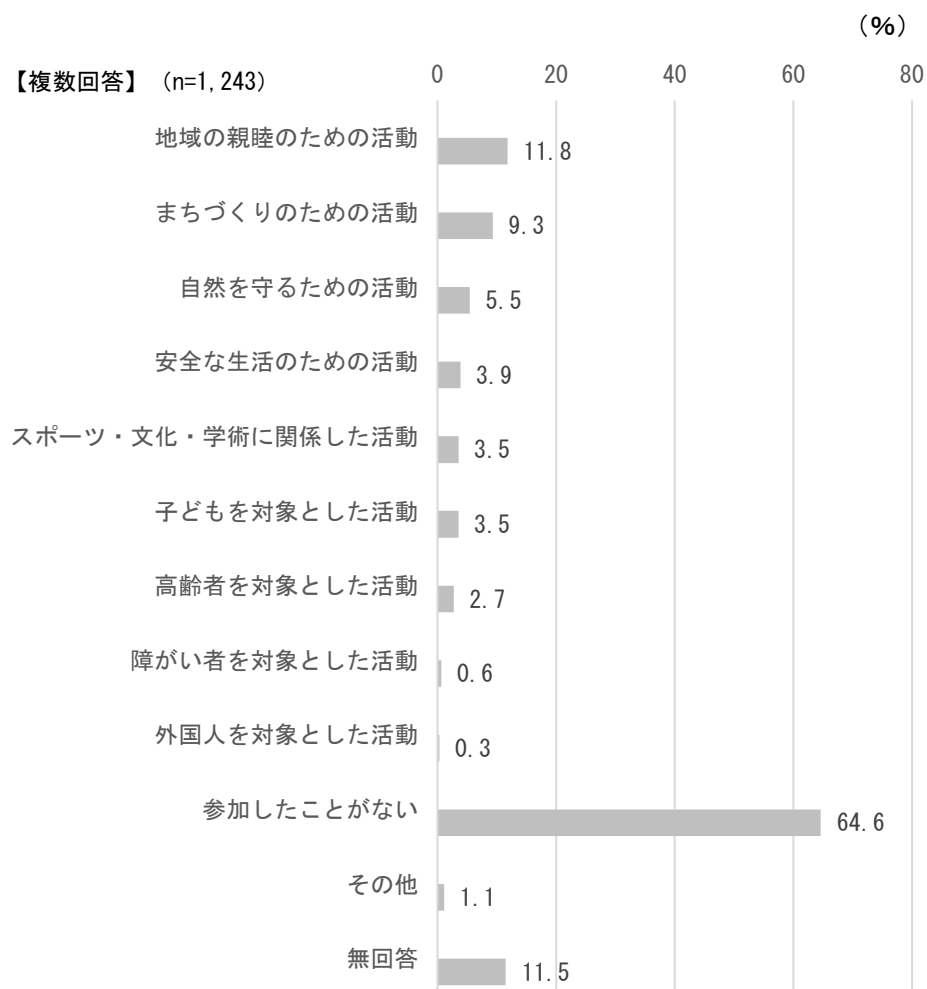
（３）地域活動やボランティア活動への参加

問 31 あなたは、ここ１年間で以下の地域活動やボランティア活動に参加しましたか。参加したものをすべて選んでください。（〇はいくつでも）

【全体の回答傾向】

- ・地域活動やボランティア活動への参加状況について、「参加したことがない」が64.6%と最も高くなっています。
- ・活動に参加した人では、地域住民による祭りや運動会などの「地域の親睦のための活動」（11.8%）が最も高く、次いで道路や公園等の清掃、まちに花を植える活動などの「まちづくりのための活動」（9.3%）となっています。

図表 74 地域活動やボランティア活動への参加（全体）



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、女性は男性に比べ、「まちづくりのための活動」や「高齢者を対象とした活動」が高くなっています。一方、男性は女性に比べ「自然を守るための活動」や「安全な生活のための活動」、「スポーツ・文化・学術に関係した活動」が高くなっています。
- ・年齢別にみると、70歳以上は他の年齢に比べ「まちづくりのための活動」(22.1%)、「地域の親睦のための活動」(21.2%)などが高くなっています。
- ・居住地区別にみると、美女木地区は他の地区に比べ、「参加したことがない」を除き「まちづくりのための活動」(22.9%)が最も高く、次いで「地域の親睦のための活動」(20.0%)となっています。また、「参加したことがない」が最も高いのは上戸田2地区(70.5%)となっています。

図表 75 地域活動やボランティア活動への参加（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		まちづくりのための活動	地域の親睦のための活動	自然を守るための活動	安全な生活のための活動	スポーツ・文化・学術に関係した活動	高齢者を対象とした活動	子どもを対象とした活動	障がい者を対象とした活動	外国人を対象とした活動	参加したことがない	その他
	全体(1,243)	9.3	11.8	5.5	3.9	3.5	2.7	3.5	0.6	0.3	64.6	1.1
性別	男性(547)	8.8	12.4	6.6	5.7	4.9	1.8	3.1	0.9	0.4	68.0	0.9
	女性(671)	9.8	11.6	4.8	2.2	2.2	3.4	3.9	0.4	0.3	62.0	1.2
	その他(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	50.0
年齢別	18～19歳(21)	0.0	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7	0.0
	20～29歳(109)	0.9	4.6	0.9	0.0	2.8	0.0	0.9	0.0	0.0	76.1	0.9
	30～39歳(171)	6.4	12.9	2.3	1.2	2.9	0.0	7.0	0.0	0.0	72.5	0.0
	40～49歳(257)	5.1	11.7	4.7	2.3	2.3	0.8	6.2	0.4	0.8	66.9	1.6
	50～59歳(265)	7.2	7.2	3.4	3.4	3.8	1.9	1.9	1.5	0.8	72.5	1.1
	60～69歳(185)	10.8	10.3	9.2	5.4	3.2	2.2	1.6	0.5	0.0	60.5	0.5
	70歳以上(226)	22.1	21.2	10.2	8.4	4.9	10.2	2.7	0.9	0.0	44.2	2.2
居住地区別	下戸田1地区(131)	11.5	15.3	5.3	8.4	3.8	1.5	2.3	0.8	0.0	65.6	1.5
	下戸田2地区(219)	8.7	8.7	4.6	2.7	5.0	4.6	3.7	0.5	1.4	63.5	0.9
	上戸田1地区(138)	5.8	13.8	6.5	2.9	5.1	2.2	2.9	1.4	0.0	63.0	1.4
	上戸田2地区(190)	7.9	8.9	3.7	3.2	2.1	3.2	3.7	0.5	0.5	70.5	1.1
	新曽地区(279)	6.1	7.2	3.6	2.5	1.4	0.4	1.1	0.7	0.0	69.5	0.7
	笹目地区(176)	10.2	17.6	6.8	4.0	4.0	5.1	6.8	0.0	0.0	58.5	2.3
	美女木地区(105)	22.9	20.0	12.4	6.7	5.7	2.9	6.7	1.0	0.0	53.3	0.0

7. 生涯学習やスポーツについて

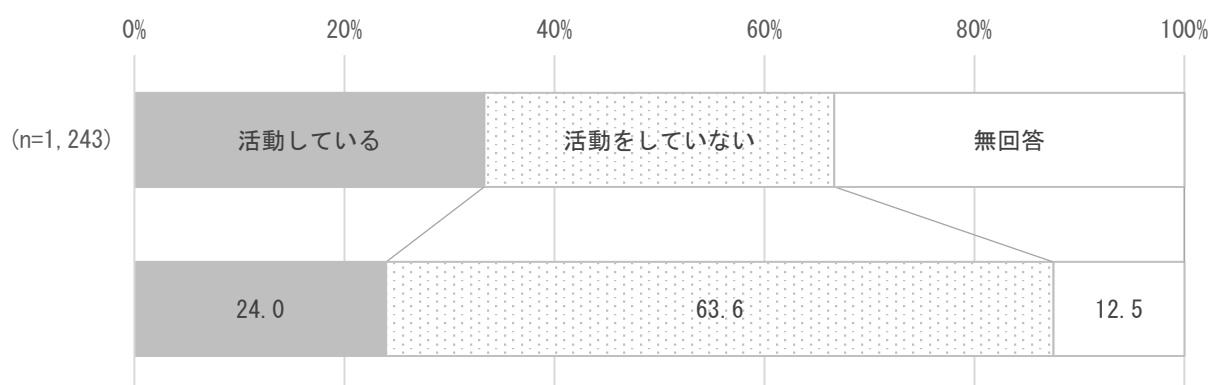
(1) 生涯学習の実施

問 32 生涯学習の実施についておたずねします。あなたは現在（または過去1～2年の間に）文化・趣味・スポーツなどの活動（学習活動）をしていますか。（○は1つ）

【全体の回答傾向】

- ・生涯学習の実施については、「活動していない」が63.6%と高い一方、「活動している」は24.0%に留まっています。

図表 76 生涯学習の実施（全体）



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、20 歳代から 60 歳代で「活動をしていない」が 60%を超えています。
- ・居住地区別にみると、全地区で「活動をしていない」が 60%を超え、なかでも「美女木地区」は 72.4%と最も高くなっています。

図表 77 生涯学習の実施（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		活動している	活動をしていない	無回答
	全体 (1,243)	24.0	63.6	12.5
性別	男性 (547)	28.0	60.7	11.3
	女性 (671)	21.2	65.7	13.1
	その他 (2)	50.0	50.0	0.0
年齢別	18～19 歳 (21)	42.9	47.6	9.5
	20～29 歳 (109)	22.9	69.7	7.3
	30～39 歳 (171)	29.2	64.9	5.8
	40～49 歳 (257)	24.5	69.6	5.8
	50～59 歳 (265)	29.8	62.6	7.5
	60～69 歳 (185)	20.5	64.3	15.1
	70 歳以上 (226)	14.2	54.4	31.4
居住地区別	下戸田 1 地区 (131)	18.3	60.3	21.4
	下戸田 2 地区 (219)	26.5	60.7	12.8
	上戸田 1 地区 (138)	23.2	62.3	14.5
	上戸田 2 地区 (190)	28.4	62.6	8.9
	新曽地区 (279)	26.9	63.1	10.0
	笹目地区 (176)	19.3	66.5	14.2
	美女木地区 (105)	19.0	72.4	8.6

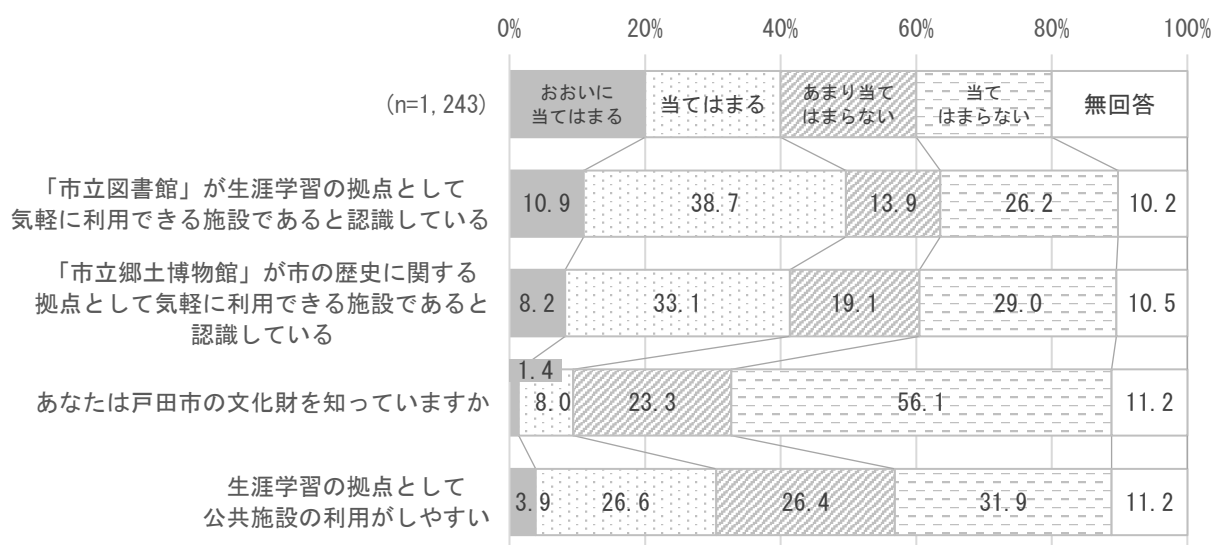
(2) 生涯学習の拠点等について

問 33 生涯学習の拠点等についておたずねします。(項目ごとに○は1つ)

【全体の回答傾向】

- 生涯学習の拠点等については、「市立図書館」や「市立郷土資料館」が気軽に利用できる施設として「当てはまる」が高くなっていますが、「戸田市の文化財」は「当てはまらない」が高くなっています。「市立図書館」や「市立郷土資料館」は、他の項目に比べて「おおいに当てはまる」が10%前後で高くなっています。

図表 78 生涯学習の拠点について (全体)



【属性別の回答傾向】

①生涯学習の拠点「市立図書館」について

- ・性別にみると、男性・女性ともに「おおいに当てはまる」及び「当てはまる」の合計が 50% 近くになっています。
- ・年齢別にみると、40 歳代～60 歳代で「おおいに当てはまる」及び「当てはまる」の合計が 50% 以上となっています。
- ・居住地区別にみると、「上戸田 1 地区」、「上戸田 2 地区」、「新曽地区」、「笹目地区」で「おおいに当てはまる」及び「当てはまる」の合計が 50% 以上となっています。

図表 79 生涯学習の拠点「市立図書館」について（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		おおいに当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	無回答
全体 (1, 243)		10. 9	38. 7	13. 9	26. 2	10. 2
性別	男性 (547)	9. 1	39. 9	12. 1	29. 1	9. 9
	女性 (671)	12. 7	37. 6	15. 6	24. 0	10. 1
	その他 (2)	0. 0	50. 0	0. 0	50. 0	0. 0
年齢別	18～19 歳 (21)	19. 0	19. 0	14. 3	42. 9	4. 8
	20～29 歳 (109)	18. 3	28. 4	8. 3	38. 5	6. 4
	30～39 歳 (171)	17. 0	28. 7	12. 9	36. 3	5. 3
	40～49 歳 (257)	12. 5	45. 9	12. 1	26. 1	3. 5
	50～59 歳 (265)	9. 4	44. 2	16. 6	23. 4	6. 4
	60～69 歳 (185)	4. 3	48. 1	17. 8	21. 1	8. 6
	70 歳以上 (226)	7. 1	31. 0	13. 7	19. 5	28. 8
居住地区別	下戸田 1 地区 (131)	6. 1	32. 8	19. 1	29. 0	13. 0
	下戸田 2 地区 (219)	7. 3	34. 7	19. 2	27. 4	11. 4
	上戸田 1 地区 (138)	16. 7	41. 3	8. 7	19. 6	13. 8
	上戸田 2 地区 (190)	12. 6	40. 0	14. 2	24. 7	8. 4
	新曽地区 (279)	12. 9	42. 7	11. 5	25. 8	7. 2
	笹目地区 (176)	11. 4	39. 2	11. 4	29. 0	9. 1
	美女木地区 (105)	6. 7	38. 1	14. 3	28. 6	12. 4

【属性別の回答傾向】

②生涯学習の拠点「市立郷土博物館」について

- ・性別にみると、男性・女性ともに「おおいに当てはまる」及び「当てはまる」の合計が40%近くに上っています。
- ・年齢別にみると、10歳代～30歳代、60歳代で「あまり当てはまらない」及び「当てはまらない」の合計が50%以上となっています。
- ・居住地区別にみると、「おおいに当てはまる」及び「当てはまる」の合計は「新曽地区」が47.3%と最も高く、最も低いのは「下戸田1地区」の33.6%となっています。

図表 80 生涯学習の拠点「市立郷土博物館」について（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		おおいに当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	無回答
	全体(1,243)	8.2	33.1	19.1	29.0	10.5
性別	男性(547)	7.7	32.9	17.0	32.4	10.1
	女性(671)	8.8	33.1	21.3	26.5	10.3
	その他(2)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢別	18～19歳(21)	14.3	28.6	19.0	33.3	4.8
	20～29歳(109)	12.8	23.9	11.0	45.0	7.3
	30～39歳(171)	7.0	24.6	18.7	44.4	5.3
	40～49歳(257)	12.1	36.6	21.4	26.8	3.1
	50～59歳(265)	7.5	44.2	18.9	23.4	6.0
	60～69歳(185)	2.2	37.8	25.4	25.4	9.2
	70歳以上(226)	7.1	23.9	16.8	22.1	30.1
居住地区別	下戸田1地区(131)	4.6	29.0	25.2	29.8	11.5
	下戸田2地区(219)	5.9	28.8	22.8	30.6	11.9
	上戸田1地区(138)	11.6	34.1	18.8	22.5	13.0
	上戸田2地区(190)	7.4	31.6	18.9	32.6	9.5
	新曽地区(279)	10.0	37.3	15.8	28.7	8.2
	笹目地区(176)	10.2	36.4	15.9	29.0	8.5
	美女木地区(105)	4.8	33.3	20.0	28.6	13.3

【属性別の回答傾向】

③戸田市の文化財の認知度について

- ・性別にみると、男性・女性ともに「あまり当てはまらない」及び「当てはまらない」の合計が80%近くに上っています。
- ・年齢別にみると、20歳代～60歳代で「あまり当てはまらない」及び「当てはまらない」の合計が80%以上となっています。
- ・居住地区別にみると、「おおいに当てはまる」及び「当てはまる」の合計は「笹目地区」が13.1%と最も高く、最も低いのは「下戸田2地区」の6.8%となっています。

図表 81 戸田市の文化財の認知度について（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		おおいに当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	無回答
	全体(1,243)	1.4	8.0	23.3	56.1	11.2
性別	男性(547)	1.6	9.0	23.2	55.6	10.6
	女性(671)	1.2	7.2	23.1	57.4	11.2
	その他(2)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢別	18～19歳(21)	4.8	19.0	19.0	52.4	4.8
	20～29歳(109)	0.9	6.4	12.8	73.4	6.4
	30～39歳(171)	1.2	4.7	13.5	74.3	6.4
	40～49歳(257)	2.7	4.7	26.5	63.0	3.1
	50～59歳(265)	0.4	10.2	28.3	55.1	6.0
	60～69歳(185)	0.0	5.9	30.3	51.9	11.9
	70歳以上(226)	1.3	13.3	21.7	32.3	31.4
居住地区別	下戸田1地区(131)	0.0	9.2	27.5	49.6	13.7
	下戸田2地区(219)	1.8	5.0	26.5	56.2	10.5
	上戸田1地区(138)	0.7	8.7	23.2	52.9	14.5
	上戸田2地区(190)	1.6	8.9	20.0	59.5	10.0
	新曽地区(279)	1.4	6.1	23.7	59.5	9.3
	笹目地区(176)	2.3	10.8	23.9	52.3	10.8
	美女木地区(105)	1.0	10.5	17.1	59.0	12.4

【属性別の回答傾向】

④生涯学習の拠点としての公共施設の利用のしやすさ

- ・性別にみると、女性は男性に比べ、「おおいに当てはまる」及び「当てはまる」の合計がやや高くなっています。
- ・年齢別にみると、20歳代、40～50歳代で「おおいに当てはまる」及び「当てはまる」の合計が30%以上となっています。
- ・居住地区別にみると、「上戸田1地区」、「上戸田2地区」、「新曽地区」、「笹目地区」で「おおいに当てはまる」及び「当てはまる」の合計が30%以上となっています。

図表 82 生涯学習の拠点としての公共施設の利用のしやすさ（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		おおいに当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	無回答
	全体(1,243)	3.9	26.6	26.4	31.9	11.2
性別	男性(547)	3.3	25.8	26.9	32.9	11.2
	女性(671)	4.5	27.4	26.2	31.1	10.7
	その他(2)	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
年齢別	18～19歳(21)	4.8	23.8	42.9	23.8	4.8
	20～29歳(109)	6.4	29.4	11.9	43.1	9.2
	30～39歳(171)	4.7	22.2	21.6	45.6	5.8
	40～49歳(257)	5.4	29.2	29.6	31.9	3.9
	50～59歳(265)	3.4	31.3	33.2	26.4	5.7
	60～69歳(185)	0.5	23.8	35.7	29.7	10.3
	70歳以上(226)	3.1	22.6	17.3	25.7	31.4
居住地区別	下戸田1地区(131)	2.3	22.1	28.2	33.6	13.7
	下戸田2地区(219)	2.3	24.7	30.1	31.1	11.9
	上戸田1地区(138)	4.3	30.4	27.5	25.4	12.3
	上戸田2地区(190)	4.2	26.3	28.4	31.1	10.0
	新曽地区(279)	5.0	25.4	25.8	34.1	9.7
	笹目地区(176)	3.4	32.4	19.9	34.1	10.2
	美女木地区(105)	4.8	24.8	24.8	33.3	12.4

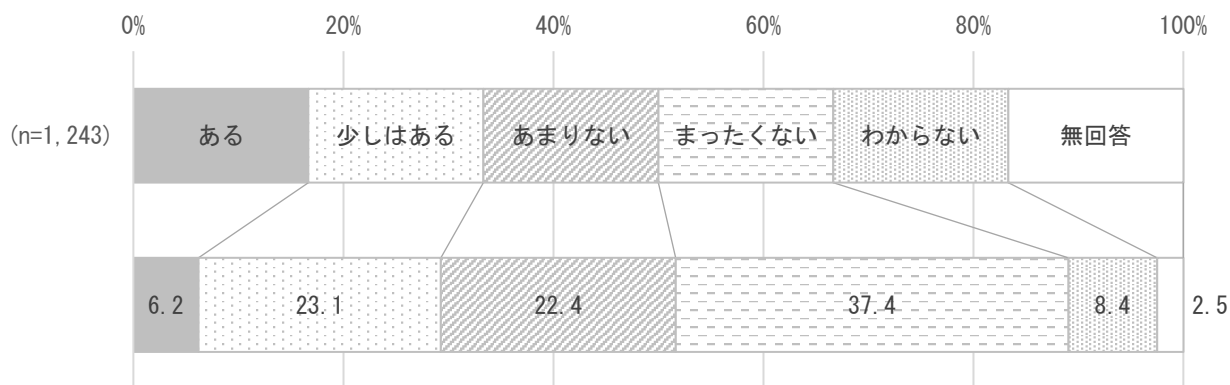
(3) ボート競技（ローイング）について

問 34 あなたは、ボート競技（ローイング）に興味や関心がありますか。（○は1つ）

【全体の回答傾向】

- ・ボート競技（ローイング）の興味や関心については、「まったくない」が37.4%と最も高く、「あまりない」と合わせると59.8%となっています。

図表 83 ボート競技（ローイング）について（全体）



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は女性に比べ「ある」や「少しはある」の合計がやや高くなっています。
- ・年齢別にみると、30 歳代～50 歳代で「ある」、「少しはある」の合計が 30%以上となっています。
- ・居住期間別では、上戸田 2 地区は「ある」、「少しはある」を合わせると 36.8%で最も多くなっています。

図表 84 ボート競技（ローイング）について（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		ある	少しはある	あまりない	まったくない	わからない	無回答
	全体 (1, 243)	6. 2	23. 1	22. 4	37. 4	8. 4	2. 5
性別	男性 (547)	6. 9	26. 3	21. 2	37. 3	6. 0	2. 2
	女性 (671)	5. 5	20. 7	23. 4	37. 3	10. 7	2. 4
	その他 (2)	0. 0	0. 0	100. 0	0. 0	0. 0	0. 0
年齢別	18～19 歳 (21)	0. 0	28. 6	33. 3	38. 1	0. 0	0. 0
	20～29 歳 (109)	6. 4	18. 3	20. 2	44. 0	10. 1	0. 9
	30～39 歳 (171)	8. 8	24. 0	18. 7	38. 6	9. 4	0. 6
	40～49 歳 (257)	8. 6	29. 2	21. 4	31. 9	7. 8	1. 2
	50～59 歳 (265)	4. 2	26. 4	23. 0	34. 7	9. 8	1. 9
	60～69 歳 (185)	4. 3	22. 2	25. 9	40. 0	5. 9	1. 6
	70 歳以上 (226)	5. 8	13. 7	23. 5	40. 3	9. 3	7. 5
居住地区別	下戸田 1 地区 (131)	3. 1	20. 6	22. 1	39. 7	13. 7	0. 8
	下戸田 2 地区 (219)	6. 4	25. 1	21. 5	35. 2	7. 3	4. 6
	上戸田 1 地区 (138)	8. 0	23. 9	23. 9	33. 3	8. 0	2. 9
	上戸田 2 地区 (190)	10. 5	26. 3	24. 7	27. 4	9. 5	1. 6
	新曽地区 (279)	5. 7	23. 7	25. 1	37. 3	5. 7	2. 5
	笹目地区 (176)	4. 5	21. 6	18. 2	44. 9	9. 1	1. 7
	美女木地区 (105)	3. 8	16. 2	19. 0	48. 6	9. 5	2. 9

8. 市政への参加について

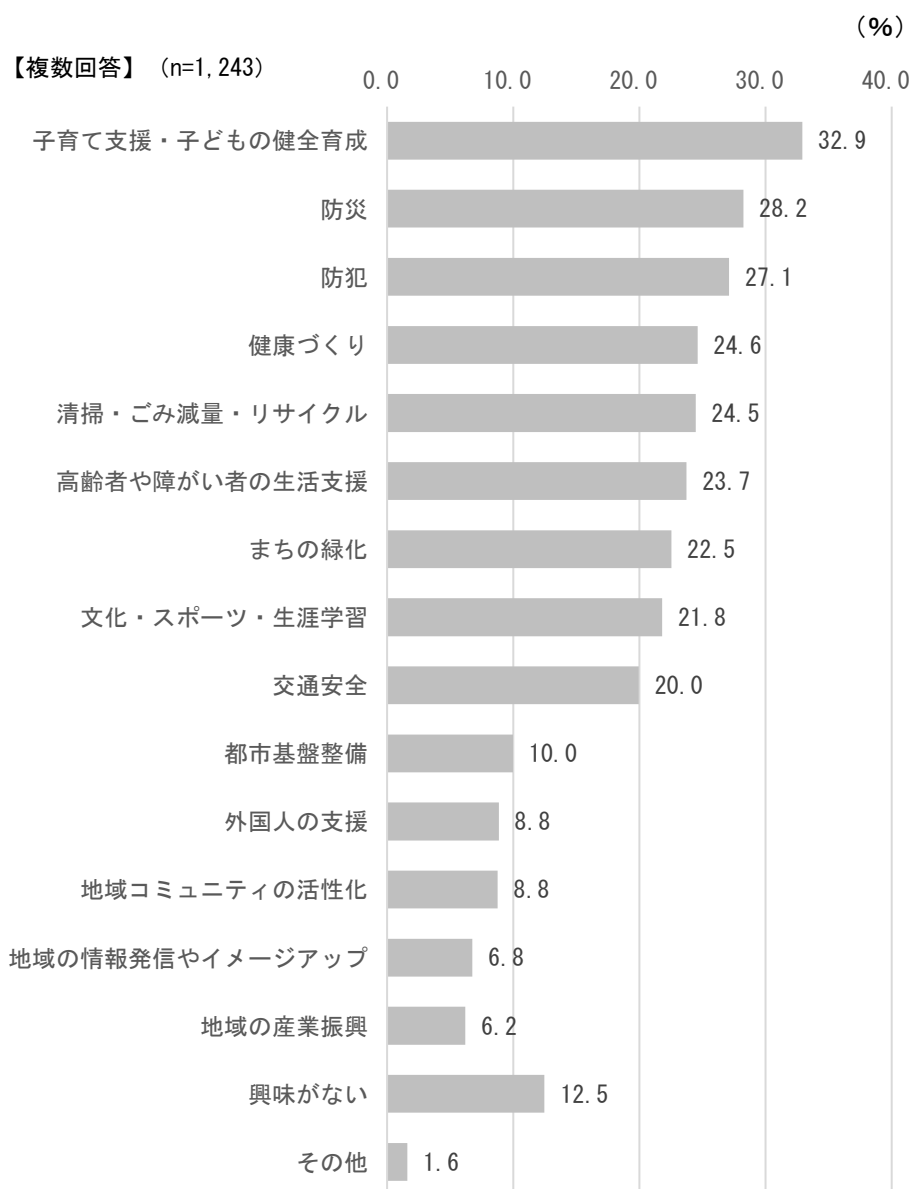
(1) 参加に興味のある市政の分野

問 35 以下の項目のうち、あなたが市政に参加するとしたら、どの分野に興味がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- ・参加に興味のある市政の分野については、「子育て支援・子どもの健全育成」(32.9%)が最も高く、次いで「防災」(28.2%)、「防犯」(27.1%)となっています。

図表 85 参加に興味のある市政の分野（全体）



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、女性は男性に比べ、「子育て支援・子どもの健全育成」や「高齢者や障がい者の生活支援」が5.0ポイント以上高くなっています。一方で、男性は女性に比べ、「文化・スポーツ・生涯学習」、「防災」、「交通安全」、「都市基盤整備」で5.0ポイント以上高くなっています。
- ・年齢別にみると、30歳代、40歳代で「子育て支援・子どもの健全育成」が、70歳以上は「高齢者や障がい者の生活支援」や「清掃・ごみ減量・リサイクル」が高くなっています。

図表 86 参加に興味のある市政の分野(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		子育て支援・子どもの健全育成	高齢者や障がい者の生活支援	外国人の支援	防災	防犯	交通安全	清掃・ごみ減量・リサイクル	まちの緑化	文化・スポーツ・生涯学習	地域の産業振興	都市基盤整備	地域の情報発信やイメージアップ	地域コミュニティの活性化	健康づくり	興味がない	その他
	全体 (1, 243)	32.9	23.7	8.8	28.2	27.1	20.0	24.5	22.5	21.8	6.2	10.0	6.8	8.8	24.6	12.5	1.6
性別	男性 (547)	27.8	20.7	7.5	32.0	28.7	23.0	24.1	20.8	27.4	8.0	13.2	6.6	9.3	21.8	13.7	1.3
	女性 (671)	37.4	25.9	10.1	25.0	25.5	16.7	24.7	23.1	17.1	4.5	7.2	6.9	7.9	26.7	11.0	1.8
	その他 (2)	100.0	100.0	50.0	100.0	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
年齢別	18～19 歳 (21)	38.1	19.0	19.0	28.6	33.3	23.8	28.6	38.1	23.8	19.0	23.8	9.5	14.3	28.6	4.8	0.0
	20～29 歳 (109)	44.0	17.4	5.5	27.5	26.6	19.3	21.1	19.3	17.4	5.5	11.0	4.6	3.7	20.2	17.4	0.9
	30～39 歳 (171)	65.5	16.4	11.7	25.1	21.1	18.1	17.5	19.3	22.8	7.0	12.9	8.8	11.1	19.9	7.0	0.6
	40～49 歳 (257)	50.6	17.5	15.6	28.8	30.4	24.9	23.0	20.2	27.6	7.0	10.1	7.4	8.6	17.1	11.7	1.6
	50～59 歳 (265)	16.2	24.5	6.0	29.1	27.2	17.4	21.9	23.0	23.8	4.9	9.1	7.5	6.4	28.7	17.0	1.9
	60～69 歳 (185)	17.3	27.6	7.6	27.0	23.8	19.5	22.7	21.6	18.4	7.0	8.6	6.5	9.2	27.6	14.1	1.6
	70 歳以上 (226)	14.2	35.4	4.0	30.5	30.1	19.5	37.6	28.8	16.4	4.4	8.4	4.9	11.9	32.3	8.8	2.7
居住地区別	下戸田 1 地区 (131)	29.8	24.4	9.2	30.5	30.5	19.1	24.4	20.6	16.8	5.3	4.6	6.9	9.9	22.1	17.6	0.8
	下戸田 2 地区 (219)	32.9	26.5	8.7	26.5	25.6	18.7	23.7	25.6	28.3	5.5	11.0	5.0	4.6	19.6	6.8	0.9
	上戸田 1 地区 (138)	31.9	22.5	11.6	28.3	30.4	21.7	21.7	19.6	21.0	5.8	8.7	7.2	10.9	29.7	15.2	1.4
	上戸田 2 地区 (190)	32.1	24.2	10.5	27.9	22.1	17.4	23.7	23.2	26.8	5.3	13.2	8.4	9.5	30.5	8.9	1.1
	新曽地区 (279)	31.5	19.7	8.2	27.2	27.6	16.1	23.3	20.1	23.3	7.2	11.5	5.7	9.0	25.8	14.7	1.8
	笹目地区 (176)	38.6	28.4	8.0	27.8	31.3	27.3	29.0	25.0	16.5	8.5	9.7	9.7	14.8	21.6	14.8	2.3
	美女木地区 (105)	34.3	20.0	5.7	32.4	22.9	23.8	26.7	23.8	12.4	4.8	6.7	4.8	1.9	22.9	10.5	3.8

9. SDGsの取り組みについて

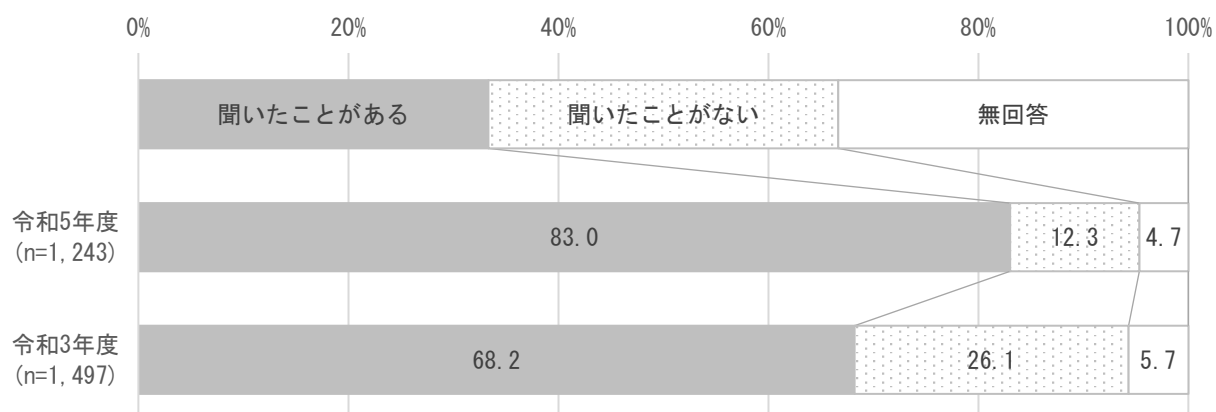
(1)「SDGs」の認知度

問36 あなたは、「SDGs」という言葉を聞いたことがありますか？（○は1つ）

【全体の回答傾向】

- ・SDGsについては、「聞いたことがある」が83.0%に上り、令和3年度調査から14.8ポイント増加しており、言葉の浸透が伺えます。

図表 87 「SDGs」の認知度（全体）



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、「聞いたことがある」は、30 歳代から年齢が上がるにつれ低くなり、70 歳以上では 56.6%に留まっています。
- ・居住地区別にみると、「聞いたことがある」は、「下戸田 1 地区」、「笹目地区」で 70%台であるのに対し、他の地区は 80%以上となっています。

図表 88 「SDGs」の認知度（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		聞いたことがある	聞いたことがない	無回答
	全体 (1,243)	83.0	12.3	4.7
性別	男性 (547)	84.8	11.3	3.8
	女性 (671)	82.3	12.7	5.1
	その他 (2)	100.0	0.0	0.0
年齢別	18～19 歳 (21)	95.2	4.8	0.0
	20～29 歳 (109)	91.7	7.3	0.9
	30～39 歳 (171)	94.2	3.5	2.3
	40～49 歳 (257)	90.3	6.6	3.1
	50～59 歳 (265)	88.7	8.3	3.0
	60～69 歳 (185)	81.6	16.2	2.2
	70 歳以上 (226)	56.6	29.2	14.2
居住地区別	下戸田 1 地区 (131)	77.9	13.7	8.4
	下戸田 2 地区 (219)	82.2	11.0	6.8
	上戸田 1 地区 (138)	88.4	8.0	3.6
	上戸田 2 地区 (190)	84.7	13.7	1.6
	新曽地区 (279)	86.4	9.7	3.9
	笹目地区 (176)	77.3	18.8	4.0
	美女木地区 (105)	81.9	12.4	5.7

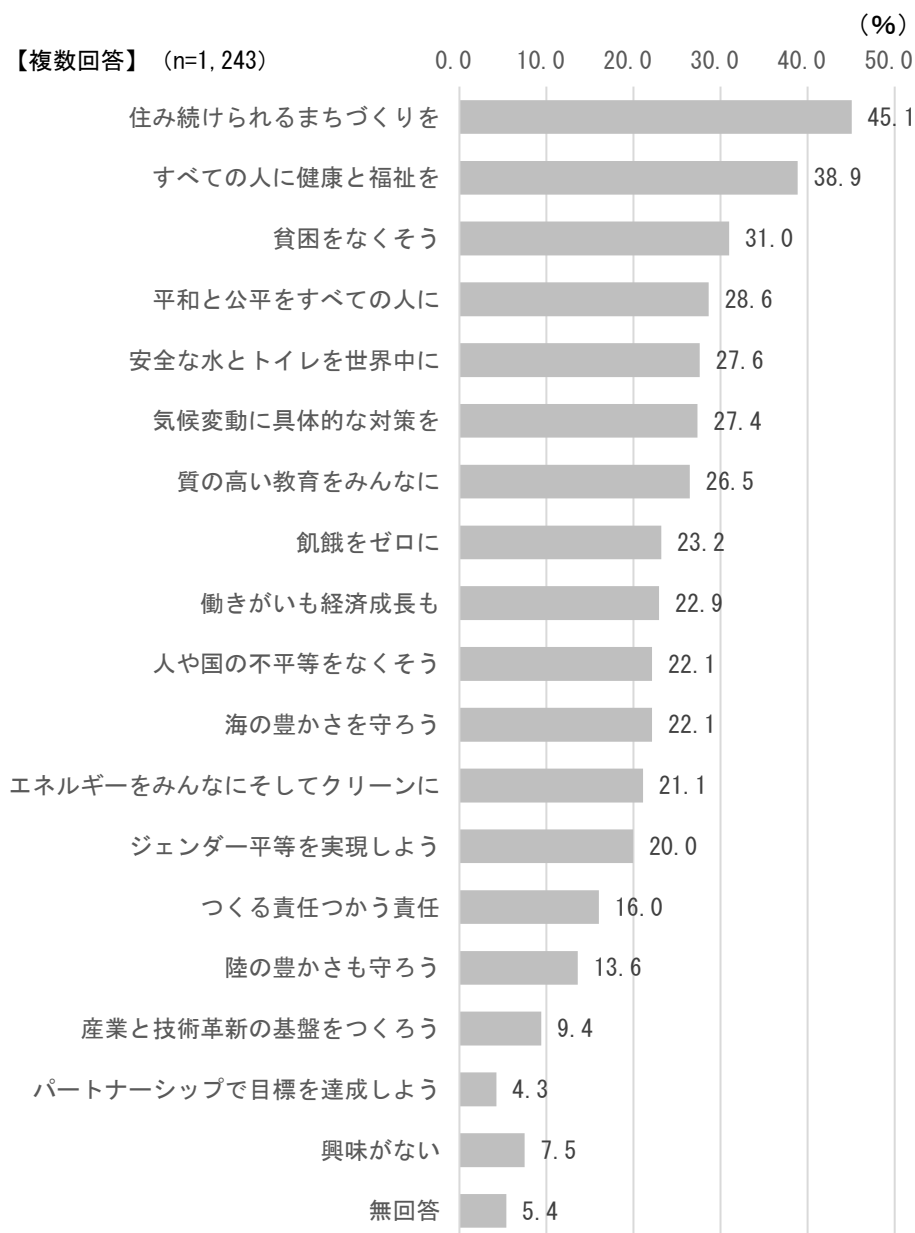
(2) SDGsで興味のある目標

問 37 以下の項目のうち、あなたがSDGsに取り組むとしたら、どの目標に興味がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- ・SDGsで興味のある目標については、「住み続けられるまちづくりを」(45.1%)が最も高く、次いで「すべての人に健康と福祉を」(38.9%)、「貧困をなくそう」(31.0%)となっています。

図表 89 SDGsで興味のある目標（全体）



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は女性に比べて「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」や「産業と技術革新の基盤をつくろう」が高く、女性は男性に比べ、「ジェンダー平等を実現しよう」や「飢餓をゼロに」、「住み続けられるまちづくりを」などが高くなっています。
- ・年齢別では、「飢餓をゼロに」、「質の高い教育をみんなに」、「働きがいも経済成長も」、「人や国の不平等をなくそう」、「住み続けられるまちづくりを」、「海の豊かさを守ろう」、「平和と公平をすべての人に」は10歳代が最も高くなっています。
- ・居住地区別にみると、全地区で「住み続けられるまちづくりを」が40%を超え、最も高くなっています。また、「すべての人に健康と福祉を」は「上戸田1地区」、「上戸田2地区」、「美女木地区」で高くなっています。

図表 90-1 SDGsで興味のある目標（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任つかう責任
	全体 (1, 243)	31.0	23.2	38.9	26.5	20.0	27.6	21.1	22.9	9.4	22.1	45.1	16.0
性別	男性 (547)	28.7	20.3	35.8	24.5	16.5	25.6	23.4	24.1	12.4	20.7	41.9	15.5
	女性 (671)	33.1	25.6	41.1	28.0	22.8	29.2	18.0	21.9	7.0	23.0	48.1	16.4
	その他 (2)	100.0	100.0	50.0	100.0	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0
年齢別	18～19 歳 (21)	42.9	52.4	38.1	42.9	28.6	28.6	28.6	33.3	14.3	42.9	61.9	19.0
	20～29 歳 (109)	25.7	15.6	33.0	33.9	22.9	33.0	12.8	31.2	7.3	23.9	42.2	12.8
	30～39 歳 (171)	28.7	23.4	42.7	37.4	24.0	29.2	17.5	27.5	11.1	21.1	50.3	15.8
	40～49 歳 (257)	33.1	21.4	36.2	35.8	23.7	26.5	19.1	27.2	11.7	21.0	46.3	16.3
	50～59 歳 (265)	30.9	24.5	41.1	20.0	18.9	25.3	24.5	23.4	12.5	18.5	44.9	20.8
	60～69 歳 (185)	25.9	21.1	38.4	13.5	22.7	27.0	25.9	18.9	4.9	22.2	42.2	12.4
	70 歳以上 (226)	35.0	26.1	39.8	20.8	9.7	27.9	21.7	12.8	6.2	24.8	42.9	14.6
居住地区別	下戸田 1 地区 (131)	35.9	29.8	35.1	25.2	18.3	27.5	21.4	19.1	6.1	24.4	42.0	15.3
	下戸田 2 地区 (219)	27.4	21.5	38.4	25.1	15.5	24.2	22.4	21.5	10.0	22.8	47.0	14.2
	上戸田 1 地区 (138)	30.4	23.2	45.7	26.1	21.0	29.7	18.8	18.8	10.1	20.3	45.7	14.5
	上戸田 2 地区 (190)	28.4	21.6	41.6	32.1	23.7	29.5	23.7	27.4	11.1	20.0	47.9	17.9
	新曽地区 (279)	29.7	20.4	34.1	25.1	19.4	21.5	16.1	21.9	7.9	18.3	42.7	15.4
	笹目地区 (176)	36.9	25.0	39.2	24.4	22.7	36.9	21.6	26.1	11.4	26.7	45.5	18.8
	美女木地区 (105)	29.5	24.8	43.8	28.6	20.0	29.5	28.6	26.7	8.6	26.7	46.7	17.1

図表 90-2 SDGsで興味のある目標（全体・性別・年齢別・居住地区別）（つづき）

		気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公平をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう	興味がない	無回答
	全体 (1,243)	27.4	22.1	13.6	28.6	4.3	7.5	5.4
性別	男性 (547)	25.4	21.2	13.2	26.1	5.5	9.3	5.9
	女性 (671)	28.8	22.8	13.7	30.4	3.1	5.5	4.8
	その他 (2)	50.0	100.0	100.0	50.0	100.0	0.0	0.0
年齢別	18～19 歳 (21)	23.8	42.9	23.8	42.9	4.8	4.8	0.0
	20～29 歳 (109)	19.3	26.6	19.3	25.7	2.8	0.0	1.8
	30～39 歳 (171)	23.4	26.9	17.5	26.3	5.3	0.0	1.2
	40～49 歳 (257)	25.3	19.1	14.4	25.3	5.4	0.0	2.3
	50～59 歳 (265)	29.8	24.2	14.0	27.9	4.9	0.0	4.2
	60～69 歳 (185)	35.1	17.8	8.6	29.7	2.2	0.0	4.9
	70 歳以上 (226)	28.3	19.5	9.7	33.6	3.5	0.0	15.9
居住地区別	下戸田 1 地区 (131)	27.5	22.1	13.0	33.6	5.3	11.5	6.1
	下戸田 2 地区 (219)	25.6	20.1	11.0	25.1	2.3	5.5	5.9
	上戸田 1 地区 (138)	26.1	23.2	12.3	23.9	5.8	4.3	5.8
	上戸田 2 地区 (190)	31.1	25.3	18.9	26.8	4.7	7.4	3.2
	新曽地区 (279)	26.5	18.3	11.5	28.0	3.9	6.1	6.1
	笹目地区 (176)	25.6	23.3	14.8	34.1	4.5	10.2	6.8
	美女木地区 (105)	32.4	27.6	16.2	32.4	4.8	8.6	2.9

10. 戸田市の取り組みについて

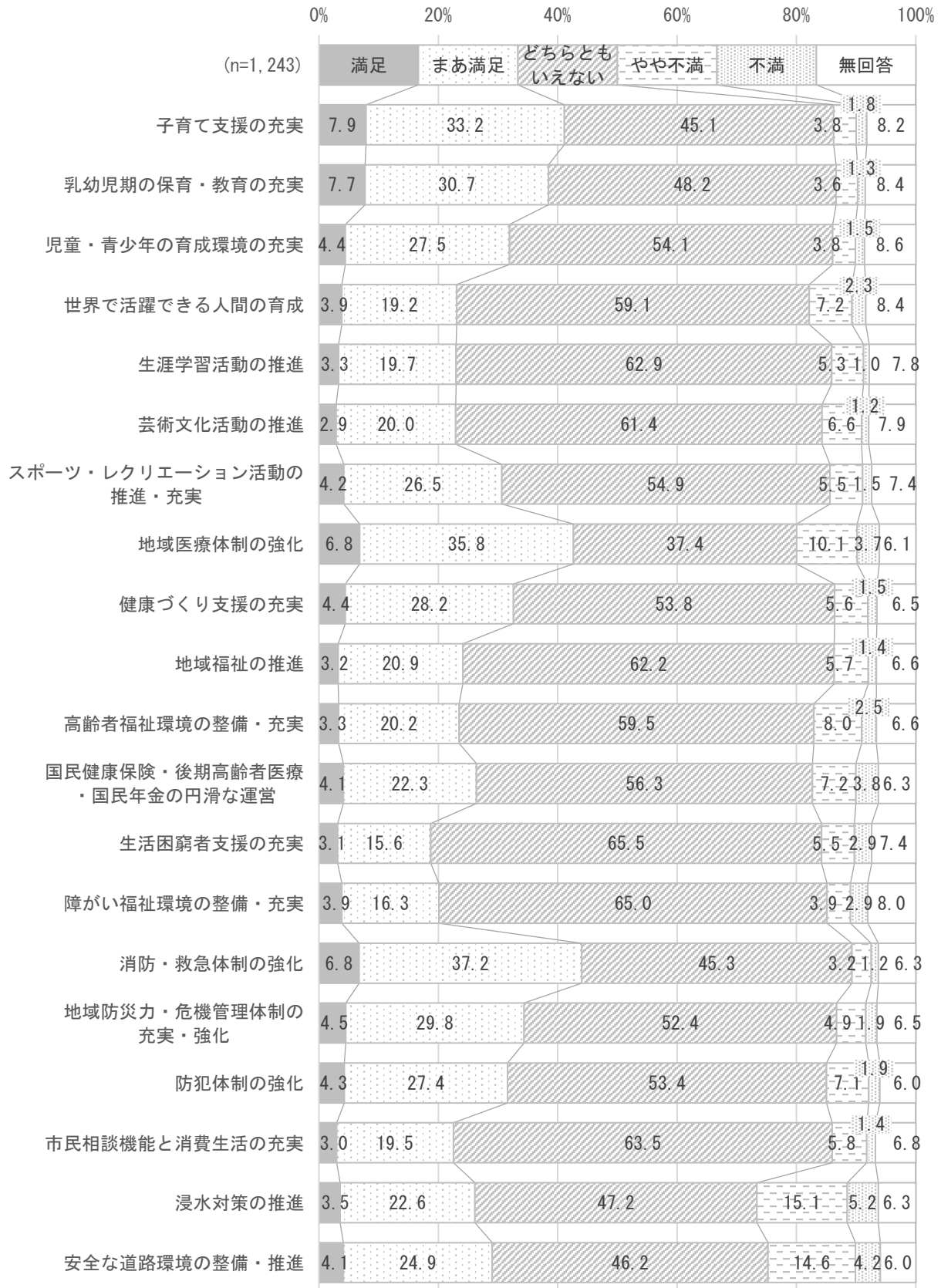
(1) 戸田市の取り組みへの満足度

問 38 次に示す取り組みについて、あなたは、どの程度満足していますか。(項目ごとに○は1つつつ)

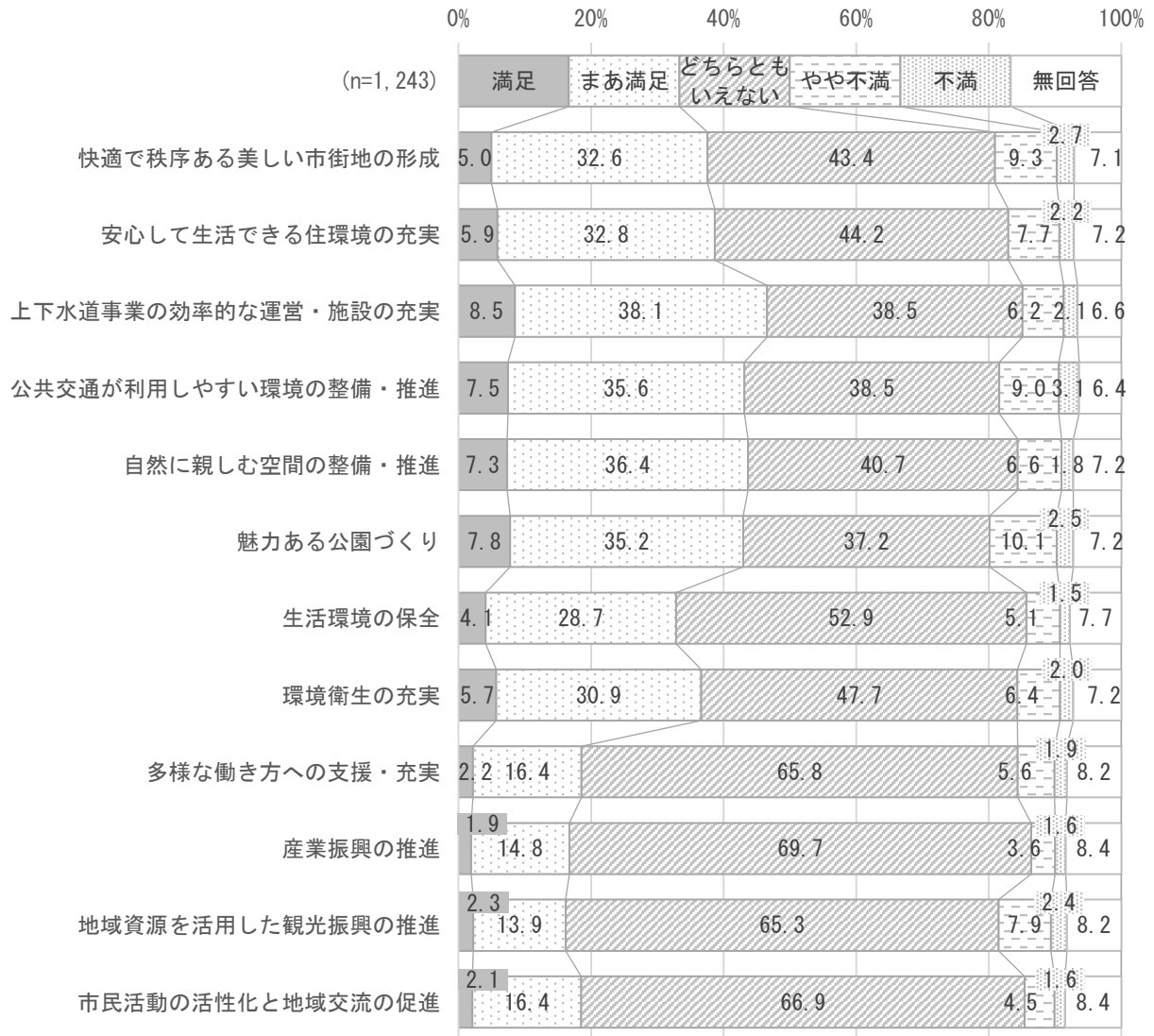
【全体の回答傾向】

- ・傾向としては、子育て支援や医療、防災、都市基盤整備などの項目で満足度が高くなっていますが、芸術・文化、福祉、産業では満足度はやや低くなっています。
- ・「満足」と「まあ満足」を合わせた満足度が最も高いのは、「上下水道事業の効率的な運営・施設の充実」(46.6%)で、次いで「消防・救急体制の強化」(44.0%)、「自然に親しむ空間の整備・推進」(43.7%)となっています。
- ・一方、「不満」と「やや不満」を合わせたものが最も高いのは、「浸水対策の推進」(20.3%)であり、次いで「安全な道路環境の整備・推進」(18.8%)、「地域医療体制の強化」(13.8%)となっています。
- ・満足度が高い一方で不満足度も高く、意見が分かれているのは「地域医療体制の強化」(満足度 42.6% 不満足度 13.8%)、「魅力ある公園づくり」(満足度 43.0% 不満足度 12.6%)、「公共交通が利用しやすい環境の整備・推進」(満足度 43.1% 不満足度 12.1%)となっています。

図表 91-1 戸田市の取り組みへの満足度（全体）



図表 91-2 戸田市の取り組みへの満足度（全体）（つづき）



(2) 今後力を入れて取り組んでほしい取り組み

問 39 あなたは次に示す項目のうち、戸田市のまちづくりにとって、今後何が重要であると思いますか。今後重要であると思うものを5つまで選んでください。(〇は5つ)

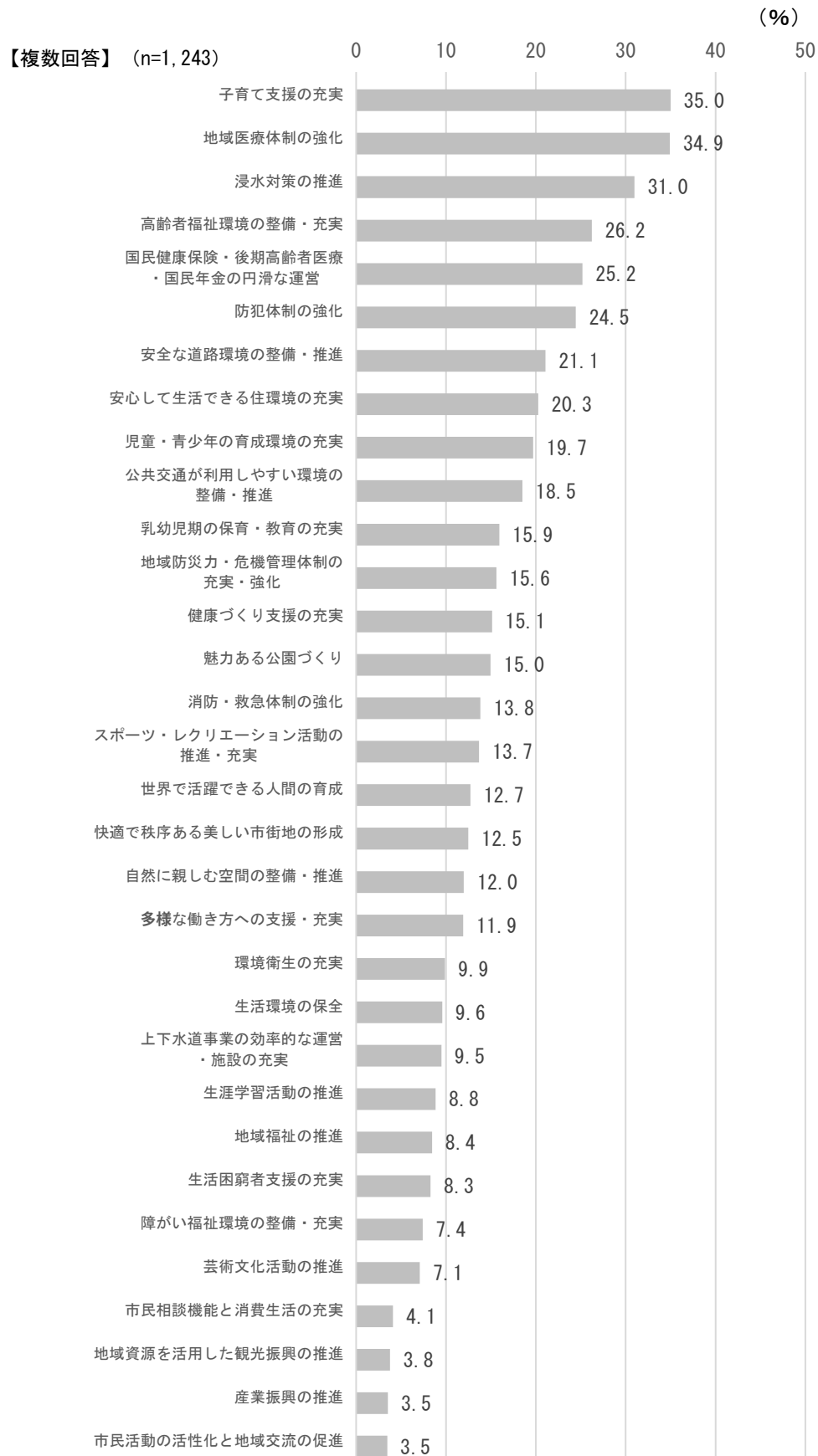
【本設問の留意点】

- ・本設問に回答する際の意識として、「現状に不満があり、今後推進してほしい重要な分野」という意識と、「現状取り組みが進んでいるものの、今後より一層推進してほしい重要な分野」という意識があります。したがって、本設問の結果が一概に各分野の進捗状況を示すものではないことに留意が必要です。

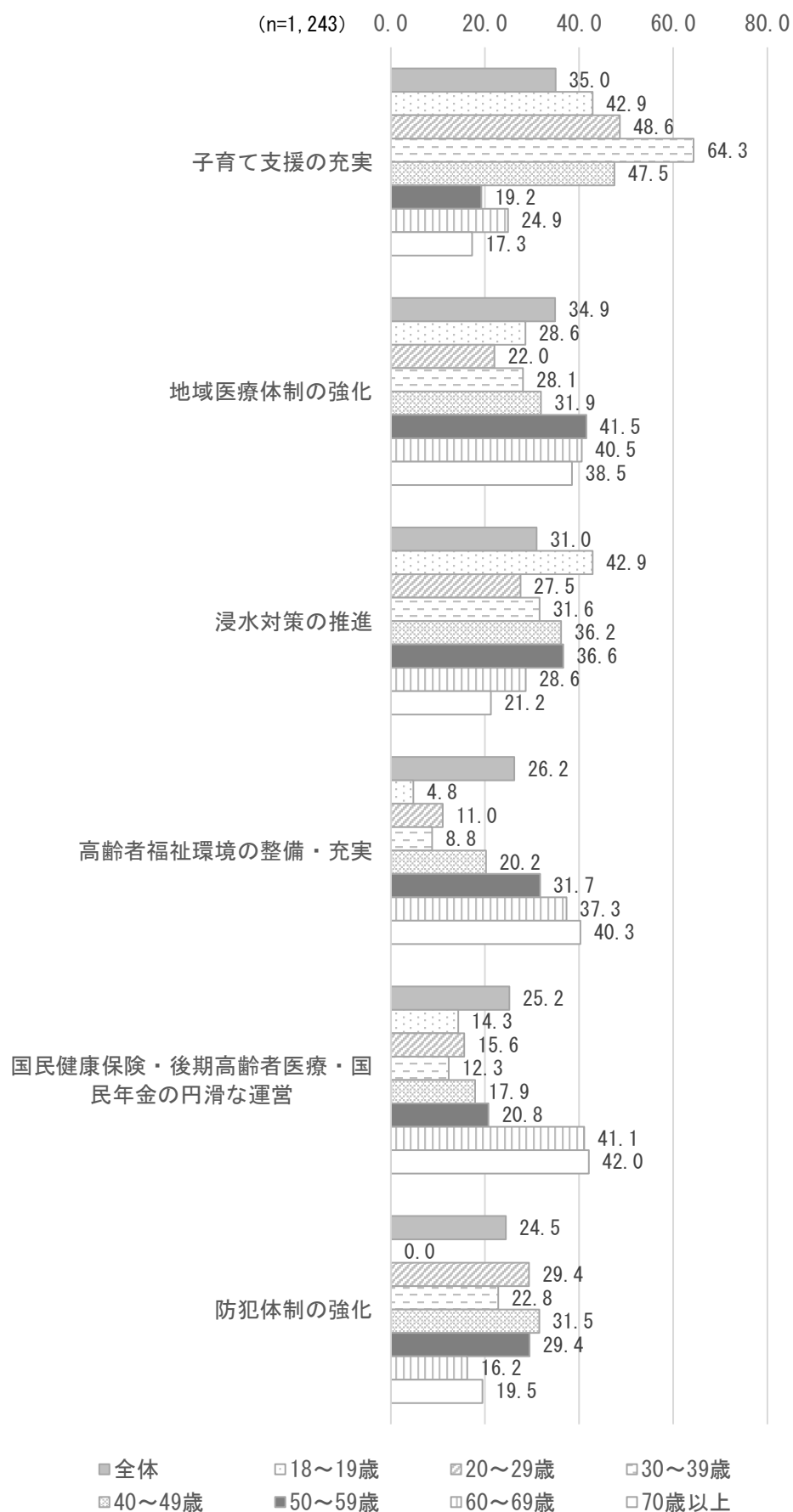
【全体の回答傾向】

- ・今後力を入れて取り組んでほしい取り組み（複数回答）としては、「子育て支援の充実」(35.0%)が最も多く、次いで「地域医療体制の強化」(34.9%)、「浸水対策の推進」(31.0%)「高齢者福祉環境の整備・充実」(26.2%)、「国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金の円滑な運営」(25.2%)、「防犯体制の強化」(24.5%)となっています。

図表 92 今後力を入れて取り組んでほしい取り組み（全体）



図表 93 今後力を入れて取り組んでほしい取り組み【上位6項目】（年齢別）



【今後力を入れて取り組んでほしい取り組み上位6項目の取組（属性別の回答傾向）】

- ・年齢別にみると、「子育て支援の充実」は30歳代が突出して高く、64.3%に上っています。
- ・「地域医療体制の強化」は、50歳以上で高くなっており、50歳代では41.5%、次いで60歳代40.5%となっています。居住地区別では、全地区で30%前後となっています。
- ・「浸水対策の推進」は、10歳代（42.9%）が最も高く、次いで50歳代（36.6%）、40歳代（36.2%）となっています。
- ・「高齢者福祉環境の整備・充実」は、30歳代から年齢が上がるにつれ高くなり、70歳以上では40.3%となっています。居住期間別では、全地区で20%を超えています。
- ・「国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金の円滑な運営」は、30歳代から年齢が上がるにつれ高くなり、70歳以上では42.0%、次いで60歳代は41.1%となっています。
- ・「防犯体制の強化」は、年齢別にみると、40歳代（31.5%）ともっと高く、次いで20歳代、50歳代（いずれも29.4%）となっています。

【その他の属性別の回答傾向】

- ・「乳幼児期の保育・教育の充実」は、年齢別にみると、20 歳代、30 歳代の、いわゆる子育て世代では 30% を超え、30 歳代では 36.3%となっています。
- ・「児童・青少年の育成環境の充実」は、年齢別では 30 歳代、40 歳代で 30%を超えています。
- ・「スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実」は、性別では男性 (19.4%)、年齢別は 10 歳代 (33.3%) が高くなっています。

図表 94-1 今後力を入れて取り組んでほしい取り組み（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		子育て支援の充実	乳幼児期の保育・教育の充実	児童・青少年の育成環境の充実	世界で活躍できる人間の育成	生涯学習活動の推進	芸術文化活動の推進	スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実	地域医療体制の強化	健康づくり支援の充実	地域福祉の推進	高齢者福祉環境の整備・充実	国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金の円滑な運営	生活困窮者支援の充実	障がい福祉環境の整備・充実	消防・救急体制の強化	地域防災力・危機管理体制の充実・強化
	全体 (1, 243)	35.0	15.9	19.7	12.7	8.8	7.1	13.7	34.9	15.1	8.4	26.2	25.2	8.3	7.4	13.8	15.6
性別	男性 (547)	33.1	13.7	17.2	13.9	9.9	7.3	19.4	32.9	16.6	9.1	25.4	24.1	9.1	7.3	14.1	18.5
	女性 (671)	36.8	18.2	21.5	11.9	7.7	6.4	8.9	36.8	14.2	7.7	27.0	25.3	7.5	7.2	13.7	13.3
	その他 (2)	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
年齢別	18～19 歳 (21)	42.9	14.3	14.3	19.0	4.8	4.8	33.3	28.6	9.5	19.0	4.8	14.3	4.8	4.8	14.3	4.8
	20～29 歳 (109)	48.6	32.1	22.9	8.3	6.4	1.8	13.8	22.0	15.6	9.2	11.0	15.6	7.3	10.1	7.3	11.0
	30～39 歳 (171)	64.3	36.3	38.0	14.6	4.7	7.0	15.8	28.1	13.5	4.1	8.8	12.3	5.3	5.8	8.8	17.5
	40～49 歳 (257)	47.5	16.0	30.0	16.7	9.7	10.1	15.6	31.9	16.7	7.4	20.2	17.9	11.3	9.3	14.0	15.2
	50～59 歳 (265)	19.2	7.9	10.2	11.7	11.3	6.4	13.6	41.5	14.7	8.7	31.7	20.8	7.5	9.4	17.0	17.4
	60～69 歳 (185)	24.9	10.8	13.5	10.3	9.7	8.6	12.4	40.5	14.1	8.1	37.3	41.1	7.6	6.5	17.3	17.8
	70 歳以上 (226)	17.3	6.6	8.8	11.5	8.8	5.3	8.0	38.5	16.4	11.1	40.3	42.0	9.7	4.0	14.2	13.7
居住地区別	下戸田 1 地区 (131)	36.6	13.0	20.6	13.0	13.7	4.6	12.2	37.4	13.0	7.6	22.1	36.6	9.2	9.9	14.5	16.8
	下戸田 2 地区 (219)	32.0	15.5	19.2	13.7	9.1	11.0	14.2	33.8	11.4	7.3	26.0	22.8	5.5	4.6	14.2	14.2
	上戸田 1 地区 (138)	34.8	15.2	17.4	15.9	7.2	5.1	14.5	26.1	18.8	10.1	24.6	21.7	8.0	8.0	15.2	17.4
	上戸田 2 地区 (190)	37.9	18.4	17.9	13.2	12.1	8.4	14.2	37.9	22.6	11.1	26.3	22.6	9.5	4.2	14.2	16.8
	新曽地区 (279)	37.3	18.3	21.5	11.5	8.6	9.0	16.5	35.5	16.1	6.5	26.2	22.9	6.1	10.8	11.1	15.8
	笹目地区 (176)	30.7	13.6	21.6	10.8	5.1	4.0	10.2	34.7	9.7	10.8	28.4	30.1	14.2	8.5	15.9	12.5
	美女木地区 (105)	36.2	14.3	17.1	12.4	5.7	2.9	11.4	38.1	14.3	5.7	28.6	21.0	7.6	4.8	14.3	18.1

- ・「安全な道路環境の整備・推進」は、性別は男性（23.4%）、年齢別では20歳代（30.3%）が高くなっています。
- ・「安心して生活できる住環境の充実」は、性別は女性（24.0%）、年齢別は10歳代（28.6%）、20歳代（26.6%）、60歳代（22.2%）、居住地区別では「上戸田2地区」（25.3%）が最も高くなっています。

図表 94-2 今後力を入れて取り組んでほしい取り組み（全体・性別・年齢別・居住地区別）（つづき）

		防犯体制の強化	市民相談機能と消費生活の充実	浸水対策の推進	安全な道路環境の整備・推進	快適で秩序ある美しい市街地の形成	安心して生活できる住環境の充実	上下水道事業の効率的な運営・施設の充実	公共交通が利用しやすい環境の整備・推進	自然に親しむ空間の整備・推進	魅力ある公園づくり	生活環境の保全	環境衛生の充実	多様な働き方への支援・充実	産業振興の推進	地域資源を活用した観光振興の推進	市民活動の活性化と地域交流の促進
	全体 (1,243)	24.5	4.1	31.0	21.1	12.5	20.3	9.5	18.5	12.0	15.0	9.6	9.9	11.9	3.5	3.8	3.5
性別	男性 (547)	26.7	3.7	32.0	23.4	14.1	15.9	9.0	18.6	10.8	15.9	11.9	9.5	9.5	4.8	4.8	3.8
	女性 (671)	22.7	4.6	30.4	19.1	10.6	24.0	10.1	18.2	12.4	14.2	7.7	9.7	14.2	2.4	2.8	3.0
	その他 (2)	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
年齢別	18～19歳 (21)	0.0	4.8	42.9	4.8	9.5	28.6	9.5	19.0	9.5	23.8	19.0	19.0	23.8	0.0	19.0	4.8
	20～29歳 (109)	29.4	8.3	27.5	30.3	16.5	26.6	10.1	22.0	9.2	18.3	14.7	13.8	16.5	3.7	4.6	3.7
	30～39歳 (171)	22.8	5.8	31.6	19.3	13.5	22.2	9.4	19.9	14.0	25.1	7.6	8.8	19.3	5.3	2.9	2.9
	40～49歳 (257)	31.5	3.5	36.2	21.8	10.5	17.9	8.9	15.6	11.3	17.9	8.2	8.9	8.6	3.5	2.3	4.3
	50～59歳 (265)	29.4	3.8	36.6	25.3	14.3	18.9	9.8	22.6	14.7	10.6	10.2	11.7	14.7	4.5	4.5	1.9
	60～69歳 (185)	16.2	4.9	28.6	20.5	10.8	22.2	8.6	18.4	11.9	11.4	9.2	8.1	10.8	2.7	5.4	2.2
	70歳以上 (226)	19.5	0.9	21.2	14.2	11.5	17.3	10.2	15.0	10.2	10.2	8.0	8.8	4.4	2.2	1.8	5.8
居住地区別	下戸田1地区 (131)	20.6	3.1	24.4	14.5	10.7	23.7	6.9	14.5	12.2	16.8	8.4	12.2	15.3	4.6	3.1	3.8
	下戸田2地区 (219)	21.9	5.0	29.2	21.9	15.1	23.3	7.8	16.9	11.9	11.0	11.0	11.0	11.4	1.4	4.1	5.5
	上戸田1地区 (138)	24.6	6.5	37.7	18.8	8.7	13.8	8.7	13.8	13.8	10.9	10.9	6.5	13.0	0.7	6.5	2.9
	上戸田2地区 (190)	24.2	2.6	34.7	22.1	14.2	25.3	10.5	14.2	12.6	16.8	10.0	10.5	8.4	5.8	5.8	2.6
	新曽地区 (279)	28.7	1.8	30.8	21.9	11.1	15.4	12.2	18.3	11.1	16.5	8.6	7.9	12.9	4.3	2.9	2.2
	笹目地区 (176)	24.4	5.1	30.1	21.6	11.4	21.6	6.8	26.1	11.4	16.5	8.0	11.9	14.8	5.1	1.7	4.5
	美女木地区 (105)	23.8	6.7	28.6	25.7	17.1	19.0	12.4	28.6	11.4	17.1	10.5	10.5	6.7	1.9	2.9	2.9

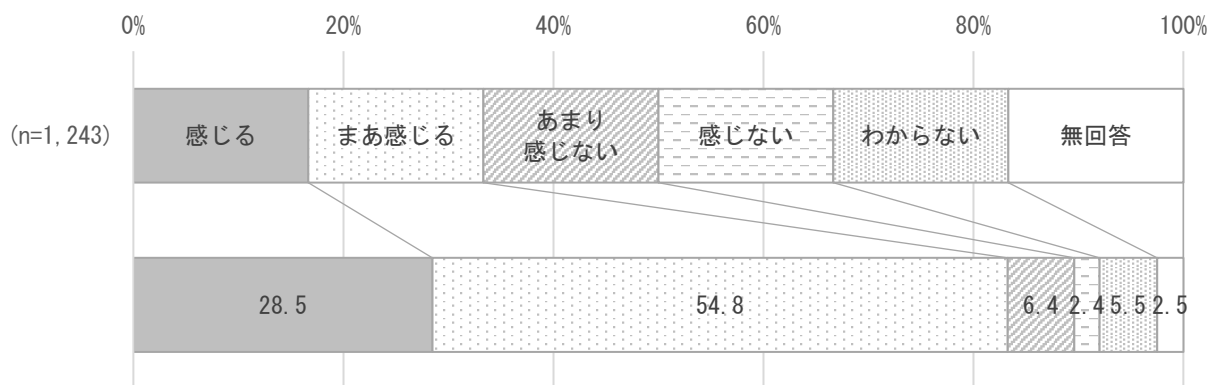
（３）住んでいるのが戸田市でよかった（幸せ）と感じるか

問 40 あなたは、住んでいるのが戸田市でよかった（幸せ）と感じますか。（○は１つ）

【全体の回答傾向】

- ・全体の傾向で見ると、「感じる」(28.5%)、「まあ感じる」(54.8%)を合わせると83.3%に上り、80%以上の方が戸田市に住んでよかった（幸せ）と感じています。

図表 95 戸田市に住んでよかった（幸せ）と感じるか（全体）



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、「感じる」及び「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が、男性は83.0%、女性は83.9%となっており、女性の方が0.9ポイント高くなっています。
- ・年齢別にみると、「感じる」及び「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見は、20歳代から50歳代で80%を超え、中でも30歳代が89.5%と最も高くなっています。
- ・居住地区別にみると、「感じる」及び「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が、「上戸田2地区」の87.9%が最も高くなっており、次いで、「新曽地区」の85.6%となっています。また、美女木地区では、76.2%と最も低くなっています。

図表 96 戸田市に住んでよかった（幸せ）と感じるか（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		感じる	まあ感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
	全体(1,243)	28.5	54.8	6.4	2.4	5.5	2.5
性別	男性(547)	28.7	54.3	7.3	2.6	4.8	2.4
	女性(671)	28.9	55.0	5.7	2.4	5.5	2.5
	その他(2)	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
年齢別	18～19 歳(21)	38.1	38.1	4.8	9.5	4.8	4.8
	20～29 歳(109)	37.6	48.6	4.6	1.8	7.3	0.0
	30～39 歳(171)	31.6	57.9	4.7	2.3	3.5	0.0
	40～49 歳(257)	28.0	57.2	7.0	3.1	3.5	1.2
	50～59 歳(265)	29.8	52.8	7.2	2.6	6.0	1.5
	60～69 歳(185)	13.5	65.9	5.9	1.1	9.7	3.8
	70 歳以上(226)	31.9	48.2	7.5	1.3	4.0	7.1
居住地区別	下戸田 1 地区(131)	24.4	59.5	6.1	2.3	6.9	0.8
	下戸田 2 地区(219)	27.9	56.6	6.4	2.3	4.1	2.7
	上戸田 1 地区(138)	34.1	49.3	5.1	1.4	7.2	2.9
	上戸田 2 地区(190)	22.6	65.3	4.7	3.2	2.1	2.1
	新曽地区(279)	29.0	56.6	5.0	2.5	4.3	2.5
	笹目地区(176)	32.4	44.9	8.5	2.3	8.0	4.0
	美女木地区(105)	30.5	45.7	11.4	1.9	8.6	1.9

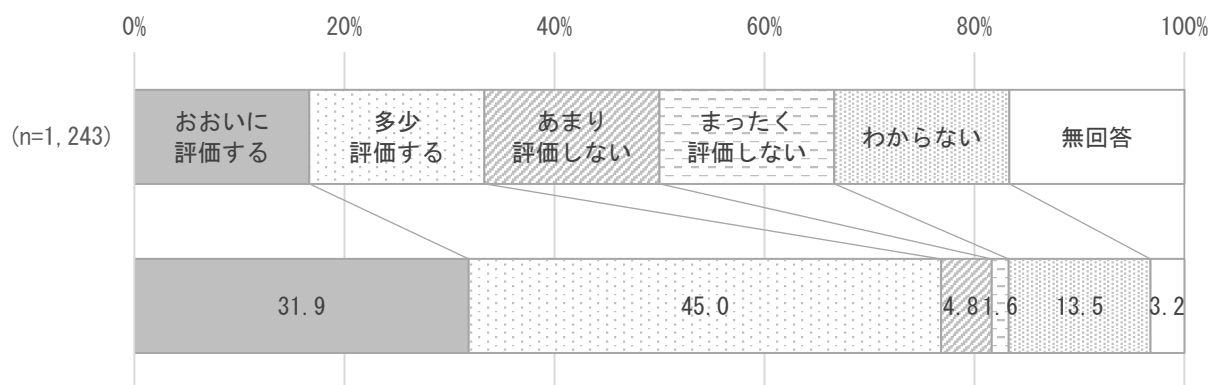
11. 新型コロナウイルス感染症について

問41 あなたは、戸田市が行った新型コロナウイルス感染症関連事業（感染症予防や生活支援策等）全般について評価しますか。（○は1つ）

【全体の回答傾向】

- ・戸田市が行った新型コロナウイルス感染症関連事業（感染症予防や生活支援策等）については、「おおいに評価する」（31.9%）と「多少評価する」（45.0%）を合わせると76.9%に上り、80%近くの方が評価しています。

図表 97 新型コロナウイルス感染症関連事業の評価（全体）



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は女性に比べ、「おおいに評価する」が高く、女性は男性に比べ、「多少評価する」が高くなっています。
- ・年齢別にみると、「おおいに評価する」と「多少評価する」を合わせた肯定的な意見は、10 歳代、70 歳以上が 80%を超えています。一方、20 歳代では 60.5%と最も低くなっています。
- ・居住地区別にみると、「おおいに評価する」と「多少評価する」を合わせた肯定的な意見は、「上戸田 2 地区」、「笹目地区」で 80%を超え、「上戸田 2 地区」は 82.6%と最も高くなっています。

図表 98 新型コロナウイルス感染症関連事業の評価（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		おおいに評価する	多少評価する	あまり評価しない	まったく評価しない	わからない	無回答
	全体 (1, 243)	31.9	45.0	4.8	1.6	13.5	3.2
性別	男性 (547)	34.0	44.4	5.1	1.8	12.2	2.4
	女性 (671)	30.6	45.5	4.5	1.0	14.6	3.9
	その他 (2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19 歳 (21)	28.6	52.4	4.8	0.0	14.3	0.0
	20～29 歳 (109)	17.4	43.1	7.3	2.8	29.4	0.0
	30～39 歳 (171)	26.9	51.5	7.0	0.0	13.5	1.2
	40～49 歳 (257)	28.8	49.4	4.3	3.5	12.8	1.2
	50～59 歳 (265)	30.9	46.0	6.0	1.5	13.2	2.3
	60～69 歳 (185)	32.4	46.5	3.8	1.1	11.9	4.3
	70 歳以上 (226)	47.3	33.6	1.8	0.4	8.0	8.8
居住地区別	下戸田 1 地区 (131)	26.7	48.1	5.3	0.8	14.5	4.6
	下戸田 2 地区 (219)	27.4	49.3	3.2	1.4	14.6	4.1
	上戸田 1 地区 (138)	29.0	43.5	5.8	2.9	15.9	2.9
	上戸田 2 地区 (190)	30.5	52.1	2.6	1.6	10.5	2.6
	新曽地区 (279)	33.3	43.0	5.4	0.7	15.4	2.2
	笹目地区 (176)	39.8	40.9	5.1	1.1	9.1	4.0
	美女木地区 (105)	38.1	33.3	7.6	2.9	15.2	2.9

Ⅲ. 自由意見

このアンケートには、たくさんのご意見が寄せられました。

1. 保健・医療・福祉
■子育て支援
子育て支援、妊娠にもう少し支援があるといいです。前市町村では妊婦さんにタクシー券1万円を（配布）補助金がありました。病院への通院など大変助かりました。出産にも色々とお金がかかるため、妊婦さんにも支援があると嬉しいと思います。
産後全然寝れずにワンオペ育児をしていてとても辛かった。母子で宿泊できて母子共にケアしてくれる施設があったらいいとすごく思いました。
保育園の一時保育の予約がとれなくて困っている。午後未就学児遊べる施設がない。給食費の助成は期間限定的ではあるが助かっている。
保育所の利用が18:30まで（延長料金が発生しない時間）になると嬉しいです。他の自治体は18:30までのところが多く、都内勤務だと定時まで業務をしていると18:00に間に合うのが困難で、時短勤務にせざるを得ないためです。（「延長」となると、子どもの心情がやや心配なため、できるだけ時間内にお迎えに行きたいという思いです。）
美女木近辺施設も保育園も何もかもなさすぎて絶望しています。戸田駅周辺、戸田公園駅周辺ばかり充実していて行くにも遠くとても不便。車ないのでとてもじゃないけど利用出来ない。酷すぎる。正直持ち家がなかったら引越したい。
現在小学生の子供を育てている母親です。20代～40代の子育て世代の声を聞き、反映して頂ければと思います。保育園は充実していると思いますが、保育園卒園後の小学生を受け入れる学童保育の拡大をお願いします。保育園から学童まで、預かり場所が増えると私達のような共働きの親は子供を預け、安心して働けます。今よりもっと安心して子育て出来る市になると若い世代が増え、戸田市の発展に繋がると思います。お願いします。
コロナ禍において、子どもたちにパソコンを貸して下さったり、オンライン授業に力を入れて下さったりと、とても感謝しています。子どもの医療費について、15才まで助成していただいています。15～18才の高校生に関しても収入によってでも構いません、助成していける支援があると、持病がある子どもたちが通院をためらわず健康維持がしていけるのではないかと考えます。とても住みやすい市です！
東京都のように、二人目の子供の保育料を無料にする、またはそれ以上の思い切ったことをやってほしい。
子育て支援において「保育料2人目からの無償化」、「こども医療費助成制度を通院も含めて18歳まで対象」を実現していただきたいです。
戸田市でも“こども誰でも通園制度”を実施してくれたらと思います。また、“3キュー子育てチケット”以外にも子ども3人以上の多子世帯は何か、子ども預かり制度や援助があれば嬉しいです。
戸田市でも空き家が目立ってきました。現在、土地代や住宅費が高く、子育て世代は十分な広さの住宅が確保できません。空き家を整備して、望んだように住宅が行き渡るような環境整備、システム整備をお願いします。こども誰でも通園制度を実施してくれたらと思います。
子育て支援、公園などの整備、道路の整備、防災防犯に力を入れて欲しい

■子育て支援（つづき）
こども医療費受給資格を高校生まで拡充してもらいたいです。また、大学の学費を借りられる奨学金を市でも準備してもらえると子どもたちが進学しやすくなると思います。医学部に進学したい子の為にも世帯収入に関わらず貸していただけると助かります。
医療費を高校生まで負担なし
子どもが遊べる場所をもう少しほしい。ボール遊びのできる場所を増やしてほしい。子供医療費を18歳までに延長してほしい。児童手当の補充。
子ども医療費（外来）の18歳まで無償化を実現して頂きたいです。
子育て支援に力を入れているというのが世帯収入で減額支給されるのは納得いかない。お金の使い道は様々。
これからこどもをつくるにあたり、このまま戸田市で産もうか迷っています。そのことを知人に話したら、戸田市って子育て支援が充実している方じゃない？と言われ、他の市に住んでいる方からそのような印象があるようなので、これからも子育てには力を入れてほしいと思います。少子化が進む中で、戸田は進まなければ良いなと考えています。
乳幼児・児童に力を入れているように見受けられて良いと思います。しかし、子育てで実際にお金がかかるのは生徒や学生だと思うので、そこのところもお考えいただきかつお力をいただけると幸いです。
私は、妹の子を育てています。甥っ子です。6才です。子どもの母は病死していて、父はいません。両親いないので、支援があるかと思っていたら、何もないです。戸田市って色々な支援がありますが、子どもの両親がいない家庭には不足を感じています。未成年後見人への支援をもう少し考えてほしいです大変です。よろしくお願いします。
生活に困っている人を助けてあげてほしい。ひとり親になれていない実質ひとり親の人達を助けて上げてください。困っている人にもっと耳を傾けてほしいです。
職を辞した後は、ヤングケアラー支援としてできることをやりたいと考える。家事支援とか、見守りとか、どこに行けば応募できるのか知りたい。ひとり親のご家庭の支援とか、負担を軽減して上げることができたらと思う。
子供の多い自治体だと思いますので、子育て支援（貧困家庭）を進めてもらいたいと思います。最近、戸田市だけではありませんが、治安が悪くなっていると感じられますので、防犯対策を進めていってほしいと思います。
戸田市は若者の街だそうでまじめに働き結婚してたくさん子供を産み育ててほしいです！未来は必ず少子化も減り市民の皆さんの老後も健康と豊かな暮らしでありたいと願っております。
子育て支援に力を入れ今後若い人たちが未来を作って行けるようにしてほしい
未来の財産である子どもたちが幸せに暮らせる戸田市にしてください。
こどもが産まれる時に戸田市を選んで引越してきました。どうか未来ある子どもたちが豊かに成長できる市のままでありますように。
戸田市は若くて活気ある世代が多いと感じることが多いので、この力を地域や防災などに役立てたいと日々思っています。私個人ももう少し活躍できるよう、ボランティアや市民活動に協力していきたいです。子ども2人を育てていますが、ありがたいサービスが充実しており、仕事があっても働きやすい環境です。ありがとうございます。

■子育て支援（つづき）
少子化対策に力を入れてください
老人より若者に資金を使っていただきたい
■保健・医療
带状疱疹ワクチン助成してほしい。早めに。
带状疱疹ワクチンの助成を一日も早く導入してほしい
私の近所だけかもしれないですが小児科が少ないと思います
24hours available clinic for kids. (翻訳) 24 時間対応のキッズクリニック
以前高熱が出たので病院へ連絡したところ、高熱だからという理由で断られました。もう少し病院が増えたらいいなと思いました。
夜間、祝休日の医療体制の整備 子どものけいれんで戸田市内の病院に行こうとしたら、断られたときがある。戸田医療センターをもっと整備してほしい。子育てのために安心して生活できるようにすることを望みます。働く親に子どもの預け先を増やして欲しいです。
コロナワクチン発送早く助かります
■高齢者福祉
我家は夫婦二人暮らしなので老後、特に終末に関して不安があります。横須賀市のように行政で一人暮らし老人の終末を相談できる窓口や体制があると安心して住み続けることができます。是非設置のほどよろしくお願い致します。
高齢者用賃貸住宅の整備
市営の高齢者施設が少ないように思います。高齢者の病院への交通手段も難しいです。
特にありませんが、個人的には、この先住むところがなくなりそうで不安です。60 才を過ぎ、市営住宅に住んでいますが、私が三世代目のため、二世代目がいなくなると出ていかななくてはいけないため、10 万弱の年金では借りられる家がないため。
駅の駐輪場で高齢者の設置場所を確保してほしい 指定の場所は体力ないので出し入れに時間がかかる
高齢化に伴い、バリアフリーが多く取り入れた場所が多くなると良いと思うし、高齢者が働けるところが増えたら。わがままなお年寄りも多くなると思いますが、住みやすいまちになれば良いと思っています。
高齢者が老老介護の生活が目立ちます。安く入れる施設があまりなく、自宅で居るしかない。それと、家賃が高く、生活は大変。戸田市では、ある病院が市民病院みたいにふるまっていますが、本当にがっかりすることばかり。戸田市民病院がないのが悲しいです。
高齢者福祉の充実①有料老人ホームの入居者へ補助金を②日常買物の交通手段。大型スーパー（衣類など）
障害児、高齢者福祉について、壁が多すぎて手伝うことが難しいと思う。この方達が、本当にやって欲しいこと、困っていることをちゃんと聞き、お互いに楽しく過ごせるような戸田市になると良いと思う。相談窓口や情報発信をもっとアピールして、みんなが常に利用できる、みんなが知っている世界になるように願っている。大変だと思いますが、どうか対策をお願いいたします！
高齢者の公租公課の負担感が大きい！
子供に対しての支援が多すぎると思う。年金をもらえるのか不安な毎日を送っている。
高齢化対策をしっかりしてほしい。

■高齢者福祉（つづき）
これからどんどん増える高齢者が住みやすい環境をつくってもらいたい。
最近、物価が高いので、物価（ガス電気など）を3万円～5万円ではなく、もう少し多くお金を市で支給していただきたい。障害福祉、高齢者福祉の支給金を充実してほしい。川の中をもう少しなるべく綺麗にしてもらいたい。
今現在が生活大変なのに、未来なんて見えません。今子どもが少ないからと、子どもたちに非税金者ばかりにお金を落としても、この先子どもが増えるのでしょうか？確かにお年寄りが多いけれど、年金者の人にもお金を出してほしいものですね。私は2か月7万です。その中から国に何も助けてもらっていないのに、介護保険は1万～取られています。年間6万以上も取られて何も戸田市からも助けてもらっていない。風呂屋の割引なのか、それも友達から聞きました。もう8年過ぎましたが。すごく損をしたような。戸田市には結婚前（16才の）から住んでいたのに、がっかりです。50年近くは住んでいます。少しは改善をお願いします。
77才になってもいまだに仕事を2カ所行ってます。年金はないため2カ所行って生活しています。家賃を払って税金を払い、毎日不安があります。食事をとるのにも何でも高いので考えてます。毎日健康に気を付けて生活しています。先は不安だけが残る。
子育て世代には住みやすそうだが、高齢者福祉について充実しているのか実態が見えないので、将来が不安である。
水道料が他市よりも安いこと、道路などが整備されていることなど、戸田市の良い所はたくさんあると思います。今後、高齢者になる身としては、やはり福祉の一層の充実（現状もあまり良くわかってはいませんが）を望みます。強盗事件も多いので、防犯面も心配です。よろしくお願いします。
もうすぐケアホームに入ります。5年ほど主人を介護してなくなって2年になります。いろいろお世話になりました。最後のほうは記入ができません、すみません。
2022年度戸田市人口ピラミッドを見ると、40歳代が1番厚い層となっていますが、その割には現段階では、介護保険と国民健康保険料が高いと親世代が言っています。
戸田公園の整備はどうなっているのか知りたい。高齢者や子育て世代への支援は、比較的充実していると思ってしまう。中途半端な年齢、収入の人への支援が見当たらないと思っている。高齢者施設で暮らす生活保護の方々の援助、ご家族についてしっかり把握してほしい。弱者であることはわたし理解しています。
①今は市民の平均年齢が若く、財政に余裕があると思う。将来の高齢化に向けて貯金してほしい。②生活保護を受けるべきでない方がうまく受けているように見える。難しいとは思いますが、本当に受けるべき人なのか、厳しく見直してほしい。③この意識調査の用紙が厚いので、もっと薄い用紙にすれば紙代と郵送代がもっと節約できるのでは。
高齢化社会の中、そのあたりの対策を是非お願いします
高齢者になっても安心して暮らせる街になればよいと思ってます。
■障がい福祉
小・中の支援学校を戸田市にも作ってほしいです！！よろしくお願いします。
障がい者雇用支援やグループホーム等、もっと充実させてほしい

■障がい福祉（つづき）
障害のある子供がいます。今現在の小学校に支援級がありません。なので兄弟で別々の小学校に通学です。できれば小学校は兄弟一緒がいいです。兄弟児が小学校を選択することができたらより助かります。
障がい者の施設が他市に比べて少ない。グループホームや入所施設を作らないと、お見かけする障害のある方達は、今後みなさんどうなるのでしょうか？介護者を増やす教育、障害教育をして、その成果を見せてほしい。
障害がある人への習い事みたいなものが少なく感じます。そういった人へのスポーツやイベント等あったらありがたいです。また、そういった数少ない活動も専門の方に聞いてやっと出会うことができるので、特別聞かなくてもこういったところでこういったことができますとわかると良いと思います。学校を卒業してしまうとストレス発散で身体を動かす等がとても難しいです。せっかくスポセンがあるので、そういった活動ができたら嬉しく思います。
健常者と障がい者がもっと交流できることを望みます。障がい者のショートステイができる場所をもっと作ってほしいです。
市内バスの運転手の対応がなっていないと感じる人がいる。街中には障がい者に対しての理解が少ない人が多くいるので、知ってもらえる機会を作ってもらいたい。そうすれば変な目で見える人も減り、みな平等な生活を送ることができる。助け合える地域であってほしい。
2. 学校教育・生涯学習
■学校教育
高校や大学を増やしてもいいと思います。
小学校教育のデジタル化がスピーディーで良い。市長が若くて頑張っている
戸田市に住んで40年以上。住みやすく住んで良かったと幸せな日々。未来のある子どもたちが楽しく遊べる場、空間の演出を増やしてほしい。知識を得、精神を強く保ち、自分を愛し、人を愛する人間に成長できる戸田っ子を地域全体で育て見守る。子どもの夢を現実化させてあげたい（理想）人は生活の中に癒しを求めていると思います。まちの空間に彩・季節の植物を（特に公園）増やしてほしいと思う。（フラワーセラピー）
小中学校の学区分けについてももう少し考えてほしい。南部にもスポーツセンターのような場所が欲しい。
戸田南小学校の女子トイレをすべて洋式にしてほしい。子供たちは和式に慣れていないので、休み時間はトイレに並んで終わりにになると聞いています。生徒数に対してトイレの数も少なく、和式もあるのは改善すべきかと思います。
オーガニック給食・牛乳を飲む・飲まないの選択制を取り入れてほしい。
「人こそ力なり」。若い世代の転入が続く様な施策に重点を当て続けければ、自ずと善循環が生ずると思う。
児童、青少年の育成に物事の良い悪いを教育すべき。高齢者の歩きやすい歩道にしていきたい。
■生涯学習・文化・スポーツ
生涯学習について、講座とかマンネリ化しているように思えることがあります。同じ利用者が多いからかもしれない。利用率とかたまに広報にでも載せてほしい。
芸術文化に特化した施設を作って欲しい

■生涯学習・文化・スポーツ（つづき）
上戸田図書館のような規模の図書館をあいパルやあいパルの周辺にもほしいです。戸田中学校は特に、ボートの体験を小学校や中学校で体育の授業で取り入れるべき。（戸田はボートの街なのに!!!）
図書館（本館）もう少し照明を明るくしてほしい。図書館の冊数が少ない。川口市はすごいです。バスの本数が減るようですね。ぜひ戸田公園→川口駅行きを復活してほしい。
図書館（他の市の人からすごいねと言われました。よくわかっていなかったなので、知りたいと思いました。）がリニューアルしたり、コンパルや医療センター等、市の施設の特集などを市報などでもっと発信してくださると魅力がもっと良くわかると思います。
夏に行ったボートレース場のイベントは良かった。あの広いスペースを使ってもっとイベントをしてほしい。屋内施設をもっと増やしてほしい。
ボートレース場の有効活用をしてほしい。以前やったイベントが仕事で参加できなかったもので、定期的に行ってほしい。
スケートボードのパークを作してほしい!!是非!戸田公園駅周辺にお店を増やして欲しい。
スポーツセンターの利用料金が高い。
戸田スポーツセンターのことですが、あれだけ大きく立派な施設でありながら、三大トレーニングであるベンチプレス、スクワット、デッドリフトの設備が無いことに不満があります。他のトレーニング施設に行くと必ずあるはずの設備が戸田スポーツセンターには無く残念に思います。ベンチプレス台（4台）、パワーラック（3台）、プラットフォーム（2ヶ所）・・・なんて配備していただけたら本当に嬉しいです。あと、今現在のスポーツセンターのトレーニング室は設備と利用者のバランスが合っておらず、トレーニング室がキャパシティオーバーを起こしていると思います。そこで提案なんですが、現在使われていない旧プール施設を大型トレーニング場にするのはどうでしょうか？もし、旧プール施設の次の予定がなければ是非お願いしたいです。あともう1つ贅沢なんですがトレーニング室にある今現在の設備は、私が子どもの頃からあるたいへん古い物です。あちらの方も出来れば新しい物を追加して頂けたら嬉しいです。
猛暑により、夏に子どもが遊べる場がない。スポーツセンターのプールはいつも混んでいる。安く利用できる大型の市民プールを作ってもらいたい。または体育館を休日も開放するなど。夏休み中、毎日家でテレビゲームばかりだと、子どもたちの心身に悪影響が出るし、親もストレスが溜まります。すぐにでも取り組むべき問題だと思います。何卒よろしくお願いします。
3. 環境と安心・安全
■環境・ごみ・公害
リサイクル活動をもっと手軽にできるような環境がほしい。
外国人の多い道路にゴミが多い
町にゴミが落ちてる
戸田駅近く、スポーツセンター近くに朝の時間、カラスがいて怖いです。ゴミも荒らされており、ゴミ収集場所にしっかりとした対策をしてほしいです。歩行者用の信号がない所が多いので、歩道の整備を進めてほしいです。
衛生センターへの粗大ゴミの持込等について、個人の受付をしていただけたらと思います。

■環境・ごみ・公害（つづき）	
お祭りとかが多く、とても楽しく暮らしています。市役所近くのゴミ捨て場がカラスに荒らされていることが多いので対策をとって欲しい!ゴミステーションの設置や、リサイクル（家電）がしやすくなると嬉しい。	
以前テレビで見た、とあるまちの取組で、細かくごみの分別をしていました。そこまで取り組むのは難しそうだと感じましたが、例えば、ペットボトルのフタ・ラベル外す（プラごみ）など、1コ（少し）ずつ、市全体で今年はこれに取り組みたいということを伝え、その取組をした上で、どう変わったか?を広報や掲示板でお知らせするのも意識が変わり、温暖化対策など繋がっていくのかもしれないと思っています。（一気に変えるのではなく、長い目で）	
決められた日に出さないで、いつも好きなときに出しているゴミ問題。町会費を集めることに文句はないけれど、払ってない人が当たり前でゴミ出ししたり騒いだり、他人の迷惑を考えずに生活しているのが頭に來る。最近多いが、外国人だけれどどこまで日本のマナーを知っているのか疑問。特にアパートに住んでいる人に部屋を貸す際に、もっと規則は徹底して伝えるべきだと思う。違反して出しているゴミをただ黙って集めるだけいるのは良くない。	
ここ数年、カメムシがすごい家に来る。どうにかしてほしい。	
大雨の時、水はけ悪すぎる。汚れた水溜まり、小川が多いため、蚊が多い。	
戸田市は、水はけが悪い場所が多く、そのため蚊や害虫がわいて不衛生であると感じています。車道にも水溜まりができる場所が多くあり、非常に走りにくく、歩行者にも迷惑をかけてしまうので、対策してください。あと、以前から防災無線が聞き取りづらい（道満の近くの地域です）アプリやメールで情報が受け取れる人は良いが、受け取れない人は困ると思います。	
台風や風で砂が家の周りに集まるのでどこかに回収日を設定してほしい。	
戸田の駅前に住んでいますが、喫煙所が移動したことにより駅利用時必ず喫煙所前を通らなければならないです。副流煙を吸わせない環境にしてもらいたい。マンションの駐輪場でも臭います。とても迷惑しています。出かける際乳幼児を連れているので特に気になります。道も舗装されてない。ガタガタ、道が平らじゃないところが多くベビーカーや抱っこ紐で歩く際慎重に歩かないと転びそうです。	
美女木北地区に悪臭を感じるがよくあり、窓を開けていられません。空気汚染なども心配です。調査や報告を期待します。また、美女木北3丁目の水路を整備して道路(歩道)にする計画があったようですが進んでいないように思えます。	
■防犯	
戸田市は、最近たくさん事件などが多く、防犯の強化をお願いしたいです。これからも安全安心して生活できる戸田市であってほしいと思います。	
最近隣の川口市が治安の面で話題ですが、その辺の不安がなくなるような施策をお願いします	
公共施設の落書きが目立つようになってきた。犯罪を増やさないためにも消してほしい。防犯カメラももっと増やしてほしい。	
最近、色々な犯罪、詐欺等が発生しています。発生させないためにも、防犯カメラを多めに設置。お願いしたいです。	
防犯対策を引続き充実して欲しいです(街灯・防犯カメラの設置・夜間巡回など)	
安心して暮らせるまちづくりを戸田市民みんなで作っていかれたらと思ってます。	
街灯増設	

■防犯（つづき）
駅前には明るくていいが少し奥に入るにつれ暗く怖い。買い物も年を取ると行きにくそうで、長く住もうとは思わない。もう少し駅外れの場所もきちんと見てほしいと感じます。
不法滞在外国人の送還と防犯対策
防犯犯罪強化。外国人生活保護廃止。外国人のための予算削減。日本人の住みやすいまちづくり。ゴミステーション
■防災
防災放送聞きづらい
「防災戸田です」ではじまる防災放送が、何を言っているのか聞きづらく、住み始めて以来騒音にしか聞こえない。改善するか、やめてほしい。20分で回答できるような内容ではありませんでした。
防災戸田がまったく聞こえません。スピーカーを設置していただきたいです。公園に防犯カメラと街頭を増設希望。保育料の補助（育休中、育休明け、所得が下がるため）
防災戸田の放送が少し聞こえづらいので、何に気をつければ良いかわからないので、聞こえやすくしてほしい。
防災の放送が反響して内容がわからない。川が汚い（笹目川）。グリーンフォレスト前の空き地（イベントで駐車場になるところ）の水溜まりが酷く、ボウフラがわきそう。
防災戸田の大事なことが全くききとれない。HPでさがしてもなく、ヤフーでみてわかる。戸田第二小横のマンションの隣に物流会社を許した事、大型マンション建設を許したことが、子供世代やお年寄りを住みにくく、危険にさらしていると思います
2年前に県内から転居してきました。小さな公園を含め、たくさんの公園と駅前の清潔感はとても良いと思いました。戸田市の感染予防、支援対策などの取組が早い。「防災とだ」の放送がよく聞き取れない。迷子（大人も）を探してあげたくとも、様子がわからずできないので、改善をお願いしたい。
大雨が降ると大字の方面は水没するので何とかしてほしいです。
自宅の前(早瀬2丁目)→浸水がすごいので、早く対策してほしい。自分の税金をそこに充ててほしい。本当に困ってます。雨が強い時や台風などの時、車が浸水して廃車にもなりました。また、床下浸水もしているのですがいつも台風などの時はひやひやして眠れない時もある。それぐらい深刻なのです。お忙しいとは思いますが、宜しくお願い致します。
昨今の集中型降雨による水害に不安を感じてます。身近の山宮北公園周辺の排水不良など、近未来の水害対策の強化を希望します。
川の越水、道路の冠水被害についての対策が遅いと思います。
荒川の治水。これまでの想定以上に耐えられるよう対策してほしい
荒川の洪水の為に土手整備
大雨で各地で水害が起きていますが、内水氾濫対策の強化をしてほしい。
①荒川が溢れるのがこわいので、浸水対策をしっかりしてほしい。②市役所をもっと機能的に利用できるようにしてほしい。家族の死の際「お悔やみコーナー」だけでは不十分。1回で全部済ませるようにしてもらいたい。
川が多いので大雨が降った時の浸水対策に力を入れて欲しい
水害対策をきちんとしてほしい。

■防災（つづき）
これからの時代において、災害対策、主に水害は身近に起こりえるものとして予期されます。荒川沿いである戸田市においては、この水害に対する安全性に対してどのように対応するかが未来の戸田市に影響を与えてくると思います。具体的な対策をするのはかなり難しいと思いますが、未来に対して重要な点だと思いましたので、記入しました。
台風等による浸水の防止対策を徹底してほしい。
戸田橋下付近の浸水対策を強化してほしい。空気が汚いのだから、せめて道路を整備し、浸水等の水の不安をなくしてもらいたい。戸田橋（川岸3丁目）のきたない道をきれいに整備し、見た目もきれいにしてほしい。戸田橋から自転車で下りてくる辺りをきれいにしてほしい。自転車に乗ったまま下りてくる人を取り留めて、事故のおきないようにしてほしい。
近所に避難場所(水害)の充実
全国的に異常降雨による災害ニュースが増えている昨今。荒川流域の市として、洪水氾濫防止などの水災害対策に国及び流域自治体と連携して積極的に取り組んでほしい。
気候変動により豪雨の被害に遭う可能性が高まっているので、浸水対策をお願いします
不意に来る自然災害が心配。そして自分自身の身構え。
水害対策を万全にし、安心して永住できる町にして欲しい。育児支援により力を入れ、子どもを2人以上産むことに前向きになれるような政策、環境を整えて欲しい。
公園も良いけれど防空壕も必要かと思う。
避難可能な地下施設が欲しい
いいとだメールってなんですか？
転入して浅いのでわからないことが多いが、浸水リスク以外は住むにはいい場所と思っている
■交通安全
自動車、自転車、歩行者が安全に生活できてないので、きちんと整備してほしい。近所の夜の道も安全ではない。人口が増える一方、事故も多く危険な場所が多い。市内の街灯の整備を一日も早くお願いいたします。
現在思うことは車道に作られた自転車通路が狭く通勤時危ない思いをしています。出来れば道幅をあと30cm位広げるか歩道を10cmでも良いので狭くし対応していただけたら嬉しいです。
道路で自転車ゾーンがありますが、朝は大型トラックは半分ラインの内に入り、日中は配達車が停車していて実際無い方が良く思えることがよくあります。（あくまで個人の感想です。）
自転車で車道を走るようになってから、自転車に乗るのがこわくなり、一気に行動範囲が狭くなりました。車道・自転車道の整備をお願いします。
信号がない横断歩道が子供にとって危険なところがある。警察署が戸田にあったら安心。
危険運転の自転車の取り締まり。
歩道を自転車で走る人が多く、危険を感じる。全体的に道路交通法を守らない・知らない人が多いと感じる。ルールを守る人が増える安全なまちづくりに取り組んでももらいたい。
歩道をもっと自転車が通らないようにしてほしいです。ミニパトロールカーは戸田市に来て、すごく好感しました。気軽に声をかけてくれるのもとても良いです。
駅前信号が欲しい

■交通安全（つづき） 現状、自転車帯があっても危険なためか歩道を走行する自転車が多くまた交通ルールを守っていない方もあります。免許保有でない方への交通ルールの周知等も必要と感ずます。鉄道の埼京線は遅延や混雑が多く、戸田橋を渡る手段としてバスの運行などあれば大変助かると思います。防災無線、ききとりやすい放送と市のホームページで放送を行った内容の掲載があればよいと思います。 子どもが多く利用する小学校周辺の信号に歩行者信号をつけてほしいです。中央通り、新曽小（北）、二枚橋交差点など。車の通りが多い上に、信号待ち時間が長いので危ないと感じます。子どもたちが安全に過ごせるよう、戸田市に期待します。 歩道部分が坂になっていて歩きづらい。狭い。お年寄りの人が手押し車は坂でこわいって言っています。 歩道に雨が降ると水溜まりができ、歩きにくいので改善してほしい。防災無線が聞きにくい。意見ではないですが、戸田市は、今まで住んでいた街の中で一番住みやすいです。 笹目川の遊歩道の草がいつもボウボウ。もう少し整備して遊歩道を使つてのイベントなど開いてはどうですか？ 雑草が歩道に生えて歩きづらい。雨の日は濡れる。 草がすごくてベビーカーで通れない歩道があるので草刈りしてほしい 10 年、20 年先を見据え、高齢者の事故対策をしっかり検討してほしい。特に、自転車、車で“高齢者”が起こす加害事故は今後ますます増えると思える。戸田市では、高齢者が子どもを殺す事件が起きないように対策を強化してほしい。週末の暴走族が非常に不快。自称未成年で許されていませんか？東リベをポスターにしていますし、タバコ吸う自転車 2 人乗りの子どもも OK な市は残念。福祉における不明瞭な金の流れはありませんか？町会での募金という名の徴収を止めてください。不法外国人優遇な政策をしないで。（日本国籍を持つ、目指している外国人を除く）☆市長はとてもがんばっていると思う。広報もそこまで質の良さは感じないけど、YouTube とか、応援しています。 中央通りにガードレールを 安心安全なまちづくりをお願いしたいです。道路の整備、排気ガスなど歩いていて気が抜けない毎日になりそうです。景観条例とは？戸田市では本当に活用されているのか？疑問に思います。いくら良い施設が出来ても参加するのに不安です。
4. 産業と労働
■商業 商業施設を増やして更に生活しやすい街にしてほしいです。 ショッピングセンター、医療センター欲しい スーパーを作って欲しい 駅前に 24 時間スーパーを作って欲しい。 戸田市人口増加に伴い商業施設、病院、公共サービスをバランスよく提供してほしい 仕事から帰ってくる時間が 22 時以降なので利用できる店が少なく、どうしても川口の方の店を利用してしまう。夜遅い時間でも利用できる飲食店を増やしてほしいです。 食事やお酒を飲む場が少ない。（職場の人と交流する際集まる場所）駅前に活気がない。 銀行（大手）を増やしてほしい（窓口）。住宅街（喜沢など）に街灯をもっと増やしてほしい。 JR 埼京線駅周辺の開発（大型商業施設の誘致等）。駅周辺に魅力的な施設が少ない。

■商業（つづき）
川岸一丁目住民の買い物のしやすさを検討していただきたい。また物流センターの道路側は段々と大きくなり工事中怖くて反対側へ移動したい。菖蒲橋(川岸会館)の十字路が信号がなく危ないので信号機をつけてほしい。毎朝自転車とトラック、車が安全に走行できるようにしてほしい。
戸田公園駅の周辺の飲食店を含む街づくりに力を入れてほしい
北戸田駅前にもっと飲食店を充実させて欲しい。
北戸田駅周辺にチェーン店等の飲食店を増やしてほしい。交差点に一時停止線等がなく危ない場所がある。
近くに大型店はなく（衣料）不便小さな小売店もない。通販利用では思い通りのものが届かず、下着一枚でも大型店まではバスを利用するしかない。ごみ置き場のメンバーが口をそろえて言うことは他所からルールを守らず出す人がいても逆恨みがこわくて当番の人が処理している。何とかしたい。
我が家は戸田市の外れに居住しており戸田市内へ買い物および公共施設の利用頻度が少なく他市の公共施設等を時折利用している。年齢を重ねると移動が大変になるため市の施設およびショッピングモール的な建物があればその中に市の出先機関等があればいいと思う！
戸田市は、住みやすく安心できる町です。買物をするときも好きな場所がたくさんあるので、色々な場所に行けてラッキーです。
コンビニがひとつの地域に密集しがちでなかなか行き届いてないと思うのでコンビニをつくってほしいです。私が住んでいる美女木三丁目はホームセンターとスーパーはありますがどちらも早い時間に閉まってしまうので仕事終わりに買い足したい時に行けません。コンビニが欲しいです。
戸田市以外からの買い物客等が多く、不便とを感じる事が多い。
■商業全般・就労
アルバイトの賃金を上げてほしい。103万円の壁をなくしてほしい。無料で気軽に球技（特にサッカー）をできる場所が増えてほしい。
5. 都市基盤
■土地区画整理・市街地整備
戸田公園駅東口側の駅前開発
戸田公園東口の再開発。中央病院通りの下水臭の対策。
戸田市は公園公共施設が多く大変住みやすい市だと思います。区画整理を早くお願いします。
マンション建設が多すぎる
新曽第一地区の区画整理が未だ終わらず、公園整備が遅れており、街灯が無い、防犯上問題があると感じている。草も生え放題なので、早急に作業をしてもらいたい。
戸田公園駅東口周辺、戸田駅東口周辺、朝の通勤・通学の歩行者と自転車が入り乱れて、毎日危ないと感じている。2駅の東口周辺の道路整備、再開発によるまちづくりは、本気で取り組んでほしい。今回のアンケートは20年以上戸田市に住んで初めて回答した。今後も続けて、戸田市のより良い発展につなげてほしい。
今以上にマンション等の建設は厳しいと考えます。景観等含め、花火大会も名だけの催し物になり、市民がゆっくり安心した生活を営むことが必要です。

■土地区画整理・市街地整備（つづき）
駅前の開発に注力してほしい。土地の高さに対して、戸田駅・戸田公園駅・北戸田駅いずれも、魅力的な施設がないと感じる。子育てに関しては今のところ概ね満足しているが、市内に公立の普通高校が少ない点が気掛かり。学校や商業施設など、生活に欠かせない施設が、近隣の市にあるものに依存しているように感じている。
きれいなマンション町並みに！してほしい。乱杭のようなまちまちな建物を許可しないでほしい。
大型配送センターとかもってのほか
電柱を地下にお願いします。年金で入れる老人ホームをお願いします。
無電線化を進めてほしい
落ち着いた街づくり
喜沢だと近隣駅が西川口になるので市役所に用事がないと市の中央以西にはほぼ行かず川口市街が基盤になる
最寄り駅である北戸田駅がもう少しにぎやかになってほしいです。
駅前をもう少しなんとかしてほしい。コンビニしかない。
北戸田駅及びその周辺の充実を希望します。戸田・戸田公園に比べ、あまりにも寂しい駅前で残念すぎます。また、工場が多いので夜間は暗く、歩くのに不安を感じます。
■道路整備
自転車に乗りにくい道路を整備してほしい。自転車に乗っている人のマナーが悪い。歩いているとこわい。
道路の段差が多く自転車で走行しづらい。野良猫が多いのをどうにかしてほしい。犬の散歩で自宅前の電柱に排泄が続くため電柱を撤去するか飼い主への指導罰則を厳しくしてほしい。
散歩をしやすくしてほしいです。
犬の散歩をしやすい整備を期待したいです
大雨が降った後道路が水没するので改善してほしい。
大雨時、北戸田駅西口からセイムスドラッグへ向かう道が冠水してしまうので何とかしてほしい。
戸田駅東側の道路とグリーンフォレスト戸田の両脇の道路が雨が降ると浸水してしまうので水はけをよくしてほしいです。
水はけの悪い道路が多過ぎると思います。少し強い雨が降ると至る所に大きな水溜まりが出来る。また、手入れがいき届いている公園と放置されている公園の差が激しい。
戸田駅の階段が細くて混雑時詰まってしまうので改善して欲しい。自転車置き場の方たちがお年寄りが出せずに困っていても手伝わないことが多く、声掛けなどして欲しい。
道路環境の整備、花壇の雑草の整備をよろしくお願いします。
菅原市長を先頭に暮らしやすく住み良い街づくりに奮闘されていると思います。車が増えていますので、安全な道路環境を整備してください。
歩道の整備を考えてください。
子どもの通学路が安心できないところが多く、歩道の整備を今後もお願いします。
自転車通行帯も随所にあり、ゴミも綺麗に回収していただき、感謝しております。これからも、よろしくお願いします。

■公園・緑・景観
製菓会社の跡地に『広い緑地公園』が出来ることを期待していました。市内に小さめの公園は多いが、広くゆったり過ごせる公園がないと感じています。道満公園がありますが、家からだと車でのアクセスが必要となるんですが、駐車場が満車で止められず遊べないことが多く不便に感じています。あと、プリムローズを利用した際に老朽化の様子が伺えて少し残念に思いました。せっかくの施設、もう少し盛り上げて欲しいと思いました。
計画的に公園や街路樹を整えて緑化してほしい。駅前にパチンコ屋など入らないようにしてほしい。せっかく都内へアクセスが良いのに、文化的、音楽や芸術的なものを感じられない。戸田公園駅にはボート（レガッタ）関係で大学生もたくさん集まるように魅力的なものがない。トラックの街でなく、浦和のような文教都市に近づいてほしい。物流倉庫ではなく、広い土地があったらきれいな公園等にしてほしい。東西に広いので、東の方の人には道満に行きにくい。
自分が子供の頃に遊んでいた公園が軒並みなくなっているイメージがある。野球などができる広い公園を増やすべき。
外出して公園等に行きたい。公園等を増やしてほしい。施設(老人ホーム)からボートコースに行かれるようにしてほしい。
公園をもっと魅力的に(どの世代も安心して利用できる施設の充実。例えば世代別健康増進目的の簡単な設備。子供が気軽に水と遊べる公園をそれぞれの地域に。アスレチックのある公園を増やす。)
上戸田3丁目在住です。ボールが使える公園が皆無です。キャッチボールやサッカーなど、子供が気軽にボール遊びができる公園の整備を切に希望します。
ボール遊び禁止の公園が多すぎる
子どもがボール遊びできる箇所を増やしてほしい
どこの場所でも同じかと思いますが、公園での禁止事項が多すぎる。小さい公園を増やしても災害のためにはいいかもしれませんが、子ども達の為にはならないと思います。これは私事ですが、子どもは戸田相撲連盟に所属していますが戸田ではなく蕨で稽古しています。蕨に住んでいないのに蕨で借りているため、施設を借りるのにも色々大変です。こどもの国に土俵があったと思いますが、それをまたどこかに復活させてはいただけないでしょうか？習いごとなどの子どもたちが頑張る場は、発表の場だけではなく、自由に見学（プールのように）できるようになると、施設内をお年寄りや様々な人が散歩しながら楽しめるのではないのでしょうか。また世帯ごとに収入は違えど、住んでる人数に応じて電気ガス水道は多く使い、一定金額をこえるととても高くなります。1つの家にそれだけの人が住んでるのだから当たり前のことかと思いますが補助をするなら、そういう方へも目を向けていただけるととても有難いです。水害は昔から分かって住んでいます。防犯対策はとてもよく出来てると思います。
心置きなくボールが使える公園を増やすことで、子どもたちが球技に触れ合う機会を増加させ、地域の少年団の活動の活性化につながると思う。
公園でボールが使えない。夜も自由に使えるスポーツができる場所が欲しい。サッカー場、アスレチックのある大きい公園、子連れや大人数が集まれるカフェやレストランが欲しい。
戸田市役所周辺や本庁等の公園や環境は他の地域より整っていると感じるので、他の場所も同じように整えてほしい。
ボールが使える公園をもっと増やしてほしいです

■公園・緑・景観（つづき）
子供が騒いで遊べる公園がない。静かにしなくてはいけないところ、サッカーや野球等の球技が出来ない公園など、近隣に住む条件に子供の声が聞こえても大丈夫という条件を付けて、子供が伸び伸び遊べる環境作りをしてほしい
彩湖以外の河川敷(花火大会開催近辺)にもドッグランがあれば散歩しやすい。広場はあるが、住んでる方がいて夕方は近寄りにくい。除草ありがとうございます。
市役所近辺ばかり道路や街路樹をきれいにして美女木周辺は何もなし。もう少し何とかしてほしい。
物流倉庫の建設を反対していた一人ですが、運営開始から事故（死亡含む）が多発すると思います！もし、川口グリーンパークのような緑の多い公園になっていたら、それはそれで活性化につながったと思います。入場料を支払っても地域、他県からもきたと思います。魅力ある戸田市であってほしい！そう願います！今は地域安全の悪化に偏っていると思います。
公園に公衆トイレが全くない。
公園にトイレがあるのはありがたいが、汚いので綺麗になったら嬉しい
①駅や公園のトイレをきれいにしてほしい ②給付金を提供してほしい ③駅前に飲食店や商業施設を誘致してほしい ④地下通路を充実させてほしい ⑤実行力を見せてほしい
公園のブランコ撤去期間が長い。できるだけ早く設置してほしい。古くなってきた遊具は順次新しくするか直してほしい。市報は全件ポスティングするのはお金のムダだと思います。休日にもされてたので、この人件費を他にまわしてほしい。必要な人は駅や各所でうけとります。また、全件に渡しているのに、余分な市報が街中にあふれています。この紙代、印刷代を必要なところに使ってほしい。
公園が美しいです
都内にない広々とした環境が気に入ってます。もっともっと緑が多い町がいいなと思います
きれいな川、ボートコース、道満などがあるのだから、緑豊かな美しい街を造れないだろうか？ボートコースにレストランを作ったり、おしゃれな空間を作って戸田市の魅力をもっと出すと良い気がする。水道代も安く、学校には冷水器があり、空調もある。とても住みやすい戸田市。住みたい町ランキングもっと上位に入れるように！！
景観と安全に予算を使ってほしい
美しい街並み
■上下水道・河川
水道代の免除などをはじめ、諸々本当にありがとうございます。
線状降水帯で家の前が水溢れ、下水整備要望する
上戸田川をきれいにしてほしい。
コンビニも住んでいるマンション付近も、汚物処理のマンホールから強烈な悪臭がある。なんとかして!! 犬の散歩している人が排尿、排便を当然のように放置している。アスファルトやコンクリートの水があるとまた放尿したのかと思い、散歩もできない!!エチケットパンツをはかせる指導をお願いします。
少し違うと思いますが、菖蒲川がとても汚い。工場からの排水だという人もいます。マンションのベランダから川に向かってゴミを投げる人がいる。広報戸田市9月号”動物に優しいまちとだ”動物に目を向けたことはとても良かったです。（これからももっと良くしてほしい。）

■上下水道・河川（つづき）
戸田市周辺の川（朝霞和光志木）などの川で子供たちが川遊びをしています。戸田の川でも水遊びが出来るように、自然の大切さを教えられるように川をきれいにしてもらえたら幸いです。
菖蒲川の汚れ臭いに対して根本対策をお願いします。毎日の通勤で通るたび、ゴミや臭いを我慢し続けなくてよいよう、持続可能な川となるよう見直していただきたいです
きれいな菖蒲川が見たい。大地震が起きた時の戸田橋の耐久性に不安がある。荒川の氾濫が怖い。高校が少ない。高齢者対象のファミリーサポート。トコバス逆回りの復活。病院の完全予約制撤廃もしくは、個人病院の復活。
菖蒲川が臭い事が多々あるので対策していただきたいです。また、花火大会はとても素晴らしかったです。道路のゴミなどはかなり気になりましたが、来年以降も続けていただきたいです。
上戸田川が時々黒いものが浮いている。どこから流れて来ているのでしょうか？
戸田本町大川家具スーパーバリューの脇を流れる川の水、あまりにも汚い。色とゴミ、家庭用排水なのか、工場が排水か分かりませんが、魚がたくさん泳いでいますが、時には死んだ魚が浮いています。酸欠か？きれいな水が流れる川にしてほしいです。
■公共交通
公共交通網の発達
電車の本数が少ない！ 駅前の活気が他と比べてかなり少ない。娯楽が少ない！！ファミレスばかりで親戚、知人が遊びに来た時にご飯を食べに行けるところが全くない！！
隣の京浜東北線と比べて埼京線の本数が少ない方が不満です。直接市とは関係ないかもしれませんが、改善に向けて働きかけていただけたら嬉しいです。
戸田公園駅に通勤快速の一部（戸田公園駅で各駅停車を追い越さない列車）だけでも停車するよう JR 東日本に要請してほしい。
埼京線の終電の延長希望です。よろしくお願いいたします。
埼京線のみなので不通になった時に困ります。公共のバスも少ないので不便です。スーパーが多くて日常生活には便利ですが、戸田警察が無い、銀行が少ない、服やバッグなどの販売店が少ないので別の場所に行かなければならないなど改善して頂けると嬉しいです。
埼京線の快速が戸田駅、北戸田駅などを通過しないところが不便です。
まだ都市ガスに対応していない住宅があるので都市ガスが使えるように対策してほしい。せっかく都心より家賃・物価が安いのに意味がない。埼京線に頼りすぎ。埼京線が止まったり、使えなくなるとバスはかなりの列。本数も増やして欲しい。戸田市ののどかな感じが好きです。もうちょっと賃金が高くなればよいなあ。
戸田駅を急行が止まる駅に早急にして欲しい。人口が増え利用客も増えている為。
toco バス等の市内交通機関の充実（循環バスの逆回り。時間帯、本数の拡充）
トコバス利用について1時間2本あると助かります。
笹目は買い物難民なのでトコバスを増やしてほしい
免許返納の後の路線バスやトコバスを使って病院や買い物に行けるようにしてほしい。
乗物がないため、老いるとどこへも行かれず、家にいることが多くなる。トコバスがもう少し多くあると良いと思います。

■公共交通（つづき） 将来、免許証返納を考えていかなければいけないと思いますが、トコバスと国際興業のバス便だけでは普段の生活が難しくなると感じています。人口的に本数を増やすのは難しいと思いますが、高齢者社会に向けてご検討ください。 ①公共交通の充実 トコバス増発、経路見直し(外廻りバスはあるが、内廻便・停留するところ増加希望) ②戸田公園駅周辺の商業施設がないので作って欲しい(スーパーはあるが大型スーパーがなく不便)。 北戸田～西川口間のバス系統しかなく南浦和や武蔵浦和のバスも欲しい 夕方から夜にかけて中央通りの交通量が増えて路線バスが遅れがちなので、渋滞の改善と深夜に閉店した店前や自販機の前で集まり騒いだりしている人が多いと感じるのでパトカーの巡回を増やしていただけたらと思います。町内のゴミ置き場に夜トラックで粗大ゴミを捨てに来る業者がいるので防犯パトロールで見回りしていただけると抑止になるのではと思います。陳情みたいな答えですみません。
6. 参加と交流
■コミュニティ活動・市民参加 市と地域との市民の目線に立った交流をもっと密にしていく必要を感じる あいばるのような地域交流センターを北戸田駅付近に出来ると嬉しいです 外国人が増えたので、マナー教育をして欲しい 2023 年は市民ミュージカルが開催されない？いつも楽しみにしていたし文化芸術分野で素晴らしい取り組みなので是非継続して欲しいです。
Đầu tiên tôi muốn gửi lời cảm ơn tới nơi mà tôi sinh sống và làm việc trong 5 năm qua . Thứ 2 là cần tạo ra sân chơi riêng cho người nước ngoài và người Nhật cùng chơi, để hoà hiểu nhau hơn. (ベトナム語) (翻訳) まず最初に、私が過去5年間住み、働いてきたこの場所に感謝したいと思います。第二に、外国人と日本人がお互いをよりよく理解するために、一緒に遊べる別の遊び場を作る必要があります。
戸田市は「若い市」だと思い家を購入し、さいたま市から転入しましたが、非常に古い因習が残っている、昭和の農村都市でした。昔からの土地持ちが幅をきかせる、既得権を守ろうとする力が強い。町内会も声が大きい人が強い。学校に行けばいったで古いままのPTA。事なかれ主義の先生。ここまで住みづらい街だとは思いませんでした。川口、蕨、さいたま市等、京浜東北線が通っている市の方が新住民が多く民主的で、市の取組も公平性が高いようにみられます。今の市の取組は、旧来からの住民といった既得権層への再配分でしかないです。こんな古い市だから定住率が低く、いつまで経っても住民平均年齢が低いのだということを、住んでから理解しました。今だったら戸田市に家は買いません。こんなに古い市だと知っていたら住みませんよ。
近年の気候変動による多雨の影響で河川の治水対策は中止をしています。今までは町内会活動に参加していましたが、コロナの影響で人づきあい自体が希薄になってしまいました。また、それに慣れてしまったので地域の高齢による孤立化もこれからの新たな課題になってくるのかなと思います。
戸田の花火大会やボートコースなど、魅力的なものがあるので大切にしてほしいです

■コミュニティ活動・市民参加（つづき）
町会は地元の人が多く考えが主力…市から提供された防犯カメラの設置も3台とも公園周りに取付当時の町会長（移動しませんとの返事）。その後学校帰りの子供の見守りとやら午後3時に老人たちに街頭に立たせたり。町会の総会で質問したらある老人から村八分になるよーといわれてしまった。新住民には葬儀のお手伝いはさせないとか古き良き伝えは残すことは大切今時と思うことが多く感じる町会です。
■広報・情報発信
役所、消防、学校、地域の自治会など様々な方々が戸田市を支えてくださっていると常々感じながら生活しています。子どもが大きくなるにつれて、地域還元をしたい気持ちも強くなり今まで興味関心の薄かった、自治会の行事などにも参加するようになりました。目を向けていく中で、自治会のお仕事など無償でかなり長い年数を請け負っている方々が多くいることに気づきました。かと言って、我々子育て世代がその仕事を担うには負担が多過ぎる、他の子育て世帯も地域に居るはずが出てこない等、出てきた人に頼まれごとが増えているのも現状です。誰しもが自分の地域に愛着を持って住み、地域に対して当事者意識を持って周辺の防犯や美化に取り組めるようなアナウンスやイベントの中のブースでの説明があったら良いなと考えます。余談にはなりますが、公務員の方の負担も多大だと思われます。余談にはなりますが正規職員の人員を増やして、皆さんが余裕ある状態でお仕事が出来ますようお願いしております。
素晴らしい環境を持つ戸田市のインフラを発信して欲しいです。荒川土手沿いの10キロ近い遊歩道、ボートコースなど他市にない環境を整備し利用促進を願っています。ボートコースの一般開放、荒川土手でのレンタサイクル、ランニング教室、リバースポーツの教室など市民だけではなく観光資源を拡充することにより、戸田市の名前がアピールできるかと思います。引き続き我が戸田市の発展を心より祈っております。
世帯を持っている人、高齢者、子育て世代は住みやすいと思いますが、独身でも安心して住める生活できるということも知ってもらえる活動をしてほしいと思います。あと選挙はオンラインで投票したいです。
独り身で県外に仕事に出ている人は特に市の活動をあまり知らないと思うのでもっと配信すると良いと思います
そもそもですが、戸田市が今何をやっていてどのような結果が出て、今後どのようにしていきたいのか、というミッションやビジョンが分からないので、もう少し戸田市に住む住人として戸田市に興味を持たないといけないなと思いました。私は戸田市で育ち、他の市区町村に住んだ経験がないので比べることも難しく、かといって戸田市のことを何でも知っているわけではありません。今後住み続けるにあたりもう少し興味を持とうと思いました。日本自体、人口が減り高齢化が進みますので子供よりも高齢者に対する支援があると嬉しいです。また家族が町会の仕事に参画していますが、町会のミッションとビジョンが明確でなくやり方がアナログなので工夫したほうが良いと思います。
7. 行財政
税金を無駄に使ってほしくないです。戸田市は若い街ですので、古い人達に左右されなくて、若い希望に満ちた街としてほしいです。保守的な面が多く見受けられます。市長さんも若いので、どんどん若い面を取り入れてください。
国からの支援と戸田市独自の支援をお願いします。

7. 行財政（つづき）
戸田市に住み始めたのは新卒の頃で、今から18年前です。本市で2年勤務した後に転職をし、都内勤務となり、1年半ほど板橋区に住んだ後にまた戸田に戻り結婚しました。若い頃は、ただ生活するだけでしたが、子育てする上でとても恵まれているなど日々感じています。浸水時の心配はありますが、職場で他の行政の話の聞くと、戸田市の良いところがたくさん見えてきます。
市長着任後いろいろ改善されている
戸田市政に限らず、政治は多数派の意思を反映させる営みです。少数派は切り捨てられます。しかし、それでも①「納税義務を負う以上、選挙では必ず投票しよう」という気概を持つ人、②「政治に期待はするが、最後は自分の力で人生を切り開く」という覚悟を持てる人が増えるような啓発活動をしていただけると幸いです。
市民は市に対して興味がないバラマキではなくもっと有効に税金等使ってもらいたい
統一地方選挙のときに投票所に貼られた候補者のポスターが一部剥がされてなくなっていました。投票所にいた選挙管理委員会の人間に忠告したところそれに対して全く反応も対応もしてくれませんでした。戸田市で選挙の不正、腐敗がないか気になっております。
菅原さんが居てくれたら、それだけで安心です。県知事になって欲しいけど、やはり戸田市にいて欲しいです。
市役所の皆さんの活躍に期待しています。
税金高い
税金が高すぎる
無駄なお金を使わず市民を支援してほしい
戸田市役所・市政に不満を抱いています。市民の血税である「税金」を無駄なく有効に使ってください！戸田市役所は数年前より連日、夜遅くまで照明が付いていて職員が残業(?)している姿が見え、非常に不快です。残業手当は税金の無駄です。残業廃止を切に望みます。誠に残念ながら、現在の戸田市に対して【平然と嘘を言う 信用できない】という印象を抱いております。市民を第一に考える“市民ファースト”の目線で市政を行い【魅力あるまち＝戸田市】に変わってください。
8. その他
1. 質問事項が複雑で回答に時間がかかった。2. 今回アンケートにかかった経費と職員様の携わった時間等の開示。3. アンケート項目に関して、支援金給付金、後期高齢者の補助金等の金額に関して、問うべきではないでしょうか。4. 選ばれた方に疑問？個人情報の流出。
問22など、知らないことはどちらでもないと回答しました。問23同様、わからないがあった方が良いでしょう。
一人暮らしで寝だけの生活。生活感がないので、わからない項目が多かった。（子育て関連、公共施設など）回答に分からない項目がおれば良かった。私みたいな生活をしている人がいると思うので、このような人たちにもわかる情報や取組などをやって欲しい。
アンケートが長すぎる
今後もこのようなアンケート等で市民の意見を聞いていただけるようにしていただけたらありがたいです
花火大会よかった
戸田市はすごく住みやすいです。

8. その他（つづき）
このようなアンケートは、今の状況別に実施するのが良いと思います。子育て中と高齢者とでは質問に答えられないことが多々あるので。あと、防災とだの呼びかけの放送がよく聞こえません。大切なことを呼びかけているのだと思いますので、よろしくお願いします。
戸田市に住んで良かったと思います。そして最高に良い都市です。感謝しております。
戸田市で生活していて不満に思う事が無いし、考えたことないので、戸田市が好き。
戸田市民すべてが笑顔溢れる生活をおくれますように
私は、全てを知っているわけではありませんが（市内を全て見学・参加・行動は一市分です。）偏った考えかもしれません。1）質問内容は市役所側からの目線であると感じます。2）住民側（住を市内に置いている人として）目線からの質問にも配慮願いたい。市役所の正規職員は、戸田市在住（家族含め）の方は何%ですか？広報に公表願いたい。市関連の公共施設は、ほぼ大半が市制施行～10～20年でそのままソフト面の変更であると思われ、その活用に関することが多いと感じます。イベント等より（花火大会など）生活のベースを充実に注力願いたい。子育て、障がい者、老人介護等、不足分が多いと感じます。
あまり気にせず住んでいたんで、なんとも判断出来ない設問が多くて・・・。もう少し市がしていることを今さらですが知ろうと思いました
残念ながら戸田市の取り組みをほとんど知りません。※自分が知ろうとしていないのもあり 自分は小さな最低限の行政が良いと考える者ですが、より魅力ある街（とは何ぞやですが）になると良いと漠然と思います。
その都度意見や提案があった場合どこどのようにすればよいのかそもそもわからない。
投票率が低すぎるので、戸田市も埼玉県も不安です。戸田市の活動等、あまり参加できていないなど、知らないことが多くあり、あまり参考となる回答ができず、申し訳ありません。
戸田市にいる最後の年だったので、花火大会を行ってくださってとても嬉しかったです。ありがとうございました。
これからも頑張ってください。
ご苦勞様です。以後ますますよろしく
いつもありがとうございます。行政お疲れ様です。
ずっと住み続けていきたいです。
戸田市に生まれて幸せです。
どの年代の人が戸田市でよかったと思う戸田市にしてほしいです。
喫煙所を維持していただけたらとおもいます。他、特に戸田市に不満はございません。
現状維持とともに。今後の発展にも期待しています。
何しろ安心して暮らしたい
都心に近いにも関わらず、戸田市が人気がないのはなぜかを良く考えてほしい。「埼玉県」というだけで人気がないわけでないと思う。戸田市にはアピールするものがない。あるいはアピールが伝わってないのではないのでしょうか？
本気で良くする気があるのであれば戸田市内での格差を無くさないが無理だと思います。もっと若い世代が声を上げ易い環境作りが必要だし...
マナーやルールを守れない人が多い。

8. その他（つづき）
未来をつくるのは子どもたちなので、先進的な取組をしてほしい。デジタルで戸田市が取り上げられたのを見て良いと思いました。
子育て世代や子どものイベントや支援ばかりで独身者に冷たい町 外から人を受け入れるばかりで地元民を大切にしていない
市役所がみずぼらしい
陽の当たらない小さな土地に密集して2～3階建ての家を建てて販売しているが、そういった生活環境は良いとは言えない。陽の当たり具合、隣の家との間等、規制を強化しないと快適な住環境とは言えない。戸田市の「基本目標」の全てにおいて、満足のいく対応をしていると思います。市の職員の職場環境を整備していただけたらと思います。机、イス、棚等、オフィス空間の整備等→市民の第一となっている、市の職員の職場環境が後回しになっているように思います。いつも感謝しています。早期対策を。
まちづくりではないですが、市の市民に対する姿勢や態度や対応が悪すぎる!!市長は一個人の声にでも現場の声にも全く聞く耳を傾けないとお聞きしました。任期も長くなり天狗になったんでしょう!!そういう市長は即、辞任すべき!!現場の声にしっかり耳を傾けてくれる人が市長になることを、いいえ、そういう人が表れる事を望みます!!願っています!!祈ってます!!人事異動で希望の課に配属されなかったとしても、それを露骨にしかも、電話でもハッキリ解る対応は×でしょ!!それともよっぽど虫のイデオロコが悪かったのか?全くやる気のない口調で対応が冷ややかでした!全体的に職員の質が悪いですよ!!千葉県のとある市にはすぐやる課があります。そこを始めとして色々な市を見習ってほしいです!ガッカリです。引越したくてもお金が無いから出来ません!!いつまでガマンすれば良いのか?それとも一生ガマンなのか?そればかり考えてしまいます。生きているのが辛すぎて死にたい思いで一杯です。こんなまちにしたのは誰だ!!
先行きが暗いので未来がありません
コロナ以前から生保者が多く見られる。生保認定時に出来る仕事をする前提で行ってほしい。病院にも多くの生保者が入院してスタッフをバカにしている。
保護猫などの支援の充実を
外国人のルールを守らない日が多い。ゴミの出し方、大声の話し方、私道にまで入ってくる。外国人を増やさないで欲しい。路上駐車も多い・取り締まってほしい。
反日外国人を戸田市から削除すること。これ以上戸田市に反日外国人を入れないことを望みます。外国人に支援するお金があるならば日本人に使うべきだと考えます。
昨今外交人特に中国人の居住が多く感じる。文化が異なることで怖さを感じる。対策が必要ではないか?
市長はじめ、熱心にされていらっしゃるのを感じます。市という規模でなく、国が狂っているのが困りますし、不安です。食が悪すぎる。ワクチン工場をいくつも建てて、世界ではmRNA ワクチンが云々と、海外の政府も中止を決定しているのに、メディアの情報が正しくされない。この国でどうやって生命を守ってゆけば良いのか不安です。奴隷のように税を50%60%も絞り取られて、これからの世代の若い人達、新生児、子ども、学生達が健全に過ごせるようになってほしいです。あまりにも恐ろしい現実を分らないでいる日本国民が正しく情報を知って、生きのびてほしい。市長さんの功績はその都度耳にしています。戸田市には希望があります。

8. その他（つづき）

安倍さんが亡くなった昨年の7/8に日本が与党議員により著しく壊され続けています。市政・県政・国政で取り組んだLGBT理解増進法、子ども虐待防止条例、移民政策、クリーンエネルギー政策、全て利権を得るための愚策で、民の生活は混乱しています。議員を選び納税し、先人が残した伝統・文化を守ろうとする民が政治に期待することは、安心できる豊かな生活を得ることです。川口市の移民により住民が受けている被害は対岸の火事ではありません。また、いつ起こるか分からない自然災害の対策等、先を見据えた政策を実行してください。

外国人の受け入れをほどほどにしてほしい。隣の川口市など、移住で問題が多くとても怖い思いをしている。

埼玉県の子育て禁止条例改正案は子育て世代にとって意義のある可決だと思うか？子育てしづらい町づくりへの第一歩ではないか。違反を発見した場合は通報義務もあるとの事。いつどんなタイミングで通報されるかわからない。周りの目におびえて暮らす町は住みよい町ではない。第二子もこの町でと考えていたがこの条例によって県外へ(戸田市を)脱出しなければならないと思うようになった。市として危機感を持っていただきたい。県に抗議していただきたい。

参考資料（調査票）

令和5年度戸田市市民意識調査 ご協力のお願い

日ごろから市政へのご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
さて、戸田市では、市民の皆様のご意見やご要望をお伺いし、一層充実した市政とするために、定期的に市民意識調査を実施しています。
今回の調査は令和5年8月1日現在において、戸田市の住民基本台帳に登録されている18歳以上の市民の皆様の中から、3,000人を無作為に選んでお願いしています。ご多忙のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにお答えくださいますよう、お願いいたします。
なお、このアンケートに関して個人の意見が公表されることは一切ありませんので、ぜひ率直なご意見をいただきますよう、重ねてお願いいたします。

令和5年10月

戸田市長 菅原 文仁

◆ご記入の前に◆

1. 回答方法 ①あるいは②のどちらか一方で回答をお願いします。重複回答はできません。
 - ・封筒宛名のご本人がご回答ください。
 - ・質問は全部で41問です。回答時間の目安は20分程度です。
 - ・回答にあたり不明点が生じた際は、下記担当までご連絡ください。

①この調査票に直接記入して回答する

- ・各質問の説明に従って、回答欄にご記入ください。筆記用具の種類は問いません。
- ・回答が済みましたら、同封の返信用封筒にて、切手を貼らずに令和5年10月31日（火）までに投函してください。封筒や調査票にご住所・お名前を記入する必要はありません。

②パソコン・スマートフォンから回答する

- ・以下のURLまたはQRコードから回答ページへアクセスし、画面の説明に従って、令和5年10月31日（火）までに回答してください。
URL : <https://forms.gle/ZtLEcRRdUeBG526a6>



QRコード : パスワード（記入必須・全て半角） :

2. お問い合わせ

〒335-8588 戸田市上戸田1-18-1
戸田市役所 共創企画課 行政改革・計画推進担当
電話 048-441-1800（内線413）
FAX 048-432-8521 E-mail kikaku@city.toda.saitama.jp

※ この調査結果は戸田市ホームページ等で概要を公表する予定です。

1. ご自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別を教えてください。
（○は1つで、記入は任意です。）

1. 男性	2. 女性	3. ()
-------	-------	--------

※あなたが認識しているご自分の性別を選んでください。

問2 あなたの年齢を教えてください。

満

問3 あなたが住んでいる地区はどこですか。（○は1つ）

1. 喜沢1・2丁目、中町1丁目、下戸田1・2丁目
2. 喜沢南1・2丁目、中町2丁目、下前1・2丁目、川岸1・2丁目
3. 上戸田1～5丁目、大字上戸田
4. 川岸3丁目、本町1～5丁目、南町、戸田公園
5. 大字新曽、新曽南1～4丁目、氷川町1～3丁目、大字下笹目
6. 笹目南町、笹目北町、早瀬1・2丁目、笹目1～8丁目
7. 美女木1～8丁目、美女木東1・2丁目、美女木北1～3丁目

問4 あなたは戸田市に何年ぐらい住んでいますか。

約
年

※1年未満は「0年」とお書きください。

問5 あなたの住宅の種類を教えてください。（○は1つ）

1. 持ち家（戸建て）	2. 持ち家（マンションなど）
3. 借家（戸建て）	4. 借家（民間アパート・マンション）
5. 社宅・寮	6. UR・県営・市営住宅
7. その他（ ）	

問6 一緒に住んでいる家族は、あなたを含めて何人ですか。

人

問7 あなたは結婚していますか。届出の有無にかかわらずお答えください。
（○は1つ）

1. している	2. していないがパートナーと暮らしている
3. していた（離婚・離別・死別など）	4. していない（未婚）

問 8 あなたには、お子さんは何人いますか。また、お子さんがいる場合は、一番上と一番下のお子さんの年齢を教えてください。

人	①一番上のお子さんの年齢 (1人の場合には、こちらにご記入ください)	歳
	②一番下のお子さんの年齢	歳

問 9 あなたのお仕事（雇用形態）を教えてください。（○は1つ）

1. フルタイム（常勤）の正社員被雇用者	2. 派遣・契約・嘱託社員
3. パートまたはアルバイト	4. 自営業主・個人事業主
5. 家族従業者	6. 会社経営・役員
7. 家事従事者	8. 学生
9. 年金生活	10. 無就業
11. その他（	）

問 10 あなたが通勤地もしくは通学地はどこですか。（○は1つ）

1. 戸田市内	2. 川口市	3. さいたま市
4. 藤市	5. 県内その他の市町村	6. 東京都
7. 県外（東京都を除く）	8. 通勤・通学していない	

問11 あなたが通勤や通学に利用している交通手段を教えてください。利用しているものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

1. 徒歩のみ	2. 電車	3. 自家用車
4. バス	5. 自転車	6. オートバイ
7. 通勤・通学していない	8. その他（	）

問 12 あなたは、全般的に、今の生活に満足していますか。（○は1つ）

1. 満足	2. まあ満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
-------	---------	---------	-------	----------

2. 定住意向についておたずねします

問 13 あなたが直前に住んでいた市区町村から移転したきっかけは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

1. 生まれからずっと戸田市	2. 進学
3. 就職・転勤	4. 結婚
5. 出産	6. 子どもの独立
7. 退職・廃業	8. 親や子と同居・近隣に住むため
9. 住宅の購入	10. 特になし
11. その他（	）

問 14 あなたが戸田市に住んでいる理由を教えてください。（○は1つ）

1. ここで育ったから	2. 比較的安価な住宅があったから
3. 親戚や友人がいたから	4. 住みやすそうだったから
5. たまたま住宅が見つかったから	6. 特になし
7. その他（	）

問 15 あなたは、戸田市にこれからは住みたいと思いますか。（○は1つ）

1. 住み続ける	2. たぶん住み続ける
3. たぶん移転する	4. 移転する
5. わからない	

3. 子育てについておたずねします

問 16 あなたは、戸田市は子育てしやすいだと思いますか。（○は1つ）

1. そう思う	2. どちらかというとそう思う
3. どちらかというとそうは思わない	4. そうは思わない
5. わからない	

問 17 あなたは、戸田市に住んでいて、子育てに関する以下のことに、どの程度満足していますか。（項目ごとに○は1つ）

※お子さんがいない方は、問 18 へお進みください。

項 目	満 足	評 価	ま あ 満 足	ど ち ら とも い え ない	や や 不 満	不 満
(1) 保育園や幼稚園、学童など通常の預け先	1		2	3	4	5
(2) 一時保育や病児保育など臨時的な預け先	1		2	3	4	5
(3) 児童手当や子ども医療費助成など金銭的支援	1		2	3	4	5
(4) 不安や悩みを聞いてもらえる相談の場	1		2	3	4	5
(5) サークルや子ども会など地域交流の機会	1		2	3	4	5
(6) 24時間診療など、いつでも受診できる医療体制	1		2	3	4	5
(7) 道路の段差や駅のエレベーターなどのバリアフリー	1		2	3	4	5
(8) 地域の人の声掛けや協力	1		2	3	4	5
(9) 子育て講演会や家庭教育学級などの学びの機会	1		2	3	4	5

4. 健康づくりについておたずねします

問 18 あなたは、健康のために、留意していることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

1. 定期的な健康診断やがん検診の受診	2. 定期的な歯科健診の受診
3. バランスの良い食事	4. 朝食を抜かない
5. 定期的な運動やスポーツ（ウォーキングを含む。）	6. 体重や体脂肪などの把握
7. 睡眠による十分な休養	8. 自分に合ったストレス解消
9. 規則正しい生活	10. 適量飲酒や、休肝日を設ける
11. たばこは吸わない、またはやめた	12. 健康に関する知識の習得（市民大学や公民館講座等の受講）
13. 特に何もしていない	14. その他（ ）

問 19 あなたは、健康のために、今後取り組みたいと思っていることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

1. 定期的な健康診断やがん検診の受診	2. 定期的な歯科健診の受診
3. バランスの良い食事	4. 朝食を抜かない
5. 定期的な運動やスポーツ（ウォーキングを含む。）	6. 体重や体脂肪などの把握
7. 睡眠による十分な休養	8. 自分に合ったストレス解消
9. 規則正しい生活	10. 適量飲酒や、休肝日を設ける
11. 禁煙	12. 健康に関する知識の習得（市民大学や公民館講座等の受講）
13. 特に何もしていない	14. その他（ ）

問 20 あなたは、過去1年間にスポーツ・レクリエーション活動（学校の授業や職業として行ったものを除く）をする機会がどのくらいありましたか。（散歩やウォーキング、軽い体操、子供との体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすことなども含みます。）（○は1つ）

1. ほぼ毎日	2. 週に3日以上
3. 週に1～2日	4. 月に1～3日
5. 年に4～11日	6. 年に1～3日

5. 高齢化についておたずねします

問 21 あなたは、市内に住んでいる高齢者または高齢者のいる世帯にとって、戸田市は過ごしやすいと思いますか。（○は1つ）

1. そう思う	2. どちらかというとそう思う
3. どちらかというとそうは思わない	4. そうは思わない
5. わからない	

問 22 あなたは、戸田市に住んでいて、高齢者に関する以下のことに、どの程度満足していますか。（項目ごとに○は1つ）

※あなたが高齢者でない場合は、身近な方をイメージしてお答えください。

項 目	評 価	満足	まあ満足	どちらでもない	やや不満	不満
(1) 困りごとや悩みごとなど相談の場		1	2	3	4	5
(2) 健康や体力維持のための場		1	2	3	4	5
(3) サークルなどの友人や仲間との交流の場		1	2	3	4	5
(4) 地域の人との声掛けや協力		1	2	3	4	5
(5) 趣味や生涯学習の場		1	2	3	4	5
(6) ボランティアや町会活動などの社会活動の場		1	2	3	4	5
(7) 安心できるかかりつけ医や病院の存在		1	2	3	4	5
(8) 在宅介護の支援		1	2	3	4	5
(9) 介護施設の充実		1	2	3	4	5
(10) お金や必要なものなどの支援・補助		1	2	3	4	5
(11) 働く機会		1	2	3	4	5
(12) 住宅に対する支援		1	2	3	4	5
(13) 道路や駅、公共施設のバリアフリー		1	2	3	4	5

6. 生活環境等についておたずねします

問 23 あなたは、住んでいる地域の生活環境等について、どのように感じていますか。
(項目ごとに○は1つ)

区分	項目	評価	非常に良い	やや良い	普通	やや悪い	非常に悪い	わからない
保健・衛生・福祉	(1) ごみの回収		1	2	3	4	5	6
	(2) 雨水など水のはけぐあい		1	2	3	4	5	6
	(3) ハチ、蚊等の害虫対策		1	2	3	4	5	6
	(4) 医療機関への通院のしやすさ		1	2	3	4	5	6
	(5) 地域福祉の支援（地域における支え合い）		1	2	3	4	5	6
	(6) 休日や夜間の急病のときの安心さ		1	2	3	4	5	6
	(7) ばい煙・排気ガス		1	2	3	4	5	6
	(8) 騒音・振動（工場・車等）		1	2	3	4	5	6
	(9) 子どもが外で遊ぶときや通学時の安全性		1	2	3	4	5	6
	(10) 豊かな心を育む青少年の育成		1	2	3	4	5	6
安全	(11) 高齢者の外出や散歩の安全性		1	2	3	4	5	6
	(12) 個人生活の秘密が守られること		1	2	3	4	5	6
	(13) 災害（火災・地震・台風等）からの安全性		1	2	3	4	5	6
	(14) 環境汚染からの安全性		1	2	3	4	5	6
	(15) 夜道の明るさ		1	2	3	4	5	6
	(16) 周りの道路の安全性		1	2	3	4	5	6
	(17) 防犯対策の充実		1	2	3	4	5	6
	(18) 防犯情報の受取やすさ		1	2	3	4	5	6
	(19) 日用品・食料品等の買い物の便利さ		1	2	3	4	5	6
	(20) 通勤・通学の便利さ		1	2	3	4	5	6
利便	(21) 公共交通の利便性の向上		1	2	3	4	5	6
	(22) 公園・広場等の利用のしやすさ		1	2	3	4	5	6
	(23) 公民館・集会所等の利用のしやすさ		1	2	3	4	5	6
	(24) 郵便局・金融機関の便利さ		1	2	3	4	5	6
	(25) 周囲に悪臭がないこと		1	2	3	4	5	6
	(26) 計画的なまちの整備		1	2	3	4	5	6

快適・適	(27) 日当たりや風通しの良さ	1	2	3	4	5	6
	(28) 良好な景観が保たれること	1	2	3	4	5	6
	(29) 公園の整備・緑化の推進	1	2	3	4	5	6
	(30) 緑などの自然環境	1	2	3	4	5	6
	(31) 川のきれいさ	1	2	3	4	5	6
	(32) 上記を総合して、どの程度満足していますか	1	2	3	4	5	6

問 24 あなたは、以下の施設を利用していますか。利用していない場合は、理由を教えてください。(施設ごとに○は1つ)

理由 施設名	利用している	利用していない							利用する機会・必要がない	
		利用したいが近くにない	利用したい時に開いてない	予約がとれず利用できない	どこにあるか知らない	利用方法がわからない	サービスに不満がある	他の類似した民間施設を利用している		
(1) 文化会館 (2) スポーツセンター (3) 郷土博物館（文化財鑑賞含む） (4) 図書館（分館・分室・配本所含む） (5) 戸田公園駅前行政センター (6) 美笹支所 (7) 東部連絡所 (8) 上戸田地域交流センター（あいパル） (9) 新曽福祉センター（新曽公民館） (10) 東部福祉センター（下戸田公民館） (11) 西部福祉センター（美笹公民館） (12) 笹目コミュニティセンター（コンパル） (13) 新曽南多世代交流館（さくらパル） (14) ボランティア・市民活動支援センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

理由 施設名	利用している	利用していない								
		利用したいが近くにない	利用したい時に聞いている	予約がとれず利用できない	どこにあるか知らない	利用方法がわからない	サービスに不満がある	他の類似した民間施設を利用	他に自給する体の公共施設を利用	利用する機会・必要がない
(15) 心身障害者福祉センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(16) 市民医療センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(17) 福祉保健センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(18) 児童センター プリムローズ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(19) 児童センター こどもの国	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(20) 教育センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(21) 芦原小学校生涯 学習施設	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(22) 学校施設の開放 (運動場)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(23) サッカー場	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(24) テニスコート	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(25) 野球場 (ソフトボ ール場合含む)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(26) 県営戸田公園・戸 田ボートコース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(27) 荒川水循環センタ ー上郷公園	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(28) 彩湖・道満グリ ンパーク (スポーツ施 設を除く)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(29) 彩湖自然学習セン ター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(30) 地域の児童公園	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問 25 あなたは、市内の駅周辺について、にぎわいや魅力があると思いますか。
(○は1つ)

1. そう思う	2. どちらかというと思う
3. どちらかというとは思わない	4. そうは思わない
5. わからない	

問 26 以下の項目のうち、①あなたが公共施設のサービス（機能）に求めるものは何ですか。③つ選んで番号を記入してください。また、②そのサービスは戸田市にある施策で足りていると思いますか。○×でお答えください。

1. 子どもが遊べる	2. 不安や悩みを相談できる
3. 図書の閲覧や勉強ができる	4. 生涯学習等の学びができる
5. 文化や芸術を楽しむことができる	6. 運動ができる
7. 健康づくりができる	8. 仕事ができる（サテライトオフィス等）
9. 趣味、サークル等の活動や発表ができる	10. 行政手続きができる
11. その他（ ）	

① 公共施設に求めるサービス（機能）は何か
(番号を3つ回答)

②上記のサービス（機能）が足りているか
(○×で回答)

問 27 あなたは、家庭でどのような災害対策をとっていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. 食料や水の確保	2. 非常持ち出しセットの準備
3. 家具・家電の転倒防止	4. 家族との連絡手段の確認
5. 地震（水害含む）保険への加入	6. 防災訓練への参加
7. 地域の人との連携（話し合いなど）	8. 自家用車等の燃料確保
9. 感震ブレーカーの設置	10. 火災警報器の点検（住宅用火災警報器含む）
11. 地域の災害時危険場所の把握	12. 住まいの耐震化
13. 市内の避難場所・避難先の確認	14. 市外の避難場所・避難先の確認
15. 情報収集手段の確認	16. マイ・タイムラインの作成
17. 携帯用充電器の確保	18. 対策は不要
19. その他（ ）	

問 28 あなたは何を利用して防災情報（災害時を含む）を収集していますか（する予定ですか）。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

1. テレビ	2. ホームページ
3. SNS	4. 防災アプリ
5. 防災行政無線	6. 防災ラジオ
7. いいとだメール	8. デジタルサイネージ（電子看板）
9. その他（ ）	

7. 地域コミュニティについておたずねします

問 29 あなたは、以下の団体等の活動に、どの程度参加していますか。

（活動内容ごとに○は1つ）

活動内容	参加頻度	ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	しまつていない参加
(1) 町会・自治会		1	2	3	4	5	6
(2) ボランティア団体		1	2	3	4	5	6
(3) 市民活動団体		1	2	3	4	5	6
(4) 趣味のサークルやクラブ		1	2	3	4	5	6
(5) 業界団体・同業者団体		1	2	3	4	5	6
(6) その他（ ）		1	2	3	4	5	6

問 30 あなたは、どの程度近所付き合いをしていますか。（○は1つ）

1. 近所付き合いに努めている	2. 最低限の近所付き合いをしている
3. 近所付き合いはできるだけしない	4. 近所付き合いをまったくしない
5. わからない	

問 31 あなたは、ここ1年間で以下の地域活動やボランティア活動に参加しましたか。
参加したものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

1. まちづくりのための活動（道路や公園等の清掃、まちに花を植える活動など）
2. 地域の親睦のための活動（地域住民による祭りや運動会など）
3. 自然を守るための活動（緑を守る活動、リサイクル活動、ごみを減らす活動など）
4. 安全な生活のための活動（防犯パトロール、防災活動、交通安全活動など）
5. スポーツ・文化・学術に関連した活動（スポーツの指導、伝統文化の普及活動、知識や技術の提振など）
6. 高齢者を対象とした活動（日常生活の手助け、高齢者とのレクリエーションなど）
7. 子どもを対象とした活動（子ども会の世話、子育て支援、いじめ電話相談など）
8. 障がい者を対象とした活動（日常生活の手助け、就労支援など）
9. 外国人を対象とした活動（通訳・翻訳、日本語教室、困りごと相談など）
10. 参加したことがない
11. その他（ ）

8. 生涯学習やスポーツについておたずねします

問 32 生涯学習の実施についておたずねします。あなたは現在（または過去1〜2年の間に）文化・趣味・スポーツなどの活動（学習活動）をしていますか。

（○は1つ）

1. 活動をしている	2. 活動をしていない
------------	-------------

問 33 生涯学習の拠点等についておたずねします。（項目ごとに○は1つ）

項 目	選 択	おおいに当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない
(1) 「市立図書館」が生涯学習の拠点として気軽に利用できる施設であると認識している		1	2	3 4
(2) 「市立郷土博物館」が市の歴史に関する拠点として気軽に利用できる施設であると認識している		1	2	3 4
(3) あなたは戸田市の文化財を知っていますか		1	2	3 4
(4) 生涯学習の拠点として公共施設の利用がしやすい		1	2	3 4

問 34 あなたは、ボート競技（ローイング）に興味や関心がありますか。（○は1つ）

1. ある	2. 少しはある
3. あまりない	4. まったくない
5. わからない	

9. 市政への参加についておたずねします

問 35 以下の項目のうち、あなたが市政に参加するとしたら、どの分野に興味がありますか。**あてはまるものをすべて選んでください。(Oはいくつでも)**

1. 子育て支援・子どもの健全育成	2. 高齢者や障がい者の生活支援
3. 外国人の支援	4. 防災
5. 防犯	6. 交通安全
7. 清掃・ごみ減量・リサイクル	8. まちの緑化
9. 文化・スポーツ・生涯学習	10. 地域の産業振興
11. 都市基盤整備	12. 地域の情報発信やイメージアップ
13. 地域コミュニティの活性化	14. 健康づくり
15. 興味がない	16. その他 ()

10. SDGsの取組についておたずねします

問 36 あなたは、「SDGs」という言葉を聞いたことがありますか。(Oは1つ)

1. 聞いたことがある	2. 聞いたことがない
-------------	-------------

問 37 以下の項目のうち、あなたがSDGsに取り組むとしたら、どの目標に興味がありますか。**あてはまるものをすべて選んでください。(Oはいくつでも)**

1. 貧困をなくそう	2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を	4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう	6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを	12. つくる責任つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を	14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう	16. 平和と公平をすべての人に
17. パートナリーシップで目標を達成しよう	18. 興味がない

11. 戸田市の取組についておたずねします

問 38 次に示す(1)～(32)の取組について、あなたは、どの程度満足していますか。

(項目ごとにOは1つ)

基本目標	分野	評価取組 (施策名称)	満足	まあ 満足	どちら ともい えない	やや 不満	不満
子どもが 健やかに 育ち、いき いきと輝 けるまち	子育て支援	(1) 子育て支援の充実	1	2	3	4	5
		(2) 乳幼児期の保育・教育の充実	1	2	3	4	5
	児童・青少年育成	(3) 児童・青少年の育成環境の充実	1	2	3	4	5
		(4) 世界で活躍できる人間の育成	1	2	3	4	5
創造性や 豊かな心 を育むま ち	学校教育	(5) 生涯学習活動の推進	1	2	3	4	5
	生涯学習	(6) 芸術文化活動の推進	1	2	3	4	5
	芸術・文化	(7) スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実	1	2	3	4	5
	スポーツ・レクリエーション	(8) 地域医療体制の強化	1	2	3	4	5
共に生き、 支えあい、 安心して 暮らせる まち	医療	(9) 健康づくり支援の充実	1	2	3	4	5
	健康づくり	(10) 地域福祉の推進	1	2	3	4	5
	地域における 支え合い	(11) 高齢者福祉環境の整備・充実	1	2	3	4	5
	高齢者福祉	(12) 国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金の円滑な運営	1	2	3	4	5
安全な暮 らしを守 るまち	社会保障	(13) 生活困窮者支援の充実	1	2	3	4	5
	障がい者 (児) 福祉	(14) 障がい福祉環境の整備・充実	1	2	3	4	5
	消防・救急	(15) 消防・救急体制の強化	1	2	3	4	5
	防災	(16) 地域防災力・危機管理体制の充実・強化	1	2	3	4	5
	防犯	(17) 防犯体制の強化	1	2	3	4	5
	市民相談・消費生活	(18) 市民相談機能と消費生活の充実	1	2	3	4	5
	河川・水路	(19) 浸水対策の推進	1	2	3	4	5
	道路	(20) 安全な道路環境の整備・推進	1	2	3	4	5

快適に過ごせ る生活基盤が 整備された まち	市街地整備・景観	(21) 快適で秩序ある美しい市街地の形成	1	2	3	4	5
	住宅	(22) 安心して生活できる住環境の充実	1	2	3	4	5
	上下水道	(23) 上下水道事業の効率的な運営・施設の充実	1	2	3	4	5
	公共交通	(24) 公共交通が利用しやすい環境の整備・推進	1	2	3	4	5
	緑地・緑化・水辺	(25) 自然に親しむ空間の整備・推進	1	2	3	4	5
都市環境と自然環境が調和したまち	公園	(26) 魅力ある公園づくり	1	2	3	4	5
	地球環境保全	(27) 生活環境の保全	1	2	3	4	5
	廃棄物・リサイクル	(28) 環境衛生の充実	1	2	3	4	5
	起業・就労支援	(29) 多様な働き方への支援・充実	1	2	3	4	5
	産業振興	(30) 産業振興の推進	1	2	3	4	5
活力にあふれ る人々が集 まれるまち	観光振興	(31) 地域資源を活用した観光振興の推進	1	2	3	4	5
	協働・交流	(32) 市民活動の活性化と地域交流の促進	1	2	3	4	5

問 39 前問と同じ(1)～(32)の取組のうち、あなたが今後力を入れて取り組んでほしいと思うものを5つ選んで番号を記入してください。

基本目標	分野	今後取り組みでほしい取組（施策名称）
子どもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち	子育て支援	(1) 子育て支援の充実
	児童・青少年育成	(2) 乳幼児期の保育・教育の充実
	学校教育	(3) 児童・青少年の育成環境の充実
	生涯学習	(4) 世界で活躍できる人間の育成
	芸術・文化	(5) 生涯学習活動の推進
創造性や豊かな心を育むまち	スポーツ・レクリエーション	(6) 芸術文化活動の推進
	医療	(7) スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実
	健康づくり	(8) 地域医療体制の強化
	地域における支え合い	(9) 健康づくり支援の充実
	高齢者福祉	(10) 地域福祉の推進
共に生き、支えあい、安心して暮らせるまち	高齢者福祉	(11) 高齢者福祉環境の整備・充実
	社会保障	(12) 国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金の円滑な運営

安全な暮らしを守るまち	障がい者（児）福祉	(13) 生活困窮者支援の充実
	消防・救急	(14) 障がい福祉環境の整備・充実
	防災	(15) 消防・救急体制の強化
	防犯	(16) 地域防災力・危機管理体制の充実・強化
	市民相談・消費生活	(17) 防犯体制の強化
快適に過ごせる生活基盤が整備されたまち	河川・水路	(18) 市民相談機能と消費生活の充実
	道路	(19) 浸水対策の推進
	市街地整備・景観	(20) 安全な道路環境の整備・推進
	住宅	(21) 快適で秩序ある美しい市街地の形成
	上下水道	(22) 安心して生活できる住環境の充実
都市環境と自然環境が調和したまち	公共交通	(23) 上下水道事業の効率的な運営・施設の充実
	緑地・緑化・水辺	(24) 公共交通が利用しやすい環境の整備・推進
	公園	(25) 自然に親しむ空間の整備・推進
	地球環境保全	(26) 魅力ある公園づくり
	廃棄物・リサイクル	(27) 生活環境の保全
活力にあふれる人々が集まれるまち	起業・就労支援	(28) 環境衛生の充実
	産業振興	(29) 多様な働き方への支援・充実
	観光振興	(30) 産業振興の推進
	協働・交流	(31) 地域資源を活用した観光振興の推進
		(32) 市民活動の活性化と地域交流の促進

力を入れて取り組んでほしいもの
(番号を5つ回答)

--	--	--	--	--

問 40 あなたは、住んでいるのが戸田市でよかった（幸せ）と感じますか。
(○は1つ)

1. 感じる	2. まあ感じる
3. あまり感じない	4. 感じない
5. わからない	

12. 新型コロナウイルス感染症についておたずねします

問 41 あなたは、戸田市が行った新型コロナウイルス感染症関連事業（感染症予防や生活支援策等）全般について評価しますか。（○は1つ）

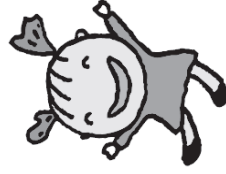
- | | |
|-------------|--------------|
| 1. おおいに評価する | 2. 多少評価する |
| 3. あまり評価しない | 4. まったく評価しない |
| 5. わからない | |

最後に、未来を見据えた戸田市のまちづくりについてご意見・ご提案がありましたらご自由にお書きください。

調査は以上です。

最後までご回答いただき、

ありがとうございました。



戸田市キャラクターコちゃん